

市内中小企業の景況について
(第 108 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態，経営動向などを把握するため，四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」の結果がまとまりましたので報告します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し，経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 25 年 9 月
- ・ 調査対象期間 平成 25 年 7 月～9 月期 (3 箇月実績) /平成 25 年 10 月～12 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 376 社, 非製造業 424 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。484 社が回答 (回収率 60.5%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	227 (46.9)	非製造業	257 (53.1)
西 陣	24 (5.0)	卸 売	59 (12.2)
染 色	32 (6.6)	小 売	54 (11.2)
印 刷	28 (5.8)	情 報 通 信	23 (4.8)
窯 業	14 (2.9)	飲 食 ・ 宿 泊	32 (6.6)
化 学	20 (4.1)	サ ー ビ ス	48 (9.9)
金 属	20 (4.1)	建 設	41 (8.5)
機 械	21 (4.3)	不 明	0 (0.0)
その他の製造	68 (14.0)	合 計	484 (100.0)

- DI=Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)
増加，上昇などと回答した企業の企業割合から，減少，低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として，それより上である場合は，上向き傾向を表す回答が多いことを示し，下である場合は，下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
- 中小企業の定義
中小企業基本法に基づき，業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については，インターネットホームページでも御覧いただけます。
URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/30-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

調査結果概要

1. 景気動向調査について

- 今期の企業景気DIは、全業種で1.4ポイント低下した。製造業で4.1ポイント低下、非製造業で1.0ポイント上昇
- 来期の企業景気DIの見通しは、全業種で2.9ポイント上昇した。製造業で7.4ポイント上昇、非製造業で1.3ポイント低下

(1) 今期実績 平成25年7月～9月期

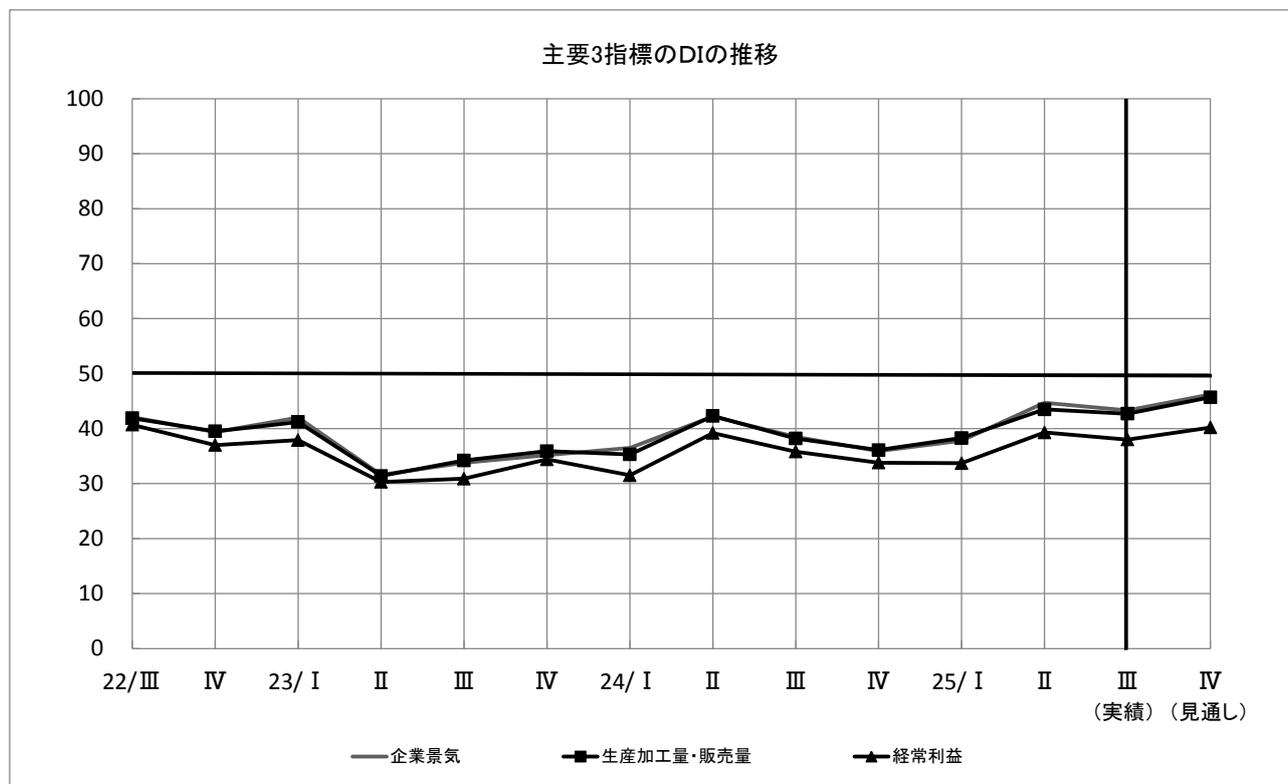
今期（平成25年7月～9月期）の全業種のDIは、企業景気DIが43.3と、前期と比較し1.4ポイントの低下となった。生産加工量・販売量DIは42.7で同0.8ポイントの低下、経常利益DIは38.0で同1.3ポイントの低下となった。

・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	43.3 (▼1.4)	42.7 (▼0.8)	38.0 (▼1.3)
(製造業)	39.6 (▼4.1)	39.1 (▼4.8)	35.7 (▼2.3)
(非製造業)	46.7 (△1.0)	46.3 (△3.2)	40.1 (▼0.6)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標のDIの推移



全業種の企業景気DIは、平成25年に入り1月～3月期及び4月～6月期と2期連続して安倍政権の経済政策への期待感もあり上昇していたが、今期は、「アベノミクス」効果がまだ実感されていないことや、仕入価格上昇を販売価格に転嫁することが困難な状況が続いていることなどから、低下した。

製造業全体の企業景気DIは4.1ポイント低下した。「太陽光エネルギー関連の部品が伸長」(南区/金属)、「試作・開発品に活発な動きが出てきた」(南区/機械)、「国内・輸出ともに受注が増加。特に円安で輸出は好調」(南区/機械)といった上向きの声がある一方で、「受注減少」(伏見区/染色)、「上昇した売上原価の製品価格への転嫁が進んでいない」(中京区/化学)、「景気が戻っている実感がない」(南区/金属)、「市場の景気回復が遅れている」(南区/機械)、「ギフト売上が減少」(左京区/その他製造)といった仕入単価の上昇や、受注面の回復が進んでいないなどの要因により、染色、化学、金属、機械、その他の製造の5業種は低下した。一方、「新規販売先の増加」(上京区/西陣)、「大口得意先の復活」(中京区/印刷)、「前年が悪かったなのでその反動でやや改善した」(東山区/窯業)などにより西陣、印刷、窯業は上昇した。

非製造業全体の企業景気DIは1.0ポイント上昇した。「外国人観光客の増加」(左京区/飲食・宿泊)、「消費税増税前の駆け込み需要の増大」(下京区/建設)、「新規出店による売上増加」(下京区/小売)、「受注量増加。収益改善」(中京区/建設)といった、新規出店や顧客の増加による業績アップや、外国人観光客の増加などの影響もあり、卸売、小売、飲食・宿泊、建設が上昇した。一方、「同業他社との競争激化」(下京区/情報通信)、「在庫減少により販売件数が減少」(西京区/サービス)、「受注量の減少」(下京区/情報通信)といった、同業他社との競争激化や、仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できない状況などから、情報通信、サービスは低下した。

観光関連については、円安による外国人観光客の増加を受け、3.2ポイント上昇している。

今回の調査において、円安や輸出の持ち直しを背景に輸出関連企業を中心に収益改善が進むなど国内景気は上向いているが、本市中小企業には、景気回復の効果がまだ十分に及んでいないことがうかがえる。また、仕入価格上昇によるコスト増加分を販売価格に転嫁することが困難な状況が続いており、不安材料を残す状況となっている。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中4業種であり、いずれも低下した業種は6業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
西陣	45.8 (△ 5.8)	39.6 (△ 7.6)	34.8 (△ 4.8)
窯業	35.7 (△ 6.3)	39.3 (△ 6.0)	39.3 (△ 11.5)
飲食・宿泊	56.5 (△ 8.1)	51.7 (△ 1.7)	46.8 (△ 8.5)
建設	53.7 (△ 3.7)	58.6 (△ 16.9)	46.2 (△ 7.6)

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
染色	34.4 (▼ 21.9)	35.5 (▼ 19.2)	37.1 (▼ 16.0)
化学	42.5 (▼ 7.5)	42.5 (▼ 15.0)	37.5 (▼ 5.0)
金属	32.5 (▼ 7.9)	35.0 (▼ 9.2)	27.5 (▼ 5.2)
機械	33.3 (▼ 3.1)	37.5 (▼ 0.4)	22.5 (▼ 10.8)
その他の製造	43.3 (▼ 3.3)	42.6 (▼ 2.6)	39.6 (▼ 0.1)
情報通信	43.5 (▼ 19.0)	47.6 (▼ 6.7)	43.2 (▼ 11.0)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

(2) 来期見通し 平成 25 年 10 月～12 月期

来期（平成 25 年 10 月～12 月期）の全業種の DI の見通しは、企業景気 DI が 46.2 となり、今期と比較し 2.9 ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量 DI は 45.7 で同 3.0 ポイントの上昇、経常利益 DI は 40.2 で同 2.2 ポイントの上昇となった。

・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	46.2 (△ 2.9)	45.7 (△ 3.0)	40.2 (△ 2.2)
(製造業)	47.0 (△ 7.4)	46.5 (△ 7.4)	41.2 (△ 5.5)
(非製造業)	45.4 (▼ 1.3)	44.8 (▼ 1.5)	39.4 (▼ 0.7)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

企業景気 DI の来期見通しは製造業で 7.4 ポイント上昇し、非製造業で 1.3 ポイント低下した。

製造業では、8 業種中 6 業種で上昇となった。「昨年が悪すぎたことから反動で上がるのではないか」（左京区／染色）、「首都圏からの受注増加が見込まれる」（右京区／その他の製造）、「新商品開発が結実しつつある」（右京区／その他の製造）、「得意先の工場増設による受注増」（中京区／化学）、「輸出は円安により好調」（南区／機械）、「展示会等の増加による売上増への期待」（南区／その他の製造）といった顧客・市場の開拓や為替の好影響などから、染色、印刷、化学、金属、機械、その他の製造で上昇した。

一方、「市場が大変厳しい」（上京区／西陣）、「年末にかけて受注が減少傾向の見込」（上京区／西陣）、「昨年に比べ今年の出荷量が減少。昨年ほどの出荷は見込めない」（左京区／窯業）、「といった業界全体の景気回復が進んでいない状況や、仕入価格上昇が販売価格に転嫁できないことに伴う収益圧迫などの要因から、西陣、窯業が低下した。

非製造業においては、6 業種中 3 業種の企業景気 DI が低下した。「10 月以降の受注見込は昨年より悪い」（下京区／情報通信）、「仕入価格の上昇により利益率が低下傾向」（上京区／卸売）、「人手不足により生産・販売力が低下」（中京区／飲食・宿泊）、「受注競争が厳しく売上・利益確保が困難」（南区／建設）といった仕入価格の上昇により価格転嫁ができていない状況や同業他社との競争激化などから、卸売、飲食・宿泊、建設が低下した。

一方、「秋物商品の発売に伴う売上増の見込み」（下京区／小売）、「コンピュータ機器の買い替え及びソフトウェアのバージョンアップが見込まれるため」（南区／情報・通信）、「マンション建設の増加傾向」（中京区／建設）、「消費増税前の駆け込み需要が見込まれる」（中京区／卸売）などの声もあり、小売、情報通信が上昇した。

なお、サービスにおいては、「不動産の動きが活発」（伏見区／サービス）や「営業努力による収益の安定化を進めている」（下京区／サービス）といったプラスの声があるが、「販売物件が減少してきた」（西京区／サービス）、「官公庁からの受注減少」（中京区／サービス）といったマイナスの意見もあり、横這いとなった。

観光関連では、外国人観光客が増加していることや、秋の観光シーズンを迎えることなどから、企業景気 DI は 0.7 ポイント上昇した。

国内経済は、安倍政権の経済政策への期待から、徐々に消費マインドが上昇しつつあり、景気回復に対する期待感が膨らんでいる。また、2020 年の東京オリンピック開催が決定し、公共投資の拡大や、雇用環境の改善などの期待も高まっている。

市内中小企業においては、全業種の企業景気 DI は 2.9 ポイント上昇したが、前回調査時に企業景気 DI の来期見通しが 5.3 ポイント上昇したことと比べると、伸び率が鈍化した。「アベノミクス」効果による景気回復への期待が高まっていたが、中小企業には景気回復の効果が行き渡っていないといった声が多く、また、仕入価格上昇に伴うコスト増加分の販売価格への転嫁が進まない状況など、不安材料が残っていることがうかがえる。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は14業種中7業種、いずれも低下と予測している業種は3業種となった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
染色	37.1	(△ 2.7)	38.3	(△ 2.8)	38.3	(△ 1.2)
印刷	51.9	(△ 10.8)	54.0	(△ 18.3)	50.0	(△ 12.5)
化学	52.5	(△ 10.0)	50.0	(△ 7.5)	42.5	(△ 5.0)
金属	47.4	(△ 14.9)	50.0	(△ 15.0)	36.8	(△ 9.3)
機械	42.9	(△ 9.6)	45.0	(△ 7.5)	35.0	(△ 12.5)
その他の製造	53.0	(△ 9.7)	50.0	(△ 7.4)	42.4	(△ 2.8)
情報通信	45.7	(△ 2.2)	52.4	(△ 4.8)	47.7	(△ 4.5)

<3指標低下業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
窯業	30.8	(▼ 4.9)	33.3	(▼ 6.0)	34.6	(▼ 4.7)
飲食・宿泊	48.3	(▼ 8.2)	46.4	(▼ 5.3)	41.4	(▼ 5.4)
建設	51.3	(▼ 2.4)	55.9	(▼ 2.7)	43.4	(▼ 2.8)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標DI業種別推移（前期／今期／来期見通し）

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	44.7	43.3	46.2	43.5	42.7	45.7	39.3	38.0	40.2
製造業	43.7	39.6	47.0	43.9	39.1	46.5	38.0	35.7	41.2
非製造業	45.7	46.7	45.4	43.1	46.3	44.8	40.7	40.1	39.4

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	43.7	39.6	47.0	43.9	39.1	46.5	38.0	35.7	41.2
西陣	40.0	45.8	45.5	32.0	39.6	40.9	30.0	34.8	43.2
染色	56.3	34.4	37.1	54.7	35.5	38.3	53.1	37.1	38.3
印刷	40.7	41.1	51.9	42.6	35.7	54.0	37.0	37.5	50.0
窯業	29.4	35.7	30.8	33.3	39.3	33.3	27.8	39.3	34.6
化学	50.0	42.5	52.5	57.5	42.5	50.0	42.5	37.5	42.5
金属	40.4	32.5	47.4	44.2	35.0	50.0	32.7	27.5	36.8
機械	36.4	33.3	42.9	37.9	37.5	45.0	33.3	22.5	35.0
その他の製造	46.6	43.3	53.0	45.2	42.6	50.0	39.7	39.6	42.4
非製造業	45.7	46.7	45.4	43.1	46.3	44.8	40.7	40.1	39.4
卸売	40.9	44.9	44.0	38.5	44.7	42.9	40.9	35.6	36.2
小売	36.0	37.7	38.2	37.8	34.3	37.3	32.7	31.1	30.8
情報通信	62.5	43.5	45.7	54.3	47.6	52.4	54.2	43.2	47.7
飲食・宿泊	48.4	56.5	48.3	50.0	51.7	46.4	38.3	46.8	41.4
サービス	48.0	47.9	47.9	45.6	48.5	42.4	45.3	45.3	45.2
建設	50.0	53.7	51.3	41.7	58.6	55.9	38.6	46.2	43.4
観光関連企業	55.8	59.0	59.7	57.1	55.1	57.4	52.3	48.8	54.3

・設備投資DI推移（前期／今期／来期見通し）

	設備投資DI		
	前期	今期	来期見通し
製造業	21.4	15.8	15.3

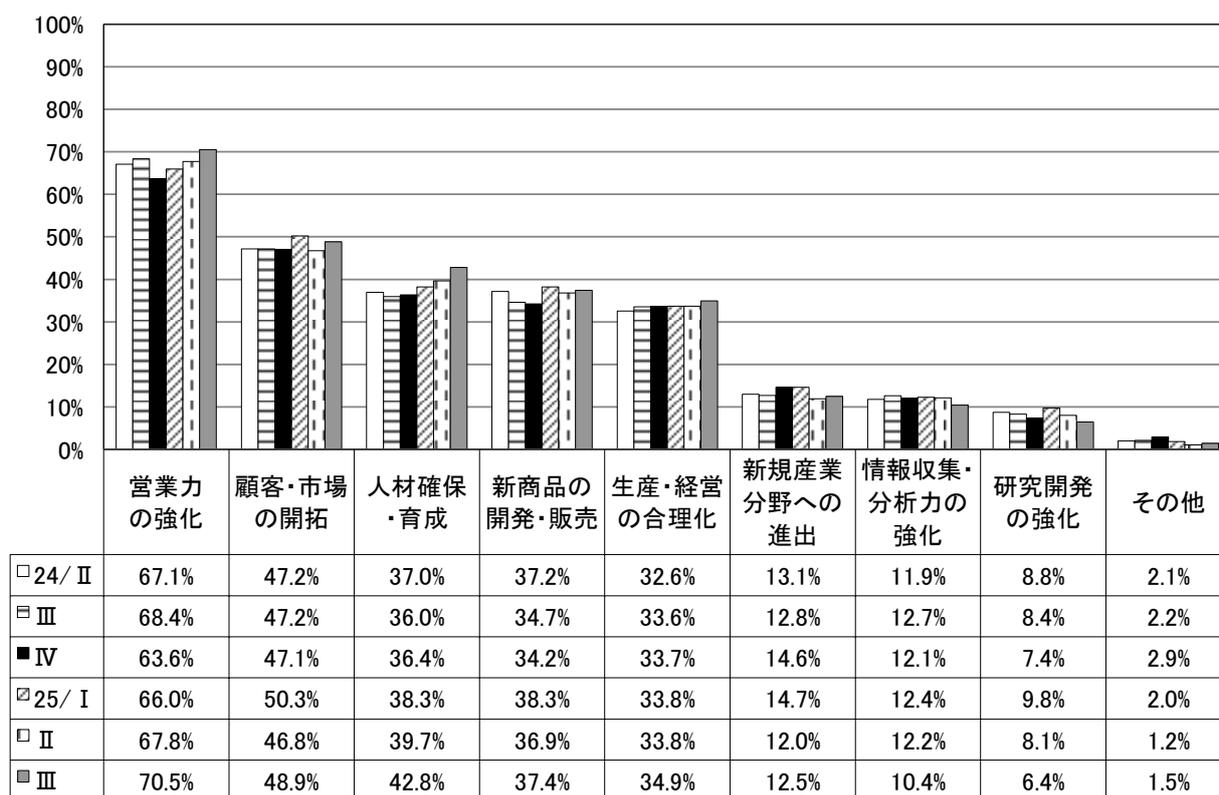
2. 当面の経営戦略について

● 「営業力の強化」を挙げる企業が70.5で依然トップ。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の70.5%を占め、最も多くなっている。「顧客・市場の開拓」が48.9%で続き、「人材確保・育成」が42.8%、「新商品の開発・販売」が37.4%、「生産・経営の合理化」が34.9%の順となっている。

前期と比較すると、回答数上位5項目の順位変動はなく、いずれの項目もポイントが上昇している。今回の調査での伸長率として、「人材確保・育成」が3.1ポイントと最も高く、以下、「営業力の強化」が2.7ポイント、「顧客・市場の開拓」が2.1ポイント、「生産・経営の合理化」が1.1ポイント、「新商品の開発・販売」が0.5ポイントと続いている。下位3項目については、「新規産業分野への進出」が0.5ポイント上昇しているが、「情報収集分析力の強化」及び「研究開発の強化」がいずれも減少している。

その他の意見として「輸出の強化」（中央区／卸売）と海外展開に力を入れていくものや、「IT関係の拡充」（左京区／飲食・宿泊）と集客アップを目指す企業もあった。また、「昔ながらの品物を取り揃える」（西京区／小売）などといった意見も寄せられた。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合合計が100%を超える。

3. 経営上の不安要素について

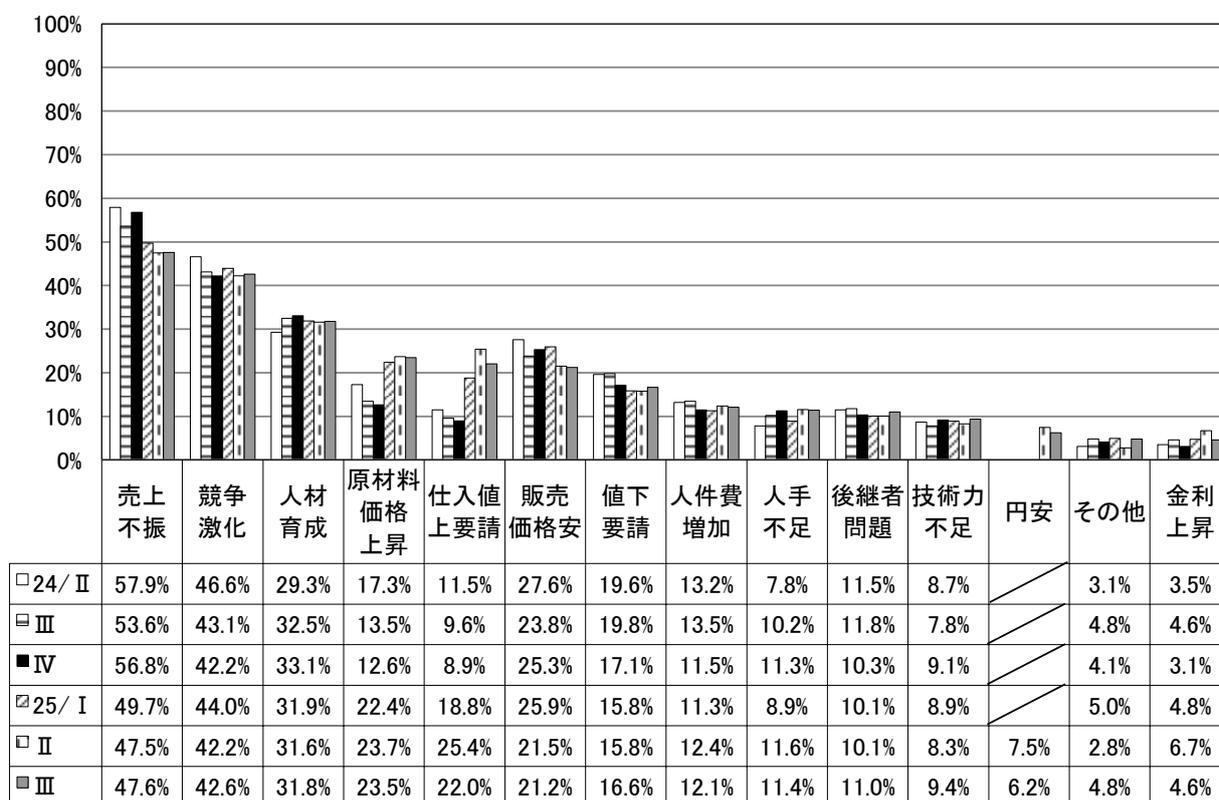
●「売上不振」を挙げる企業が47.6で依然トップ。

経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が47.6%を占めており、以下「競争激化」が42.6%、「人材育成」が31.8%、「原材料価格上昇」が23.5%、「仕入値上要請」が22.0%の順となっている。

前期と比較すると、回答上位5項目の順位変動は、上位3位までは変動はなく、「原材料価格上昇」が前回5位から4位に上がった。今回の特徴として、前回4位であった「仕入値上要請」が3.4%と大きく低下しており、急激に円安が進んだ前期よりは円安を背景とした値上要請が少なくなっていることがうかがえる。しかし、原材料価格上昇とともに、依然高い水準となっており、不安視する企業が多い。

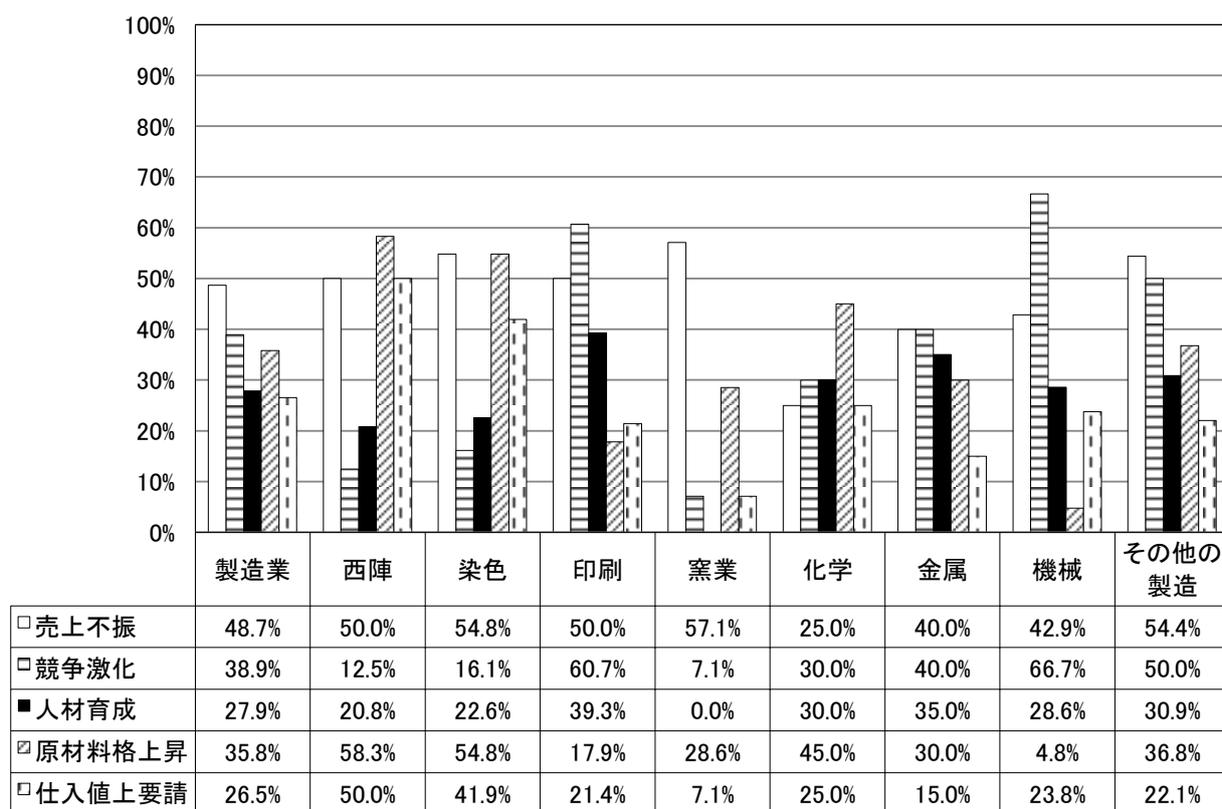
原材料価格の上昇の中では、「原糸」（上京区／西陣）、「電力」（上京区／染色）、「紙」（下京区／印刷）、「乳製品」（山科区／その他製造）、「小麦」（南区／その他製造）、「アスファルト」（左京区／建設）等への不安が示されている。

その他の意見として「消費税増税」（下京区／西陣）、「ガソリン・電気料金の値上げ」（右京区／印刷）、「取引先の海外移転」（南区／金属）、「TPP」（下京区／その他製造業）、「国際間の情勢不安」（上京区／情報通信）といった多種多様な意見が寄せられた。

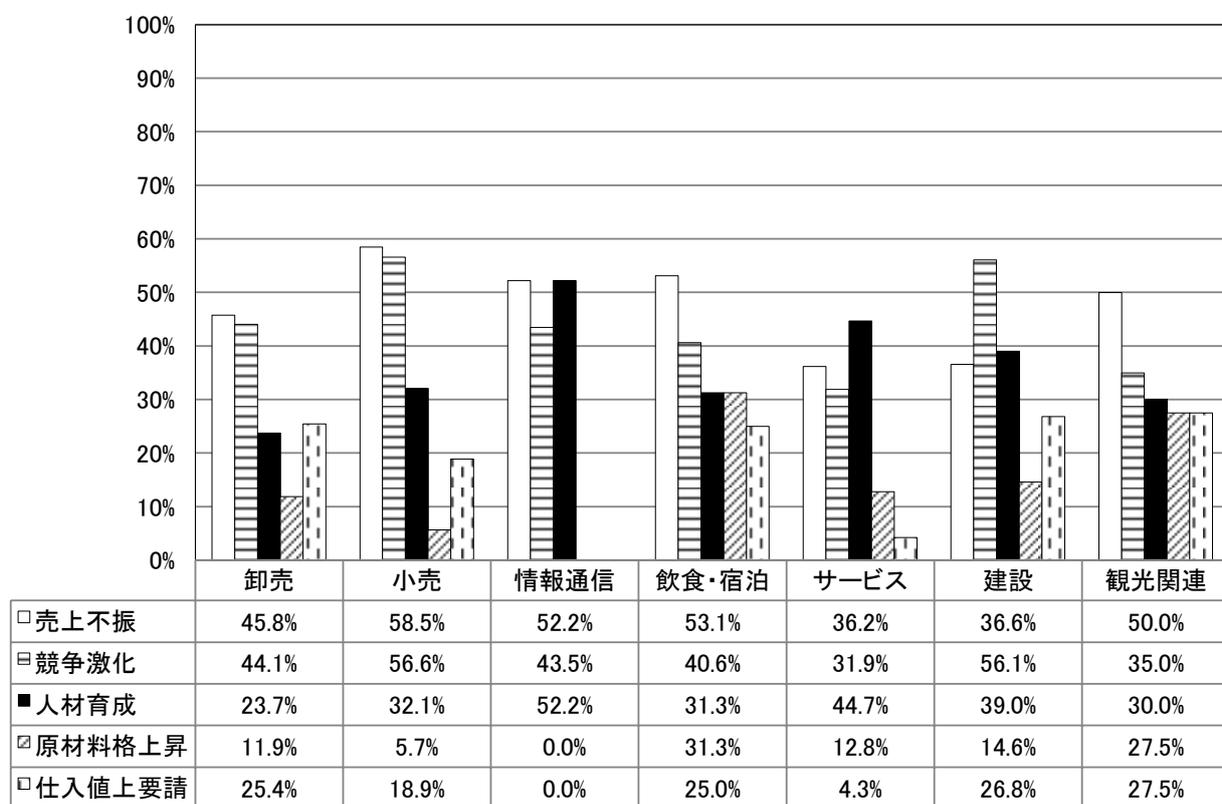


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

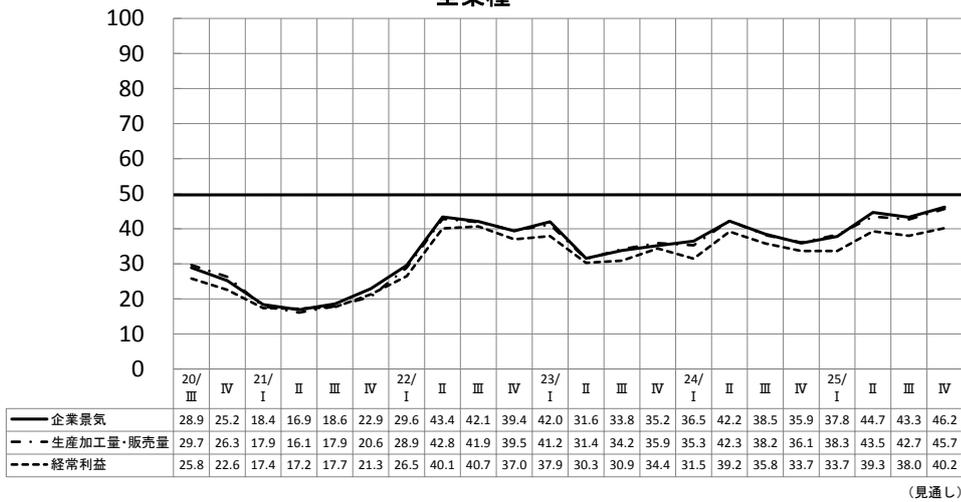


・経営上の不安要素・非製造業主要回答

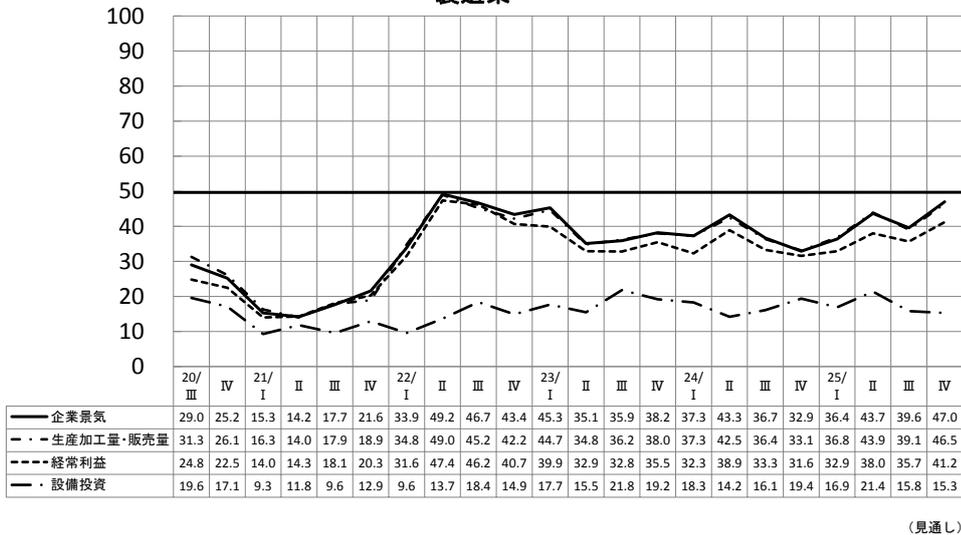


参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

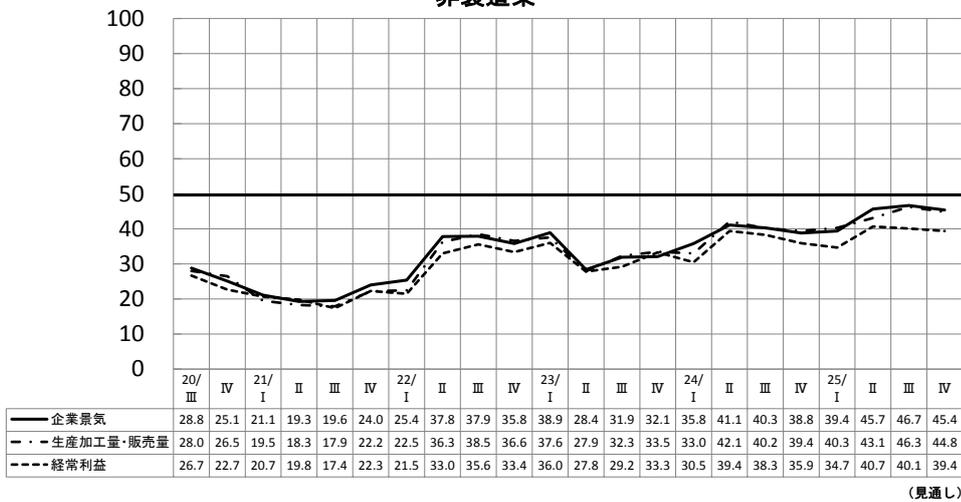
全業種



製造業

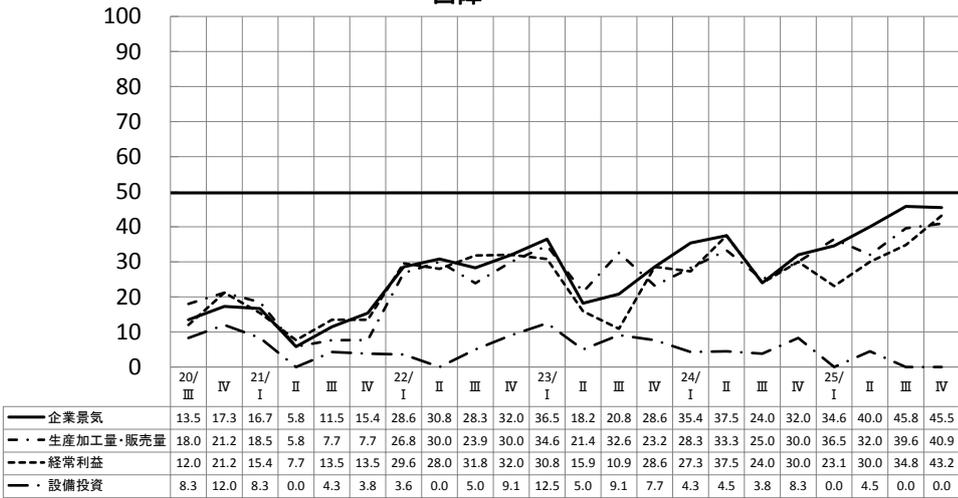


非製造業



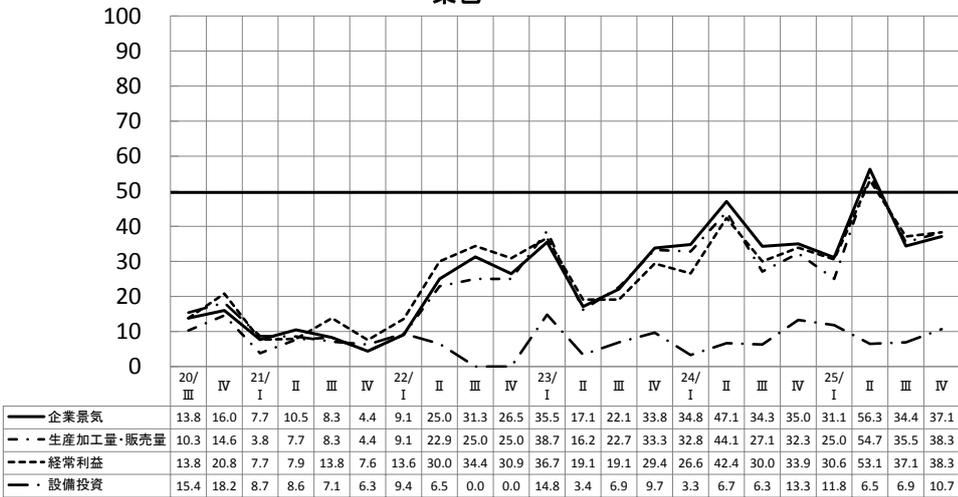
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



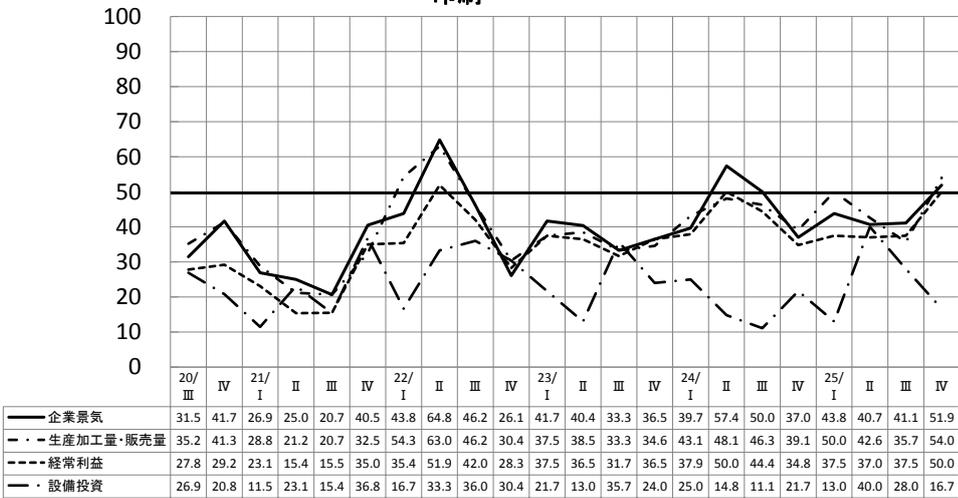
(見通し)

染色



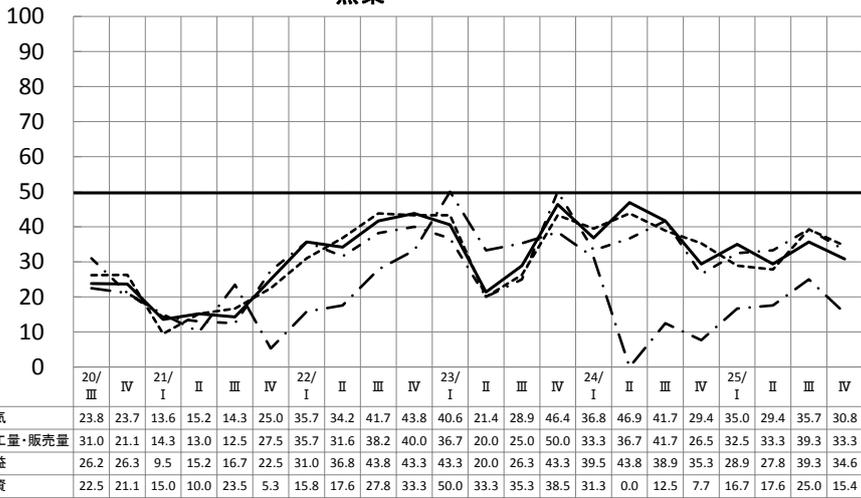
(見通し)

印刷



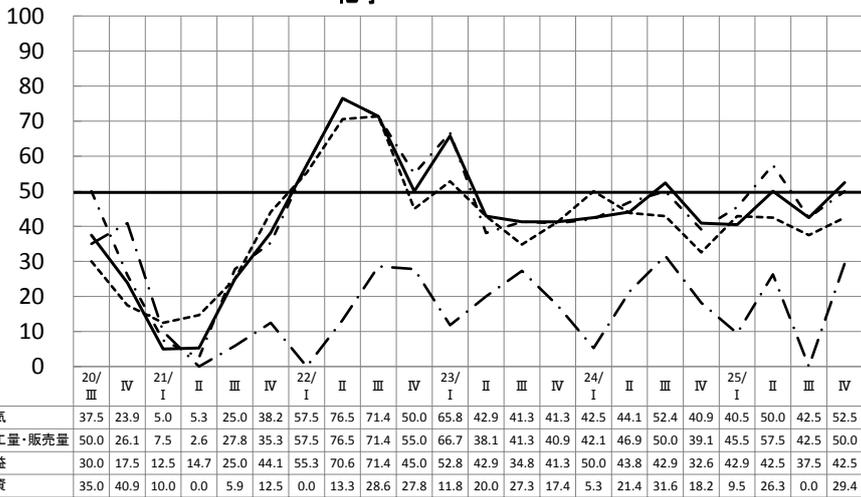
(見通し)

窯業



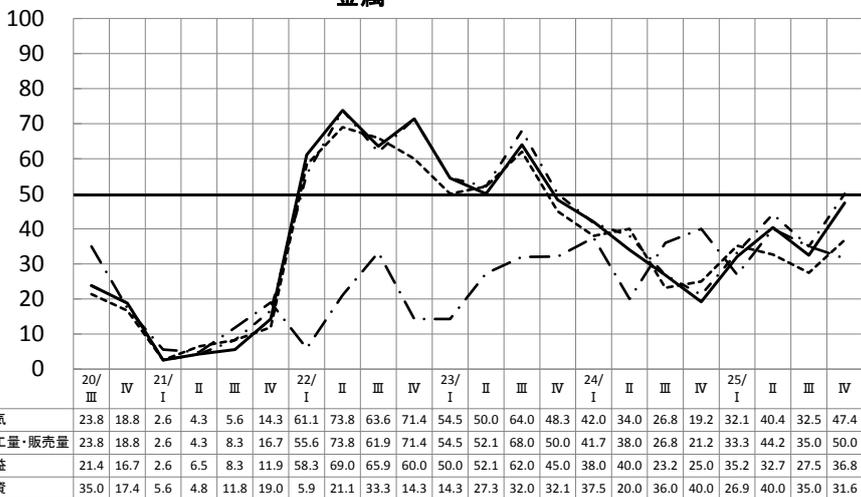
(見通し)

化学



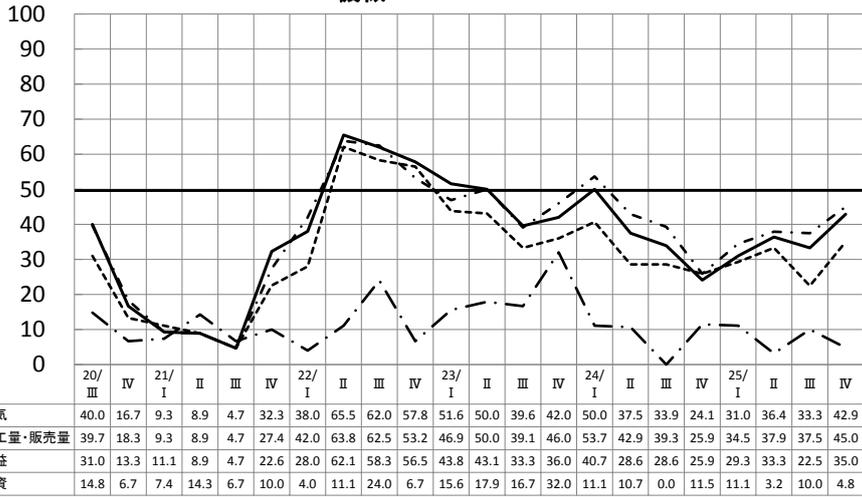
(見通し)

金属



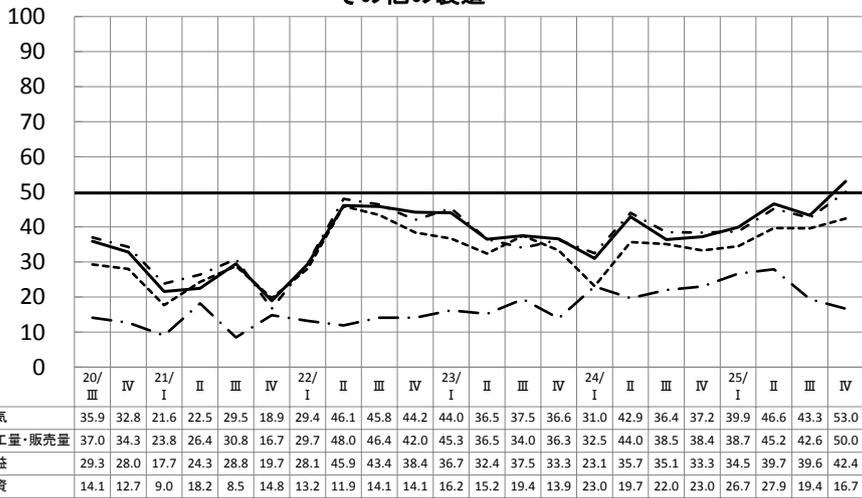
(見通し)

機械



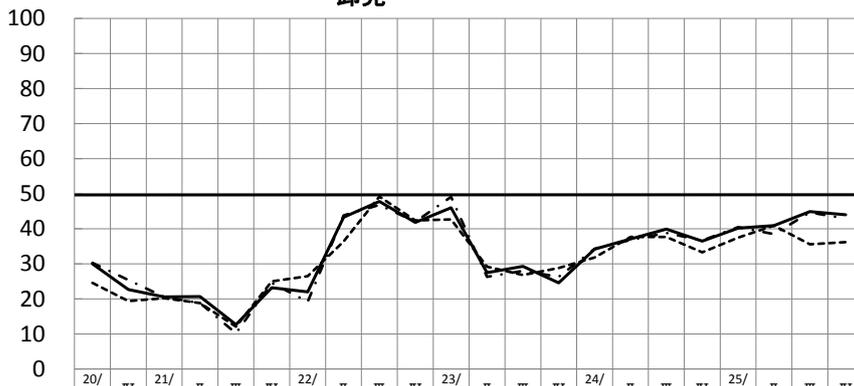
(見通し)

その他の製造



(見通し)

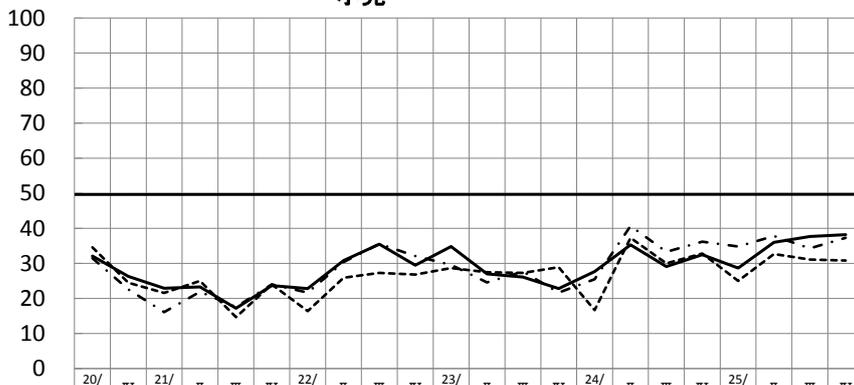
卸売



	20/III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II	III	IV
企業景気	30.0	22.7	20.6	20.7	12.7	23.2	22.0	43.3	47.8	41.8	46.0	27.5	29.3	24.6	34.2	37.1	39.9	36.5	40.2	40.9	44.9	44.0
生産加工量・販売量	30.3	25.4	20.6	18.8	10.2	24.6	19.2	43.8	46.8	42.0	49.1	26.3	28.0	26.3	34.3	36.8	38.8	36.7	40.5	38.5	44.7	42.9
経常利益	24.6	19.4	20.2	18.8	12.1	25.0	26.5	36.4	49.2	42.4	42.7	29.2	26.8	28.8	31.8	37.7	37.7	33.3	37.5	40.9	35.6	36.2

(見通し)

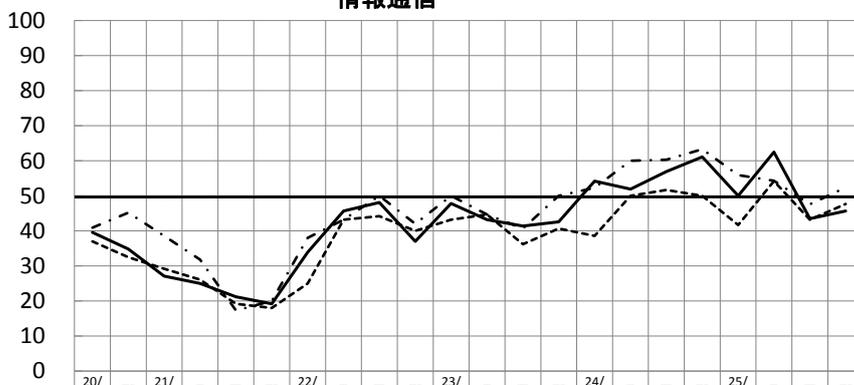
小売



	20/III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II	III	IV
企業景気	32.1	26.3	22.9	23.3	17.2	23.7	22.8	30.8	35.5	29.5	34.8	27.0	26.1	22.8	27.7	35.3	29.1	32.5	28.7	36.0	37.7	38.2
生産加工量・販売量	31.5	22.6	16.1	21.9	17.6	24.0	21.7	30.4	35.6	32.1	29.6	24.6	27.7	21.7	25.5	40.7	33.3	36.2	34.8	37.8	34.3	37.3
経常利益	34.6	24.5	21.6	25.0	14.7	24.0	16.4	25.9	27.3	26.8	28.7	27.5	27.3	28.9	16.7	37.3	30.0	32.8	25.0	32.7	31.1	30.8

(見通し)

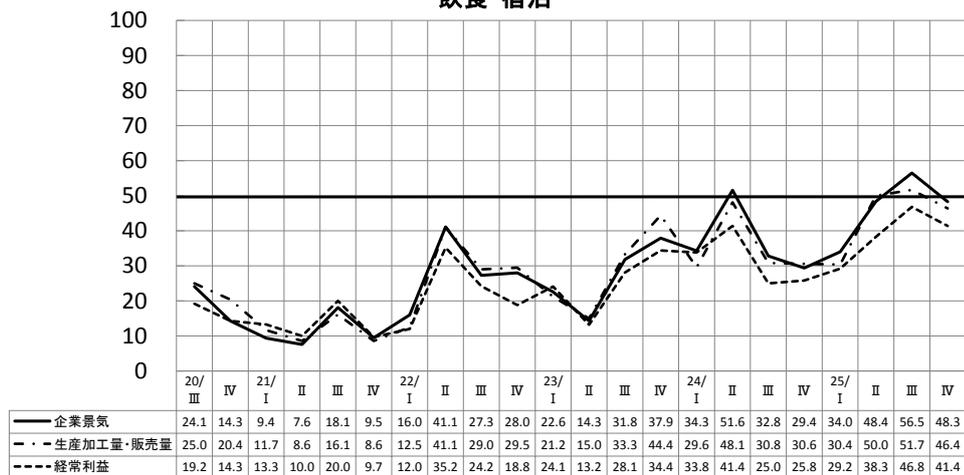
情報通信



	20/III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II	III	IV
企業景気	39.6	34.8	27.1	25.0	21.2	19.2	33.9	45.7	48.1	37.0	47.8	43.2	41.4	42.6	54.2	51.9	56.9	61.1	50.0	62.5	43.5	45.7
生産加工量・販売量	40.9	45.2	38.6	31.8	17.3	20.0	38.0	43.2	50.0	42.0	50.0	44.7	40.7	50.0	52.3	60.0	60.3	63.3	55.9	54.3	47.6	52.4
経常利益	37.0	32.5	29.2	26.1	19.2	18.0	25.0	43.2	44.2	40.0	43.2	44.7	36.2	40.7	38.6	50.0	51.7	50.0	41.7	54.2	43.2	47.7

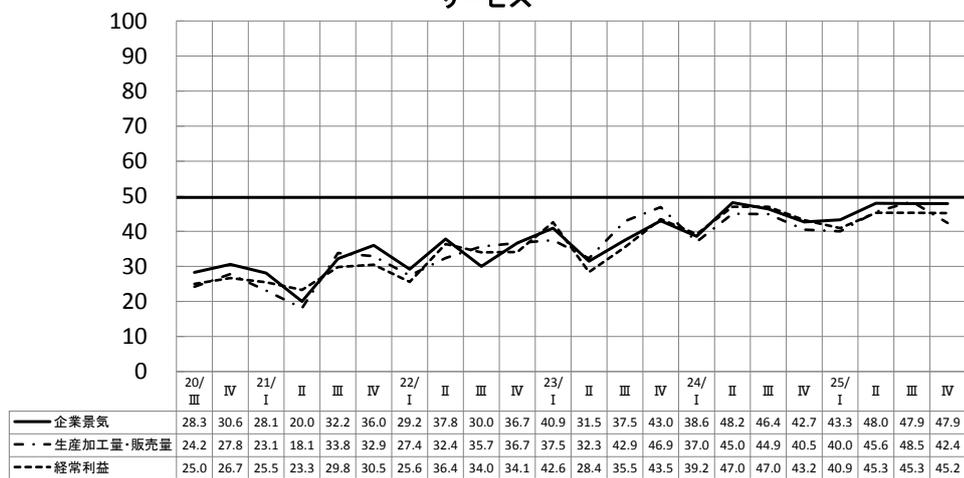
(見通し)

飲食・宿泊



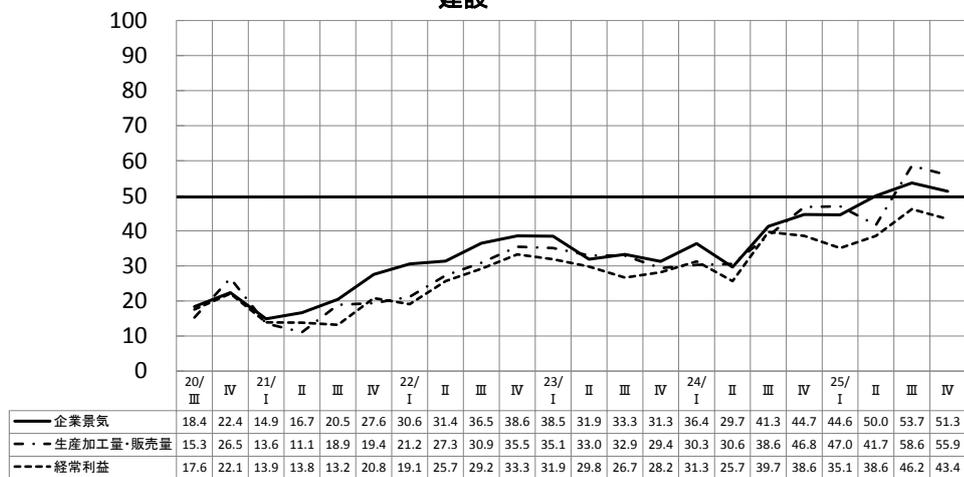
(見通し)

サービス



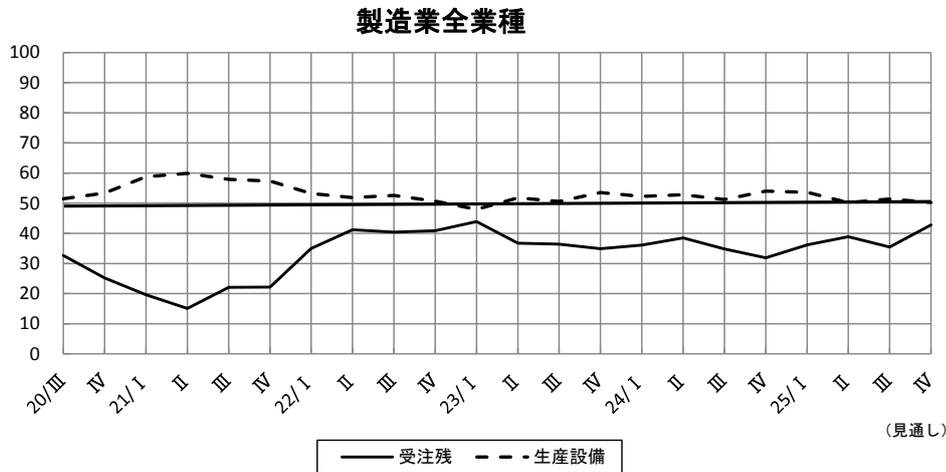
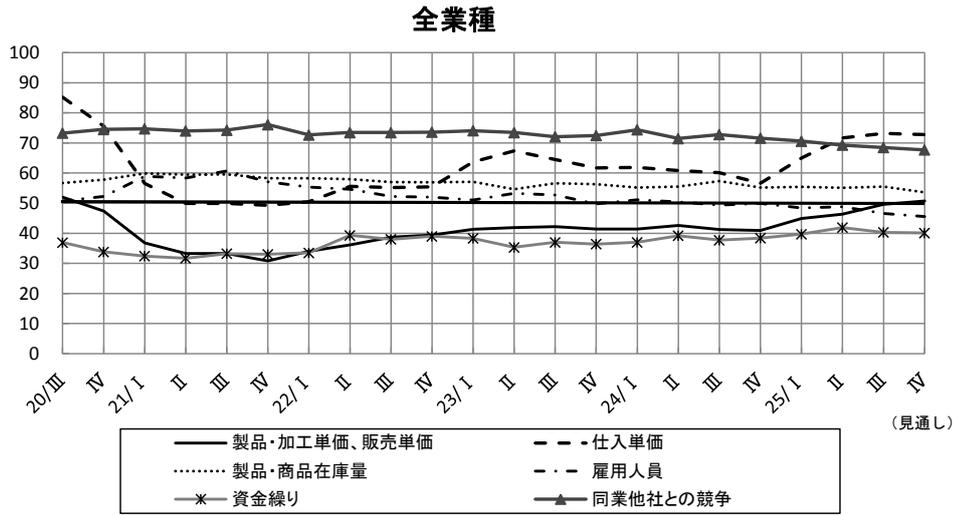
(見通し)

建設

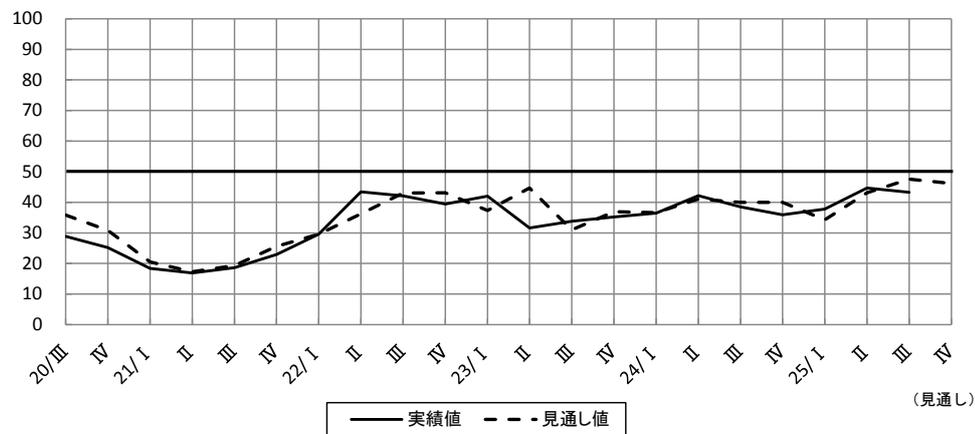


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	16
1. 企業景気.....	16
2. 生産加工量・販売量.....	18
3. 経常利益.....	20
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	22
5. 仕入単価.....	24
6. 製品・商品在庫量.....	26
7. 雇用人員.....	28
8. 資金繰り.....	30
9. 同業他社との競争.....	32
10. 受注残.....	34
11. 生産設備.....	35
12. 設備投資.....	36
(2) 当面の経営戦略について.....	37
(3) 経営上の不安要素について.....	46
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	56

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

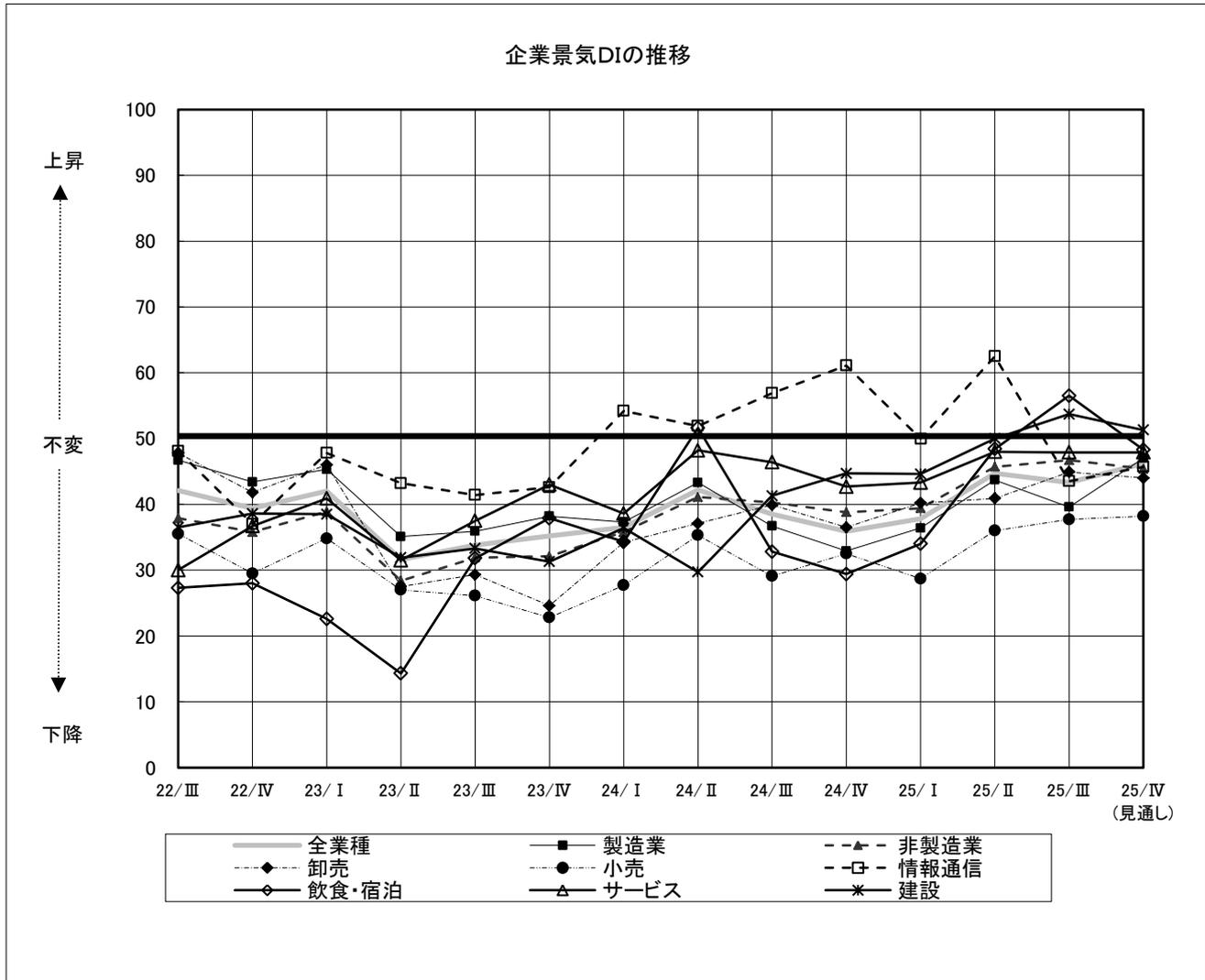


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

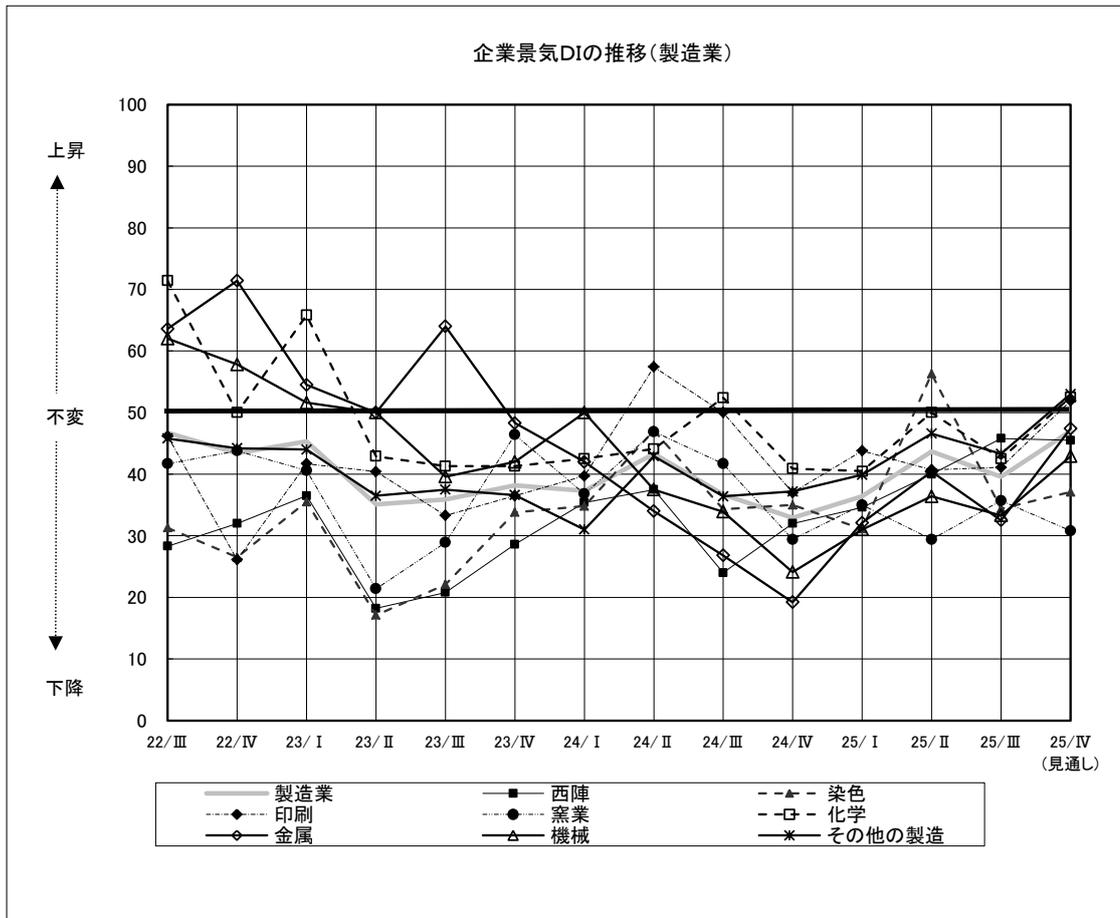


表1. 企業景気DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	44.7	43.3	▼ 1.4	△ 2.9
製造業	43.7	39.6	▼ 4.1	△ 7.4
西陣	40.0	45.8	△ 5.8	▼ 0.3
染色	56.3	34.4	▼ 21.9	△ 2.7
印刷	40.7	41.1	△ 0.4	△ 10.8
窯業	29.4	35.7	△ 6.3	▼ 4.9
化学	50.0	42.5	▼ 7.5	△ 10.0
金属	40.4	32.5	▼ 7.9	△ 14.9
機械	36.4	33.3	▼ 3.1	△ 9.6
其他の製造	46.6	43.3	▼ 3.3	△ 9.7
非製造業	45.7	46.7	△ 1.0	▼ 1.3
卸売	40.9	44.9	△ 4.0	▼ 0.9
小売	36.0	37.7	△ 1.7	△ 0.5
情報通信	62.5	43.5	▼ 19.0	△ 2.2
飲食・宿泊	48.4	56.5	△ 8.1	▼ 8.2
サービス	48.0	47.9	▼ 0.1	△ 0.0
建設	50.0	53.7	△ 3.7	▼ 2.4
観光関連	55.8	59.0	△ 3.2	△ 0.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

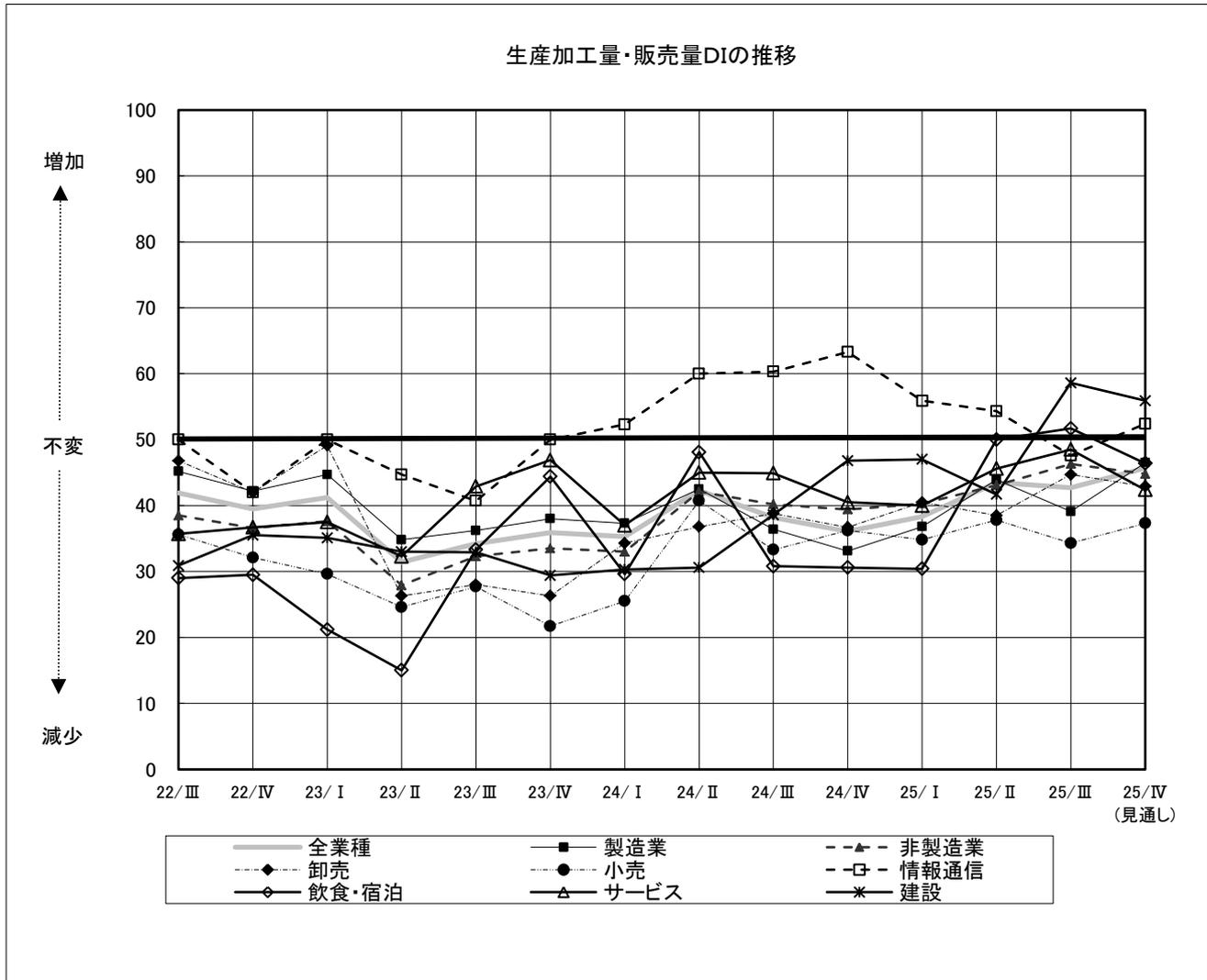


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

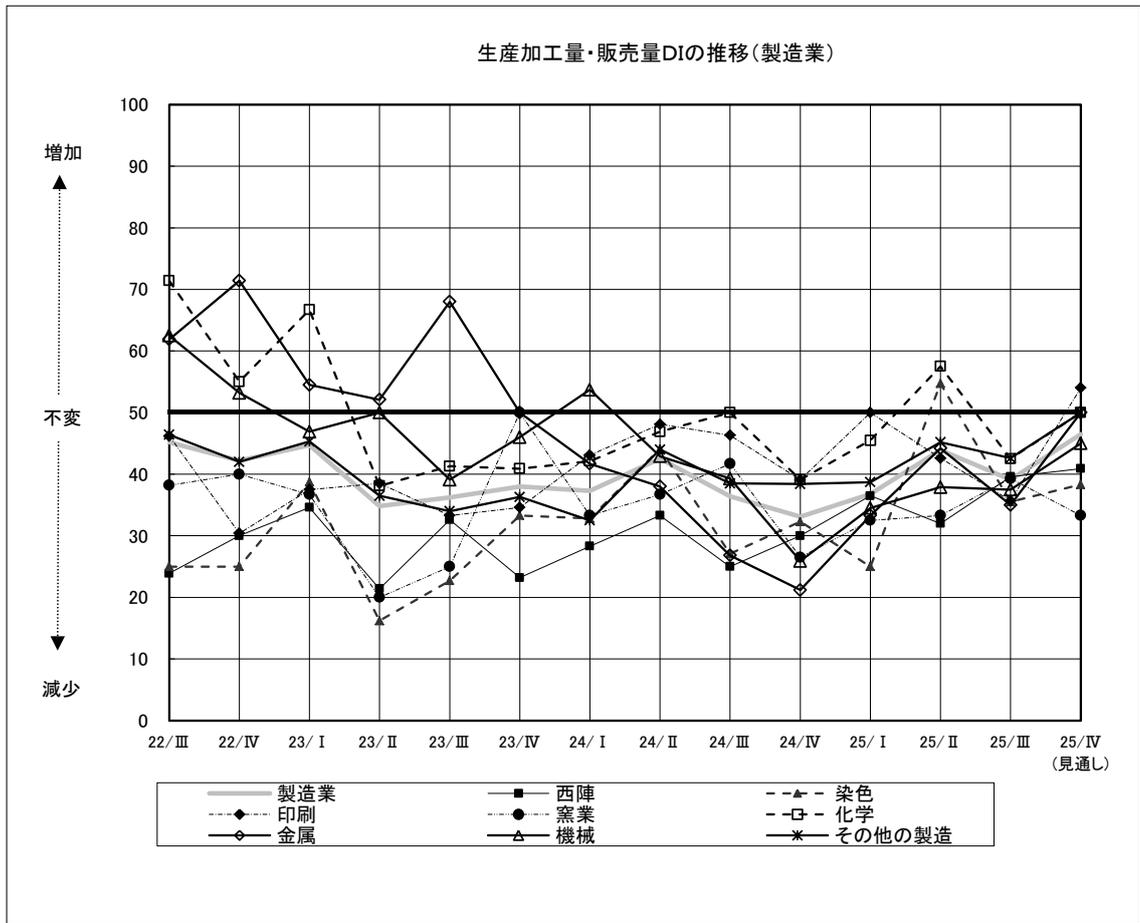


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	43.5	42.7	▼ 0.8	45.7	△ 3.0
製造業	43.9	39.1	▼ 4.8	46.5	△ 7.4
西陣	32.0	39.6	△ 7.6	40.9	△ 1.3
染色	54.7	35.5	▼ 19.2	38.3	△ 2.8
印刷	42.6	35.7	▼ 6.9	54.0	△ 18.3
窯業	33.3	39.3	△ 6.0	33.3	▼ 6.0
化学	57.5	42.5	▼ 15.0	50.0	△ 7.5
金属	44.2	35.0	▼ 9.2	50.0	△ 15.0
機械	37.9	37.5	▼ 0.4	45.0	△ 7.5
その他の製造	45.2	42.6	▼ 2.6	50.0	△ 7.4
非製造業	43.1	46.3	△ 3.2	44.8	▼ 1.5
卸売	38.5	44.7	△ 6.2	42.9	▼ 1.8
小売	37.8	34.3	▼ 3.5	37.3	△ 3.0
情報通信	54.3	47.6	▼ 6.7	52.4	△ 4.8
飲食・宿泊	50.0	51.7	△ 1.7	46.4	▼ 5.3
サービス	45.6	48.5	△ 2.9	42.4	▼ 6.1
建設	41.7	58.6	△ 16.9	55.9	▼ 2.7
観光関連	57.1	55.1	▼ 2.0	57.4	△ 2.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移（全体）

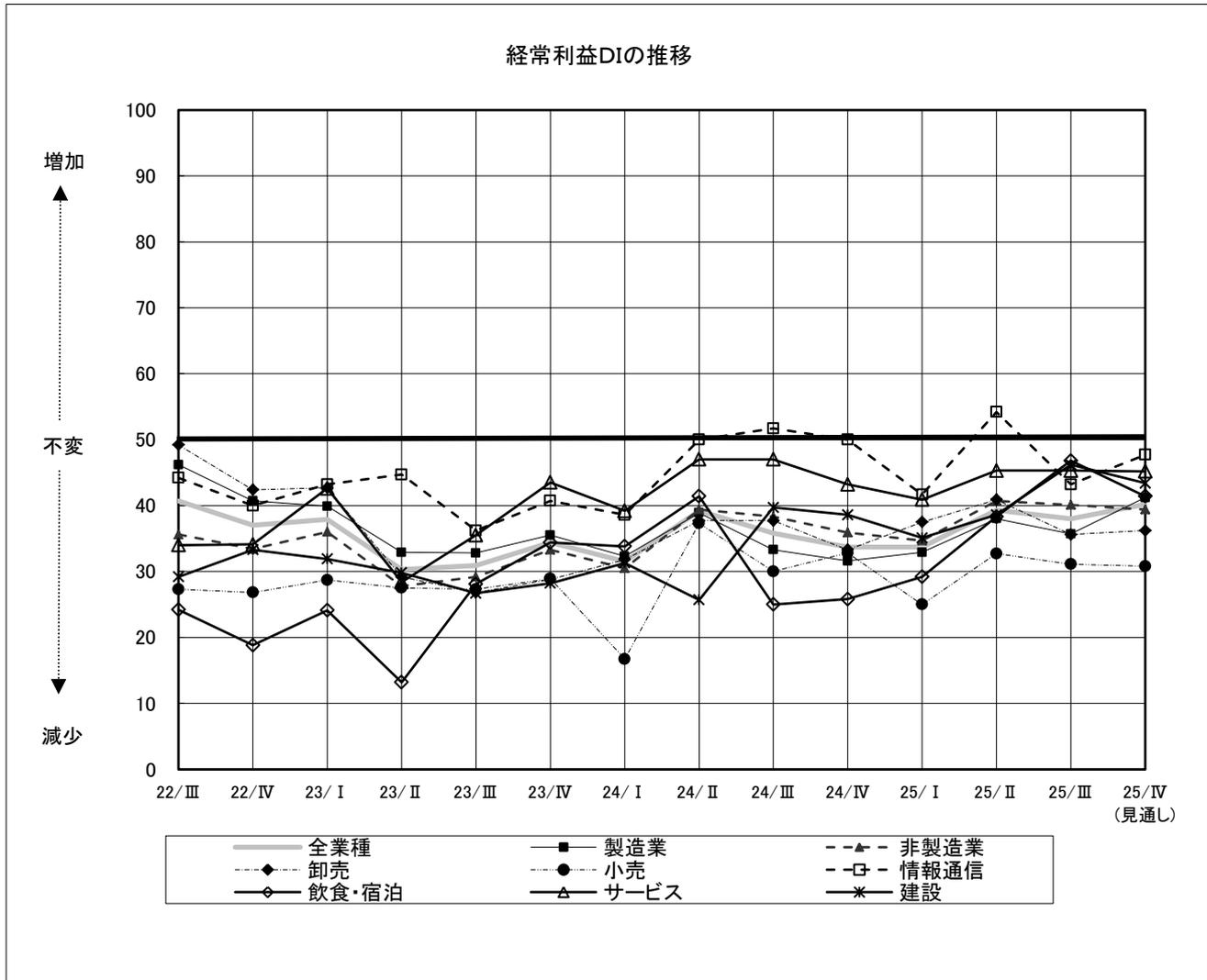


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

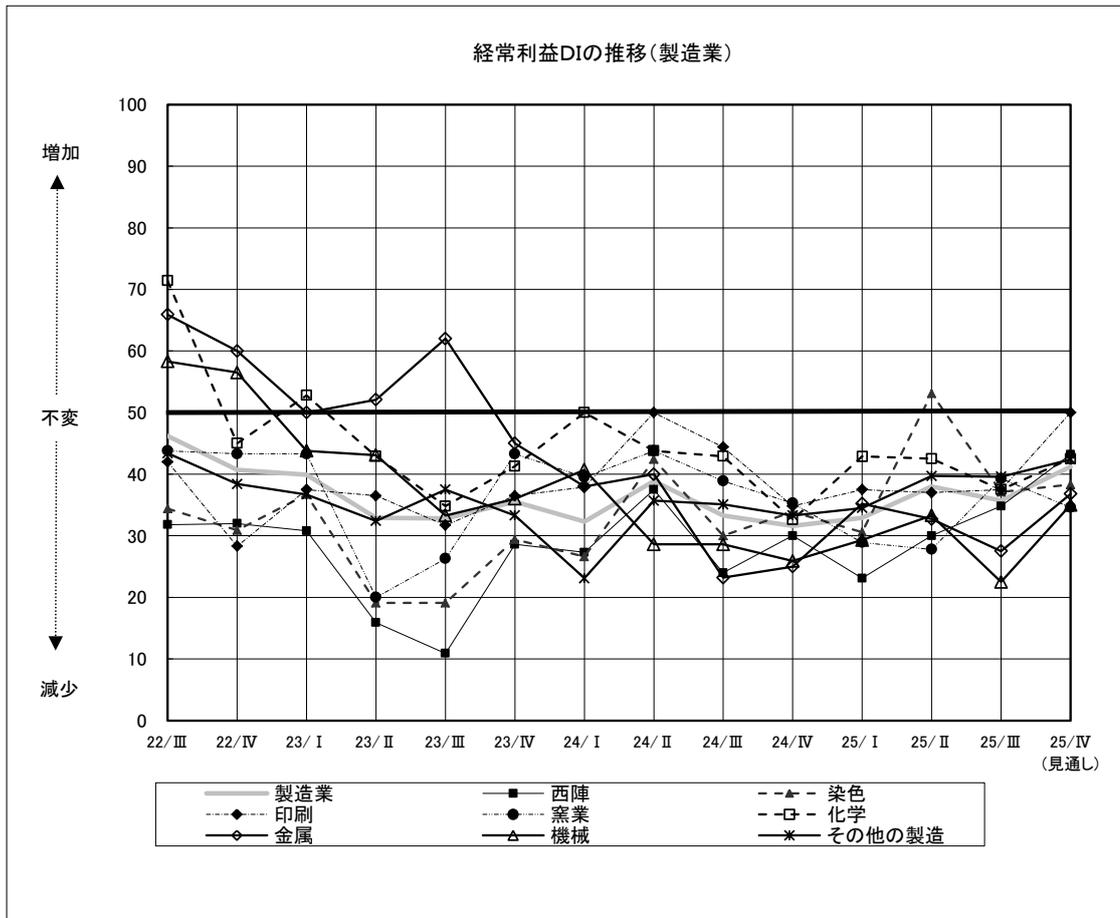


表3. 経常利益DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	39.3	38.0	▼ 1.3	△ 2.2
製造業	38.0	35.7	▼ 2.3	△ 5.5
西陣	30.0	34.8	△ 4.8	△ 8.4
染色	53.1	37.1	▼ 16.0	△ 1.2
印刷	37.0	37.5	△ 0.5	△ 12.5
窯業	27.8	39.3	△ 11.5	▼ 4.7
化学	42.5	37.5	▼ 5.0	△ 5.0
金属	32.7	27.5	▼ 5.2	△ 9.3
機械	33.3	22.5	▼ 10.8	△ 12.5
その他の製造	39.7	39.6	▼ 0.1	△ 2.8
非製造業	40.7	40.1	▼ 0.6	▼ 0.7
卸売	40.9	35.6	▼ 5.3	△ 0.6
小売	32.7	31.1	▼ 1.6	▼ 0.3
情報通信	54.2	43.2	▼ 11.0	△ 4.5
飲食・宿泊	38.3	46.8	△ 8.5	▼ 5.4
サービス	45.3	45.3	△ 0.0	▼ 0.1
建設	38.6	46.2	△ 7.6	▼ 2.8
観光関連	52.3	48.8	▼ 3.5	△ 5.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

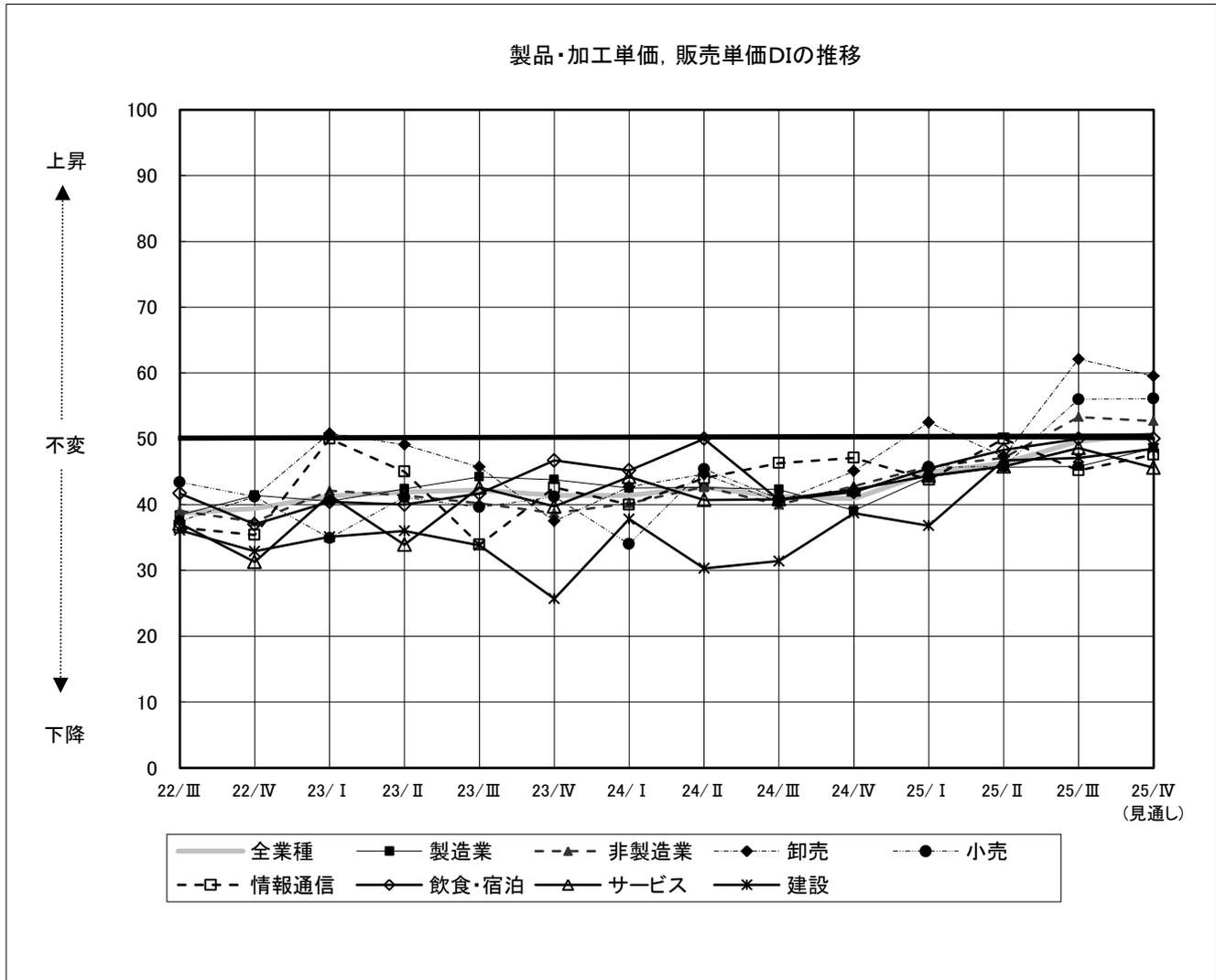


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

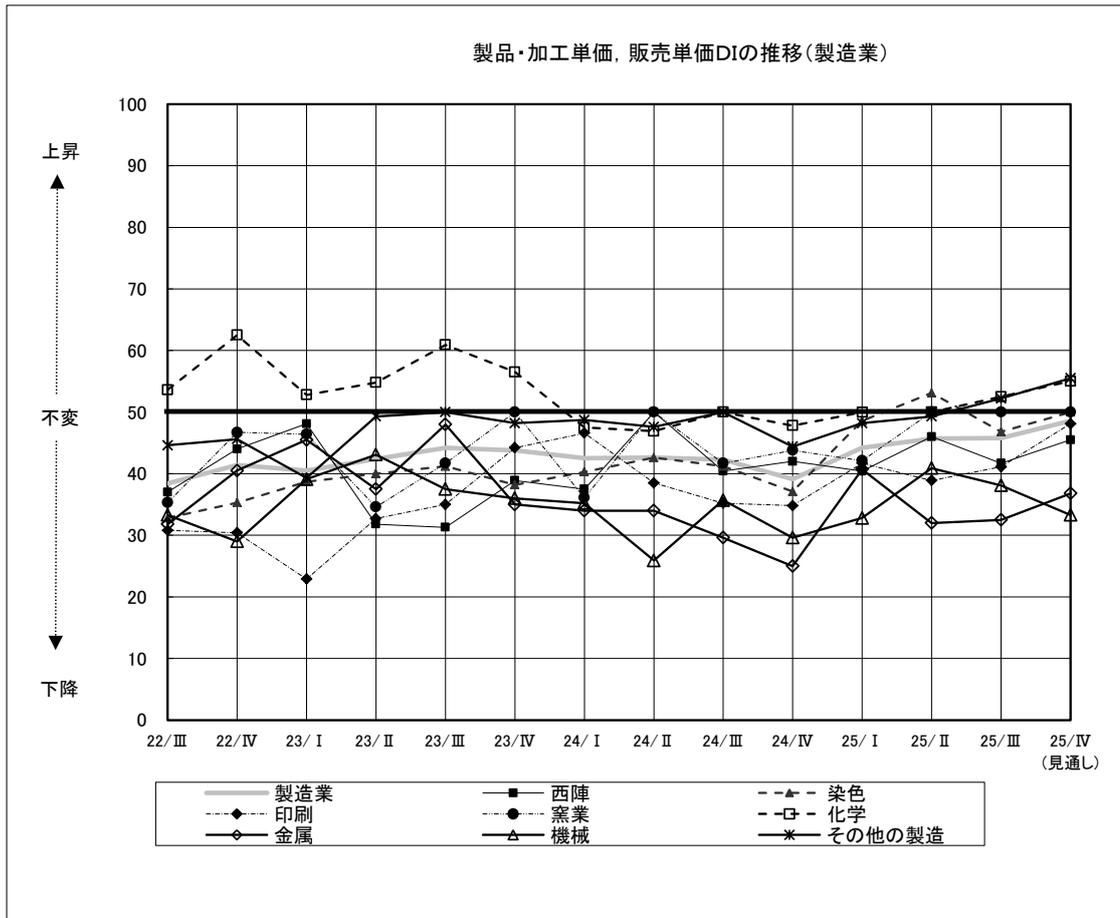


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	46.3	49.6	△ 3.3	50.7	△ 1.1
製造業	45.7	45.8	△ 0.1	48.6	△ 2.8
西陣	46.0	41.7	▼ 4.3	45.5	△ 3.8
染色	53.1	46.8	▼ 6.3	50.0	△ 3.2
印刷	38.9	41.1	△ 2.2	48.1	△ 7.0
窯業	50.0	50.0	△ 0.0	50.0	△ 0.0
化学	50.0	52.5	△ 2.5	55.0	△ 2.5
金属	32.0	32.5	△ 0.5	36.8	△ 4.3
機械	40.9	38.1	▼ 2.8	33.3	▼ 4.8
その他の製造	49.3	52.2	△ 2.9	55.5	△ 3.3
非製造業	47.1	53.3	△ 6.2	52.7	▼ 0.6
卸売	47.3	62.1	△ 14.8	59.5	▼ 2.6
小売	45.8	56.0	△ 10.2	56.1	△ 0.1
情報通信	50.0	45.2	▼ 4.8	47.6	△ 2.4
飲食・宿泊	48.3	50.0	△ 1.7	50.0	△ 0.0
サービス	45.8	48.6	△ 2.8	45.6	▼ 3.0
建設	46.7	47.1	△ 0.4	48.5	△ 1.4
観光関連	52.4	50.0	▼ 2.4	52.9	△ 2.9

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

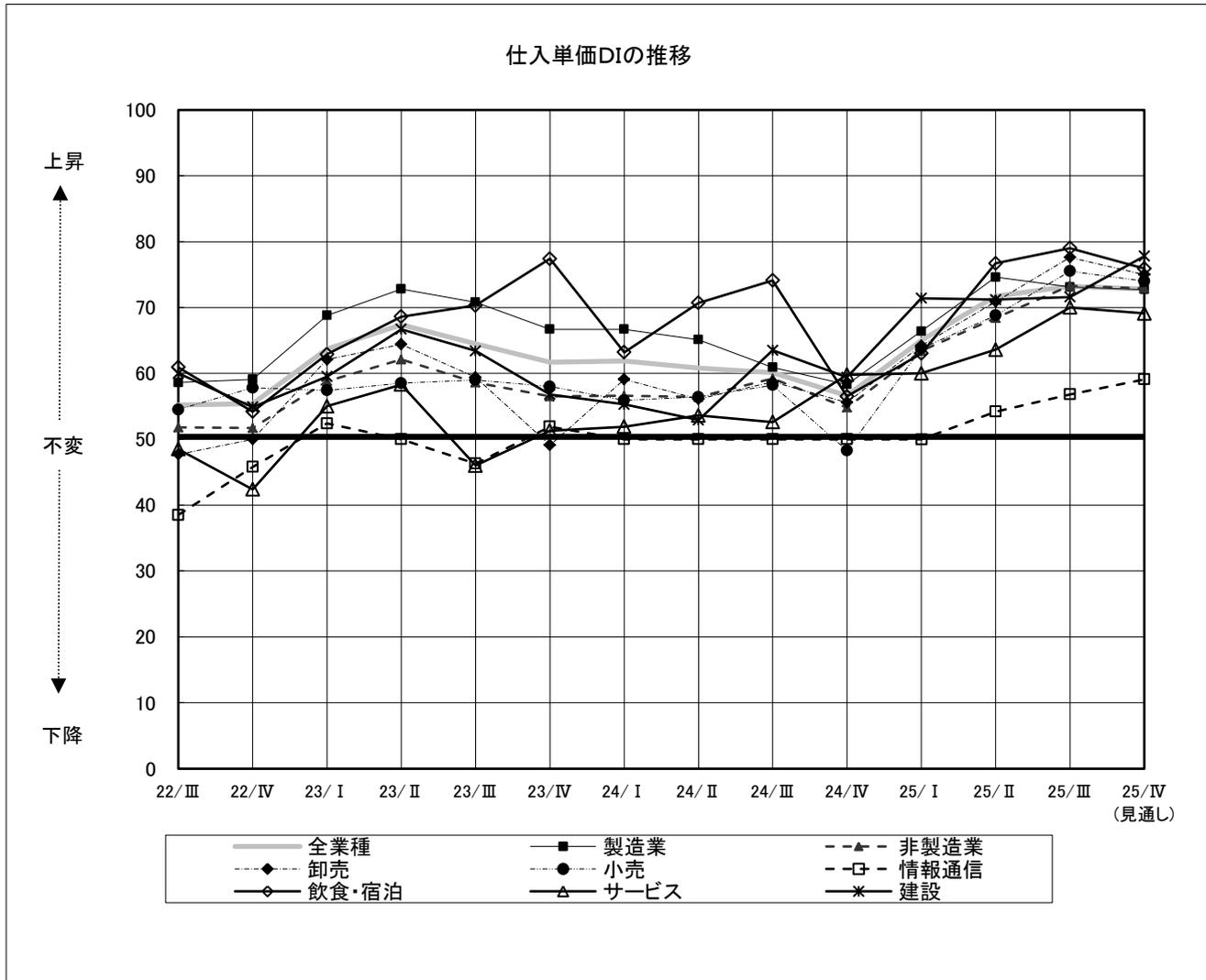


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

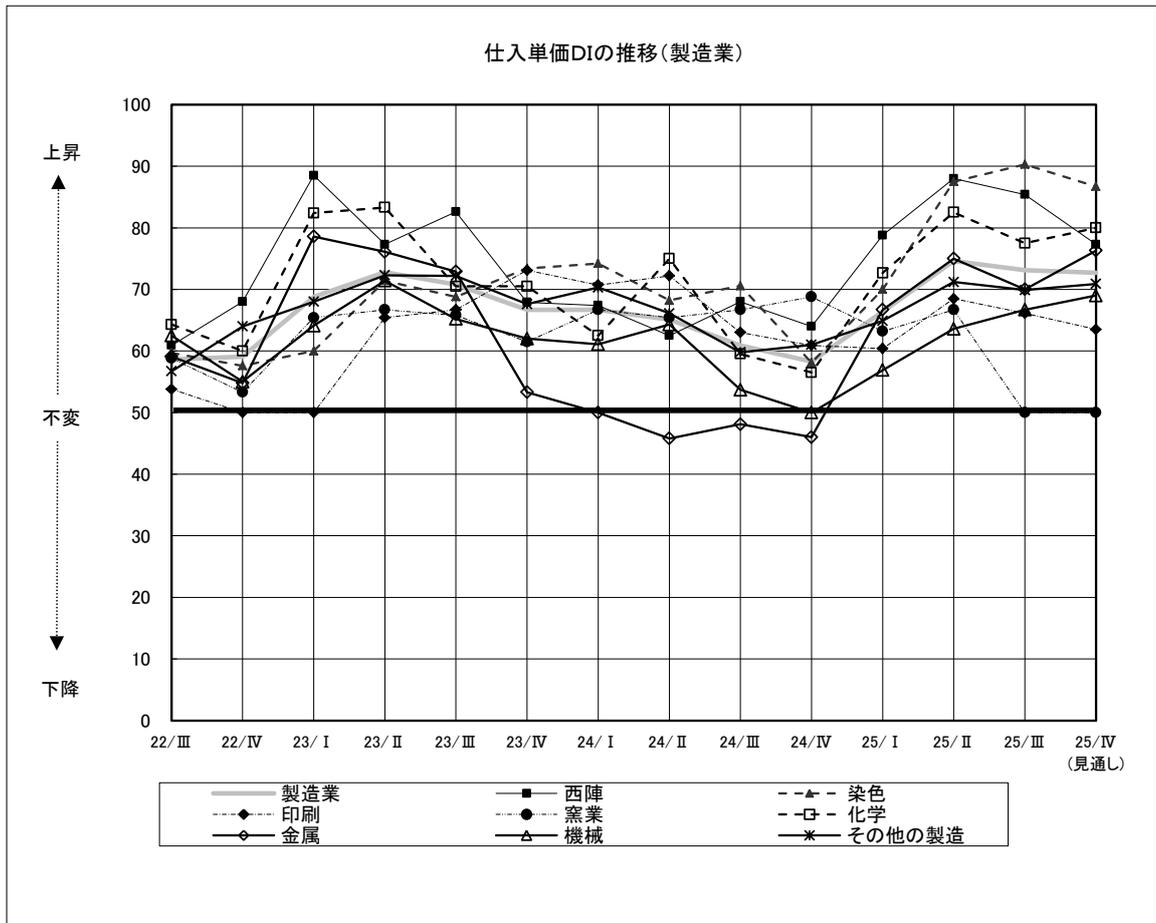


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	71.7	73.2	△ 1.5	▼ 0.4
製造業	74.6	73.1	▼ 1.5	▼ 0.4
西陣	88.0	85.4	▼ 2.6	▼ 8.1
染色	87.5	90.3	△ 2.8	▼ 3.6
印刷	68.5	66.1	▼ 2.4	▼ 2.6
窯業	66.7	50.0	▼ 16.7	△ 0.0
化学	82.5	77.5	▼ 5.0	△ 2.5
金属	75.0	70.0	▼ 5.0	△ 6.3
機械	63.6	66.7	△ 3.1	△ 2.3
その他の製造	71.2	69.9	▼ 1.3	△ 1.0
非製造業	68.4	73.3	△ 4.9	▼ 0.4
卸売	70.9	77.6	△ 6.7	▼ 2.6
小売	68.8	75.5	△ 6.7	▼ 1.5
情報通信	54.2	56.8	△ 2.6	△ 2.3
飲食・宿泊	76.7	79.0	△ 2.3	▼ 3.1
サービス	63.6	70.0	△ 6.4	▼ 0.9
建設	71.2	71.6	△ 0.4	△ 6.2
観光関連	69.8	75.0	△ 5.2	▼ 3.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

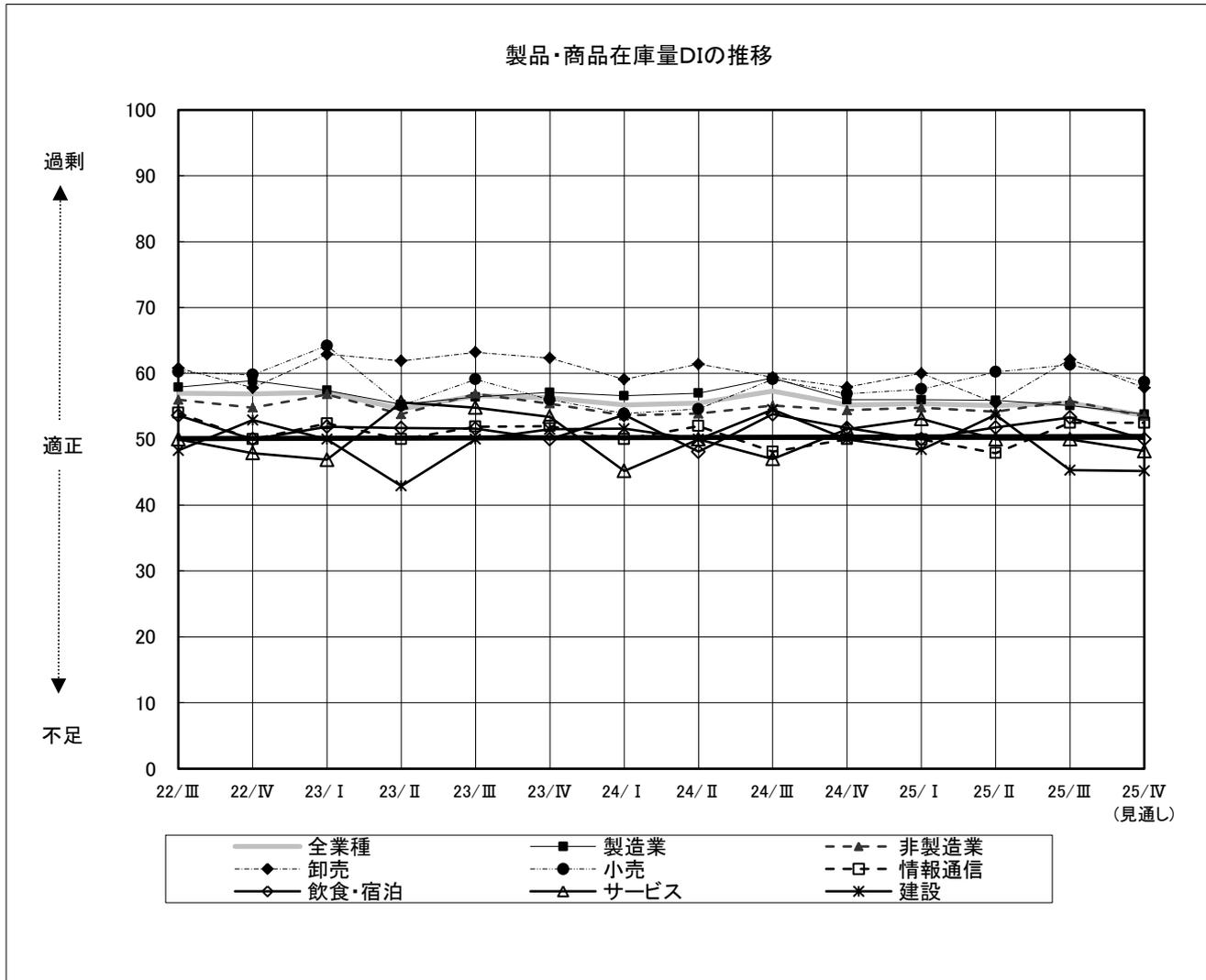


図 12. 製品・商品在庫量DI の推移 (製造業)

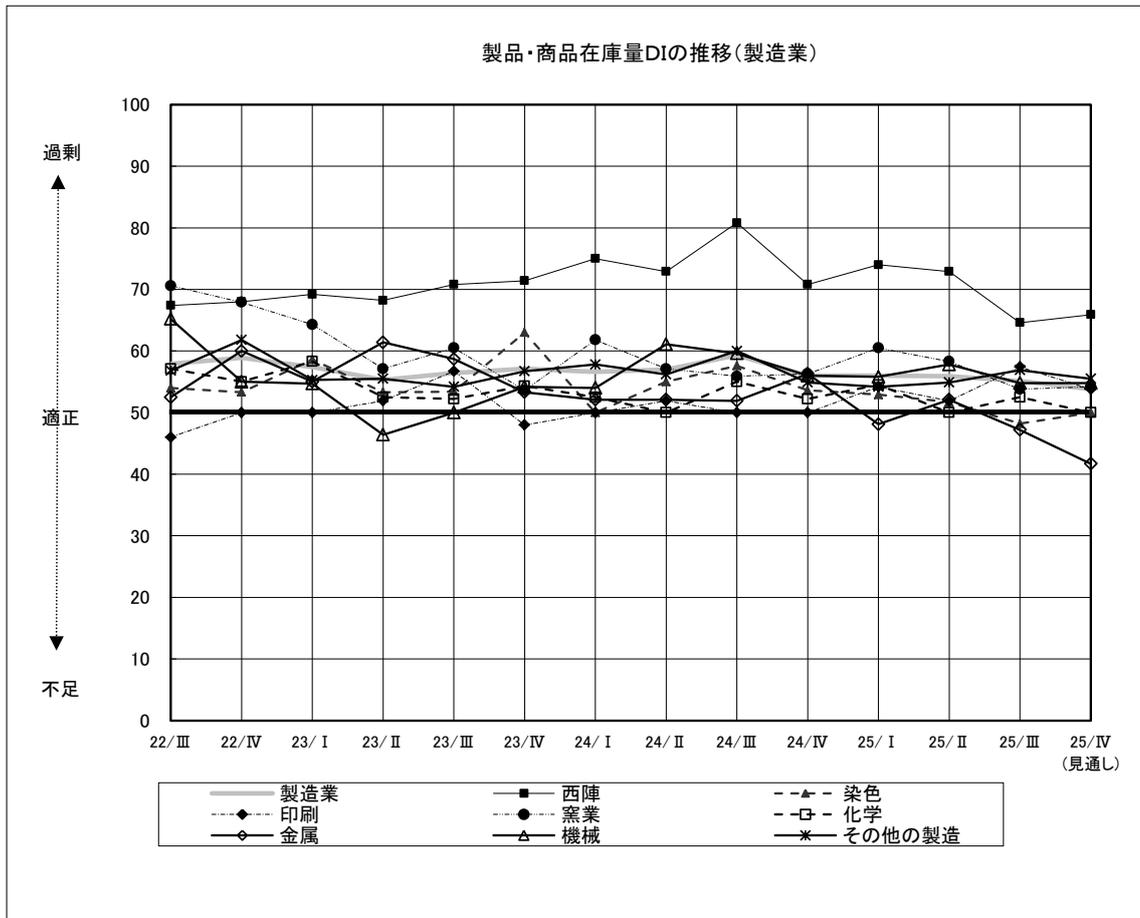


表 6. 製品・商品在庫量DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	55.1	55.5	△ 0.4	53.6	▼ 1.9
製造業	55.9	55.1	▼ 0.8	53.8	▼ 1.3
西陣	72.9	64.6	▼ 8.3	65.9	△ 1.3
染色	51.7	48.2	▼ 3.5	50.0	△ 1.8
印刷	51.9	57.4	△ 5.5	53.8	▼ 3.6
窯業	58.3	53.8	▼ 4.5	54.2	△ 0.4
化学	50.0	52.5	△ 2.5	50.0	▼ 2.5
金属	52.1	47.2	▼ 4.9	41.7	▼ 5.5
機械	57.8	54.8	▼ 3.0	54.8	△ 0.0
その他の製造	54.9	56.9	△ 2.0	55.5	▼ 1.4
非製造業	54.2	55.8	△ 1.6	53.5	▼ 2.3
卸売	55.5	62.1	△ 6.6	57.8	▼ 4.3
小売	60.2	61.3	△ 1.1	58.7	▼ 2.6
情報通信	47.9	52.5	△ 4.6	52.5	△ 0.0
飲食・宿泊	51.8	53.3	△ 1.5	50.0	▼ 3.3
サービス	50.0	50.0	△ 0.0	48.2	▼ 1.8
建設	53.7	45.3	▼ 8.4	45.2	▼ 0.1
観光関連	54.8	57.5	△ 2.7	54.3	▼ 3.2

7. 雇用人員

図13. 雇用人員DIの推移 (全体)

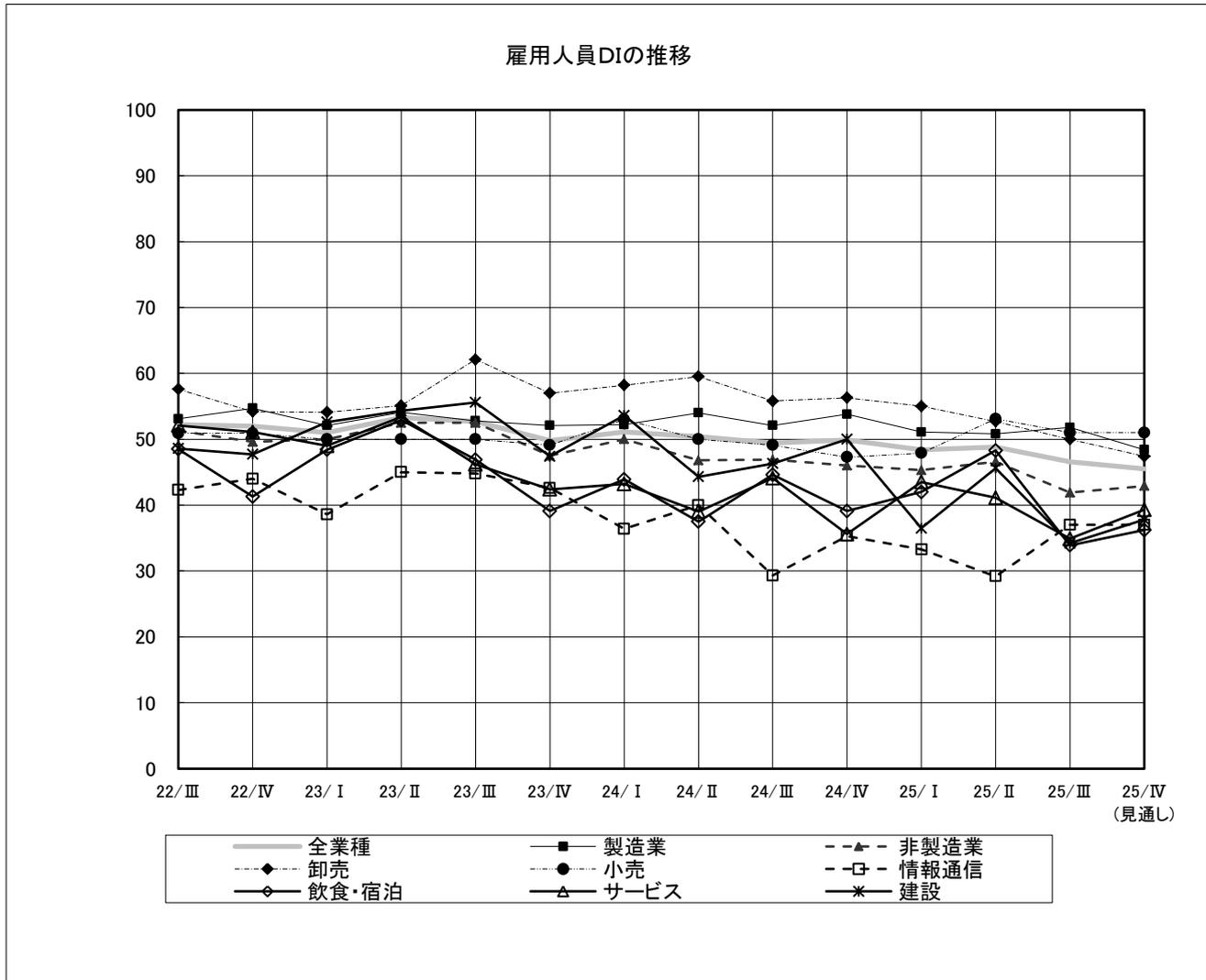


図 14. 雇用人員DIの推移（製造業）

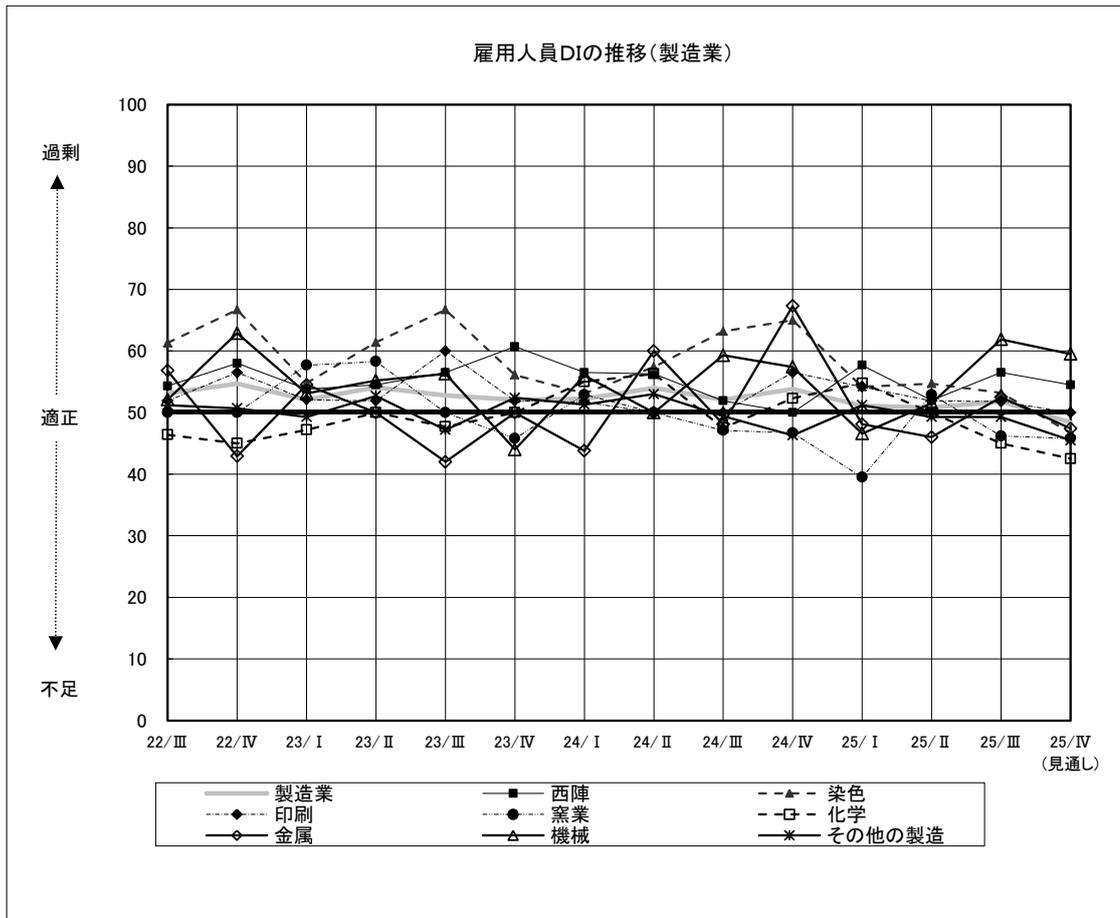


表 7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	48.8	46.6	▼ 2.2	45.5 ▼ 1.1
製造業	50.8	51.8	△ 1.0	48.4 ▼ 3.4
西陣	52.0	56.5	△ 4.5	54.5 ▼ 2.0
染色	54.7	53.2	▼ 1.5	46.7 ▼ 6.5
印刷	51.9	51.8	▼ 0.1	50.0 ▼ 1.8
窯業	52.9	46.2	▼ 6.7	45.8 ▼ 0.4
化学	50.0	45.0	▼ 5.0	42.5 ▼ 2.5
金属	46.0	52.5	△ 6.5	47.4 ▼ 5.1
機械	51.5	61.9	△ 10.4	59.5 ▼ 2.4
その他の製造	49.3	49.3	△ 0.0	45.5 ▼ 3.8
非製造業	46.6	41.9	▼ 4.7	42.9 △ 1.0
卸売	52.7	50.0	▼ 2.7	47.4 ▼ 2.6
小売	53.1	51.0	▼ 2.1	51.0 △ 0.0
情報通信	29.2	37.0	△ 7.8	37.0 △ 0.0
飲食・宿泊	48.3	33.9	▼ 14.4	36.2 △ 2.3
サービス	41.1	34.9	▼ 6.2	39.3 △ 4.4
建設	45.6	34.2	▼ 11.4	37.8 △ 3.6
観光関連	43.0	45.0	△ 2.0	42.9 ▼ 2.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図15. 資金繰りDIの推移 (全体)

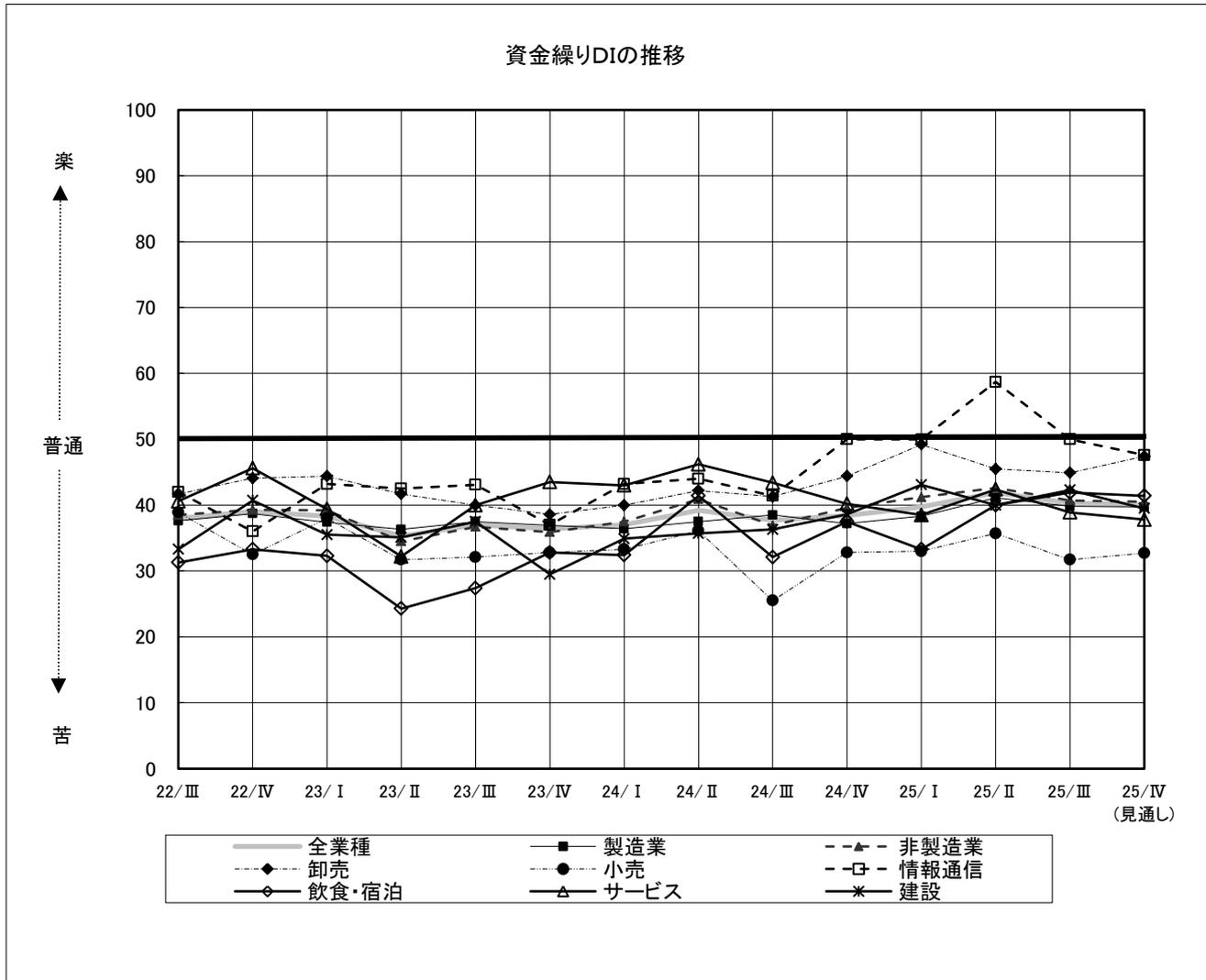


図16. 資金繰りDIの推移（製造業）

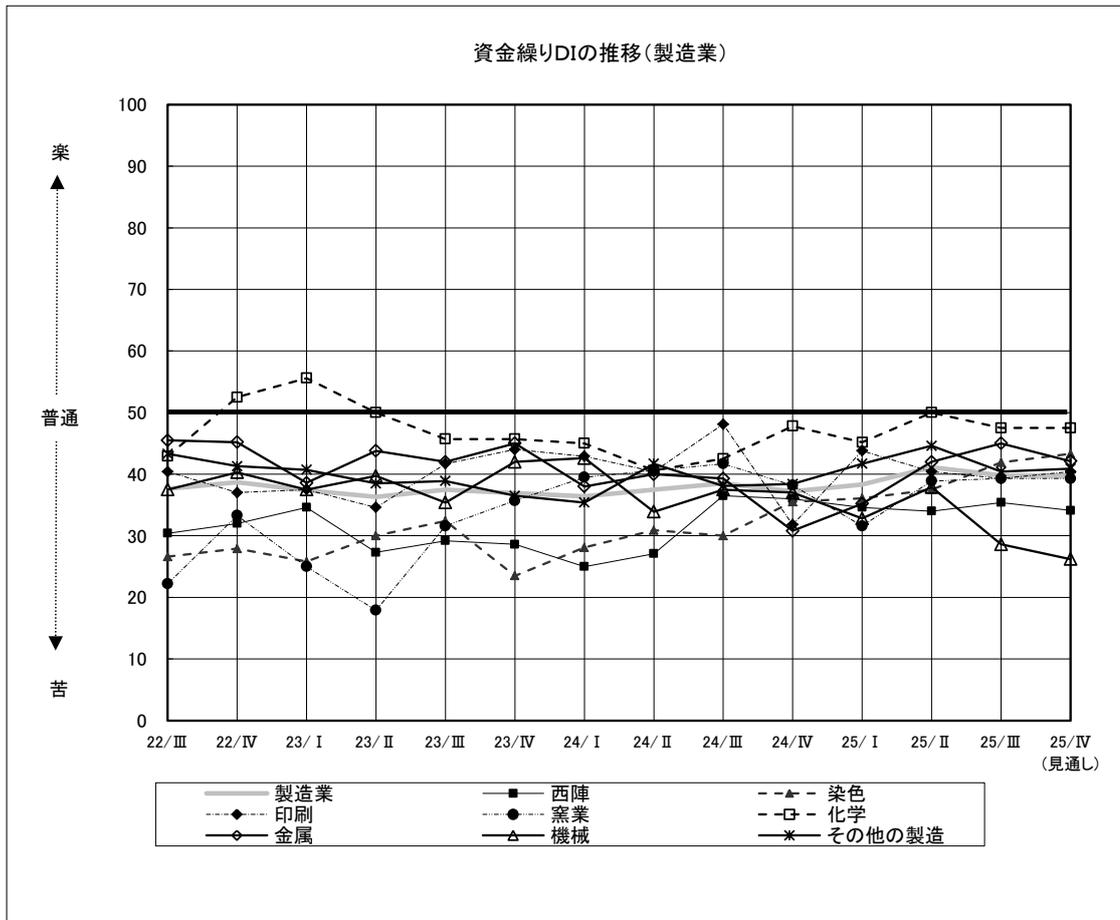


表8. 資金繰りDI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	41.9	40.3	▼ 1.6	40.1 ▼ 0.2
製造業	41.1	39.8	▼ 1.3	39.7 ▼ 0.1
西陣	34.0	35.4	△ 1.4	34.1 ▼ 1.3
染色	37.5	41.9	△ 4.4	43.3 △ 1.4
印刷	40.4	39.3	▼ 1.1	40.4 △ 1.1
窯業	38.9	39.3	△ 0.4	39.3 △ 0.0
化学	50.0	47.5	▼ 2.5	47.5 △ 0.0
金属	42.0	45.0	△ 3.0	42.1 ▼ 2.9
機械	37.9	28.6	▼ 9.3	26.2 ▼ 2.4
その他の製造	44.6	40.4	▼ 4.2	40.9 △ 0.5
非製造業	42.6	40.7	▼ 1.9	40.5 ▼ 0.2
卸売	45.5	44.9	▼ 0.6	47.4 △ 2.5
小売	35.7	31.7	▼ 4.0	32.7 △ 1.0
情報通信	58.7	50.0	▼ 8.7	47.6 ▼ 2.4
飲食・宿泊	40.0	41.9	△ 1.9	41.4 ▼ 0.5
サービス	42.4	38.9	▼ 3.5	37.8 ▼ 1.1
建設	40.0	42.3	△ 2.3	39.5 ▼ 2.8
観光関連	41.9	36.3	▼ 5.6	38.2 △ 1.9

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移 (全体)

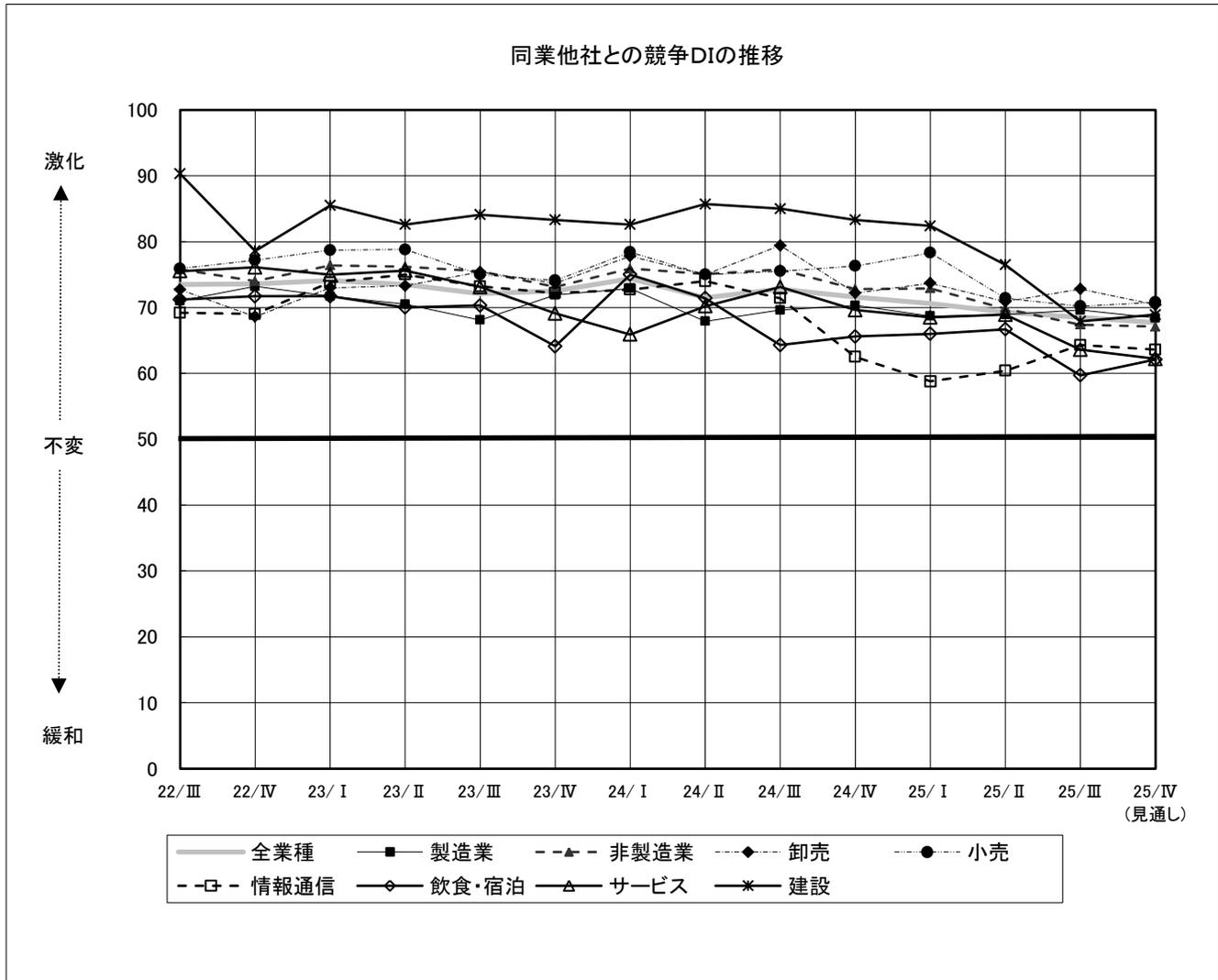


図 18. 同業他社との競争DIの推移（製造業）

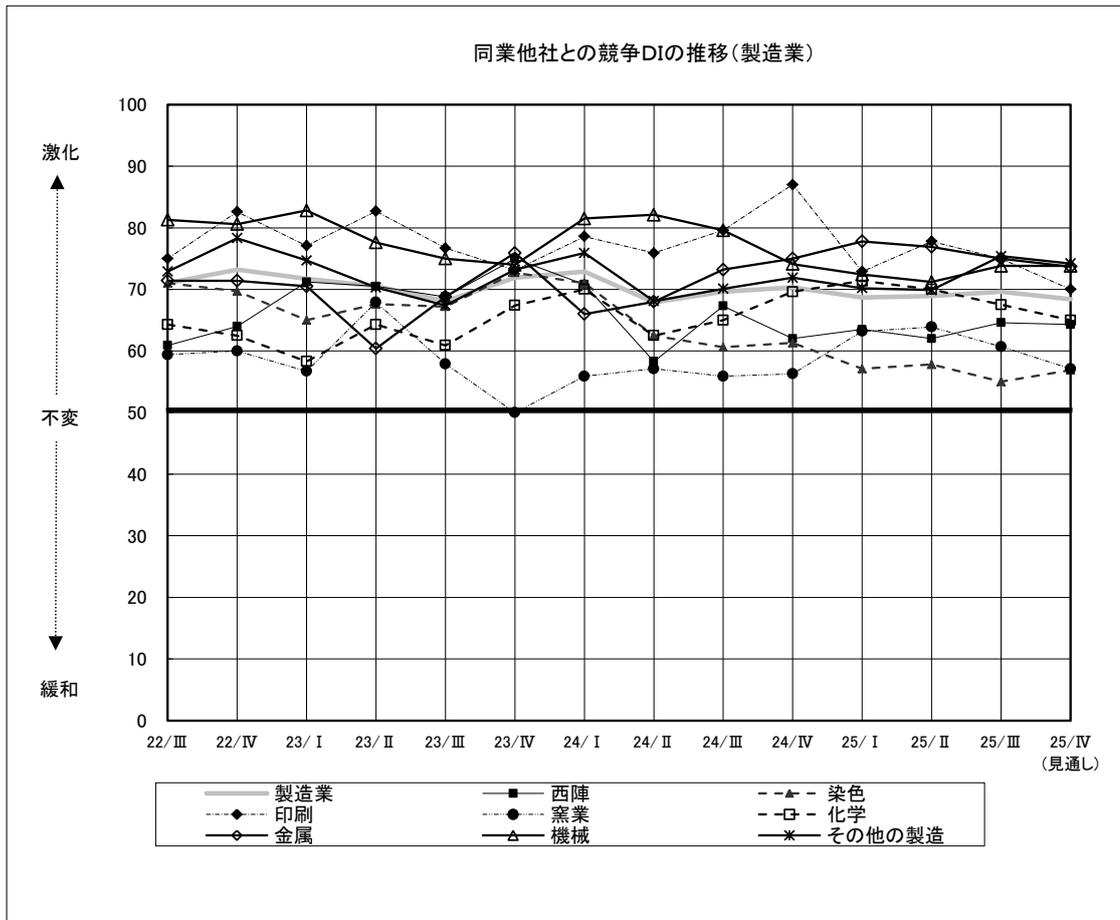


表 9. 同業他社との競争DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	69.3	68.5	▼ 0.8	67.7	▼ 0.8
製造業	68.9	69.6	△ 0.7	68.4	▼ 1.2
西陣	62.0	64.6	△ 2.6	64.3	▼ 0.3
染色	57.8	55.0	▼ 2.8	56.9	△ 1.9
印刷	77.8	75.0	▼ 2.8	70.0	▼ 5.0
窯業	63.9	60.7	▼ 3.2	57.1	▼ 3.6
化学	70.0	67.5	▼ 2.5	65.0	▼ 2.5
金属	76.9	75.0	▼ 1.9	73.7	▼ 1.3
機械	71.2	73.8	△ 2.6	73.8	△ 0.0
その他の製造	69.9	75.4	△ 5.5	74.2	▼ 1.2
非製造業	69.8	67.4	▼ 2.4	67.1	▼ 0.3
卸売	70.9	72.8	△ 1.9	70.4	▼ 2.4
小売	71.4	70.2	▼ 1.2	70.8	△ 0.6
情報通信	60.4	64.3	△ 3.9	63.6	▼ 0.7
飲食・宿泊	66.7	59.7	▼ 7.0	62.1	△ 2.4
サービス	68.9	63.6	▼ 5.3	62.2	▼ 1.4
建設	76.5	67.9	▼ 8.6	68.9	△ 1.0
観光関連	69.8	66.3	▼ 3.5	64.3	▼ 2.0

10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

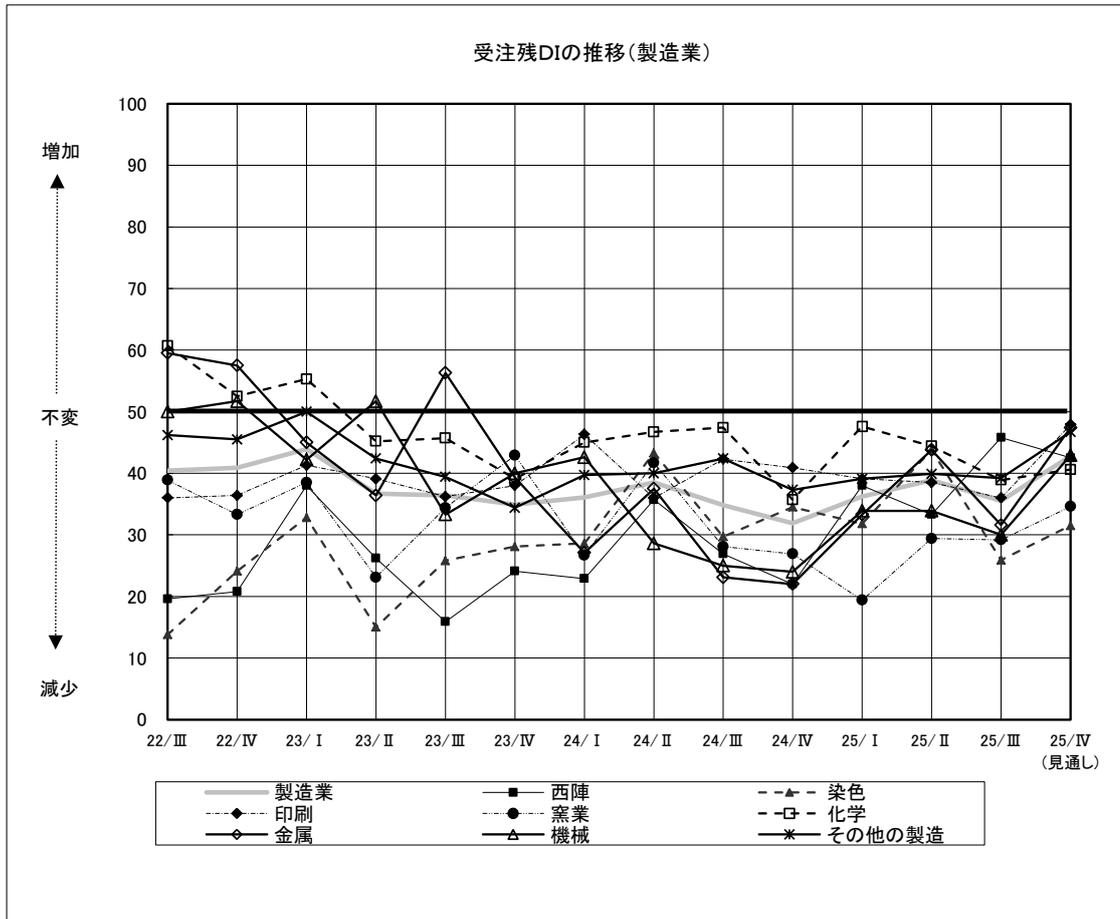


表10. 受注残DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	38.9	35.5	▼ 3.4	△ 7.3
西陣	33.3	45.8	△ 12.5	▼ 3.3
染色	43.8	25.9	▼ 17.9	△ 5.6
印刷	38.5	36.0	▼ 2.5	△ 11.9
窯業	29.4	29.2	▼ 0.2	△ 5.4
化学	44.4	38.9	▼ 5.5	△ 1.7
金属	43.8	31.6	▼ 12.2	△ 15.8
機械	33.9	30.0	▼ 3.9	△ 12.9
その他の製造	39.9	39.2	▼ 0.7	△ 7.5
観光関連	54.2	37.5	▼ 16.7	△ 12.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

1 1. 生産設備

図 20. 生産設備DIの推移

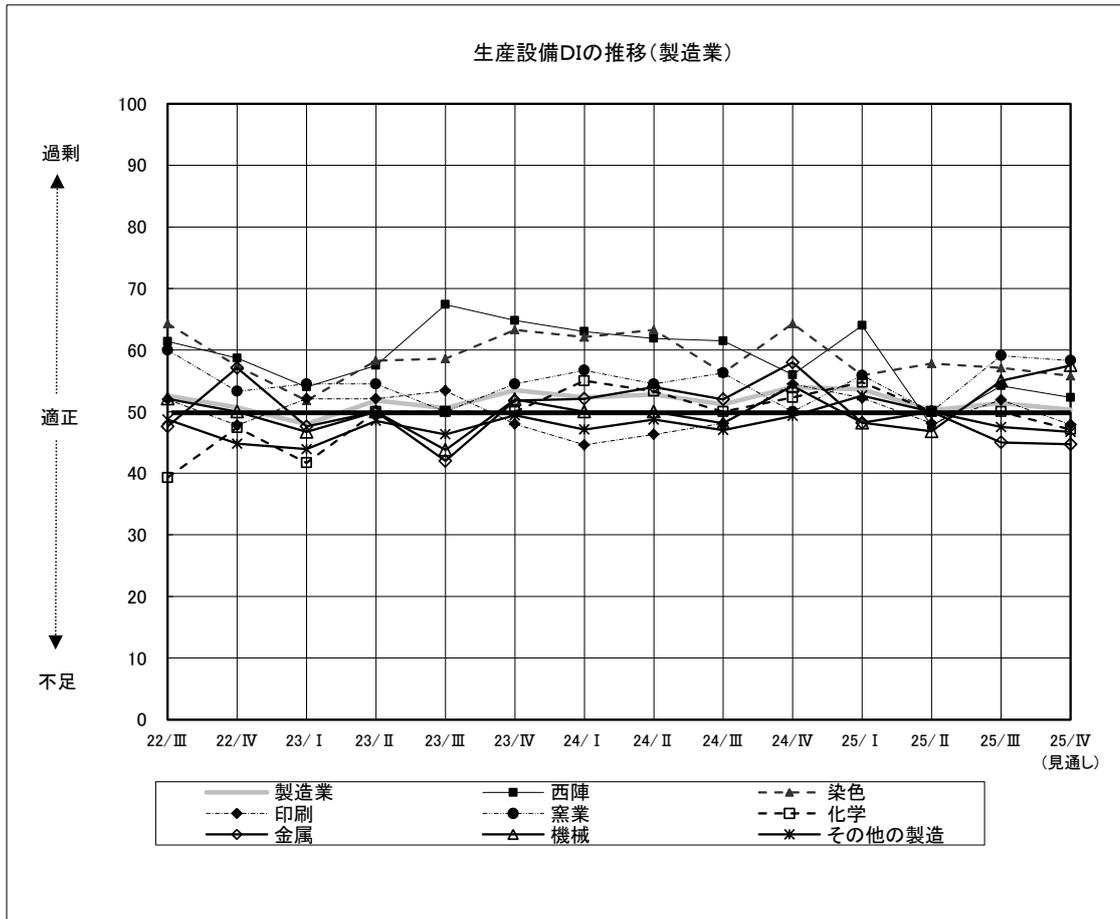


表 11. 生産設備DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	50.2	51.4	△ 1.2	▼ 1.1
西陣	47.7	54.2	△ 6.5	▼ 1.9
染色	57.8	57.1	▼ 0.7	▼ 1.3
印刷	48.1	51.9	△ 3.8	▼ 4.0
窯業	50.0	59.1	△ 9.1	▼ 0.8
化学	50.0	50.0	△ 0.0	▼ 2.9
金属	50.0	45.0	▼ 5.0	▼ 0.3
機械	46.8	55.0	△ 8.2	△ 2.5
その他の製造	50.0	47.5	▼ 2.5	▼ 0.8
観光関連	45.5	40.9	▼ 4.6	▼ 40.9

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

12. 設備投資

図 21. 設備投資DIの推移

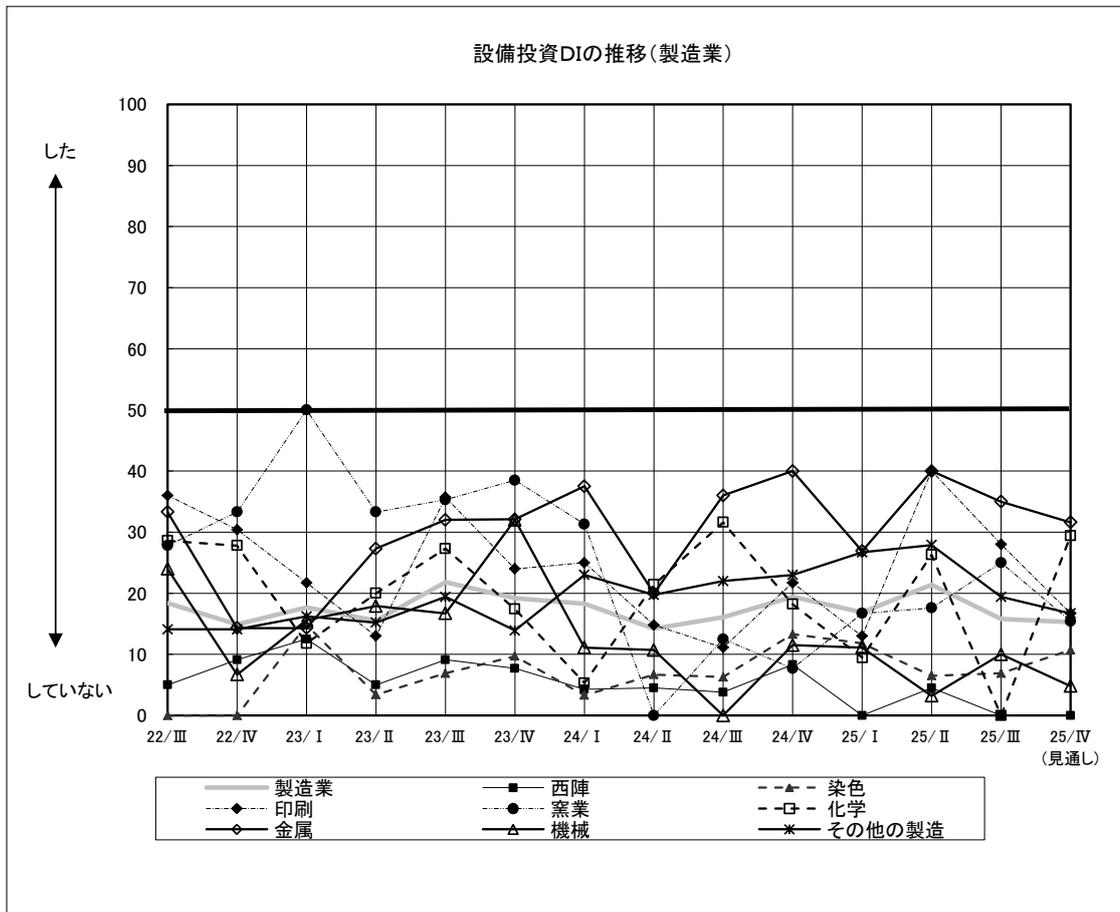


表 12. 設備投資DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	21.4	15.8	▼ 5.6	15.3 ▼ 0.5
西陣	4.5	0.0	▼ 4.5	0.0 △ 0.0
染色	6.5	6.9	△ 0.4	10.7 △ 3.8
印刷	40.0	28.0	▼ 12.0	16.7 ▼ 11.3
窯業	17.6	25.0	△ 7.4	15.4 ▼ 9.6
化学	26.3	0.0	▼ 26.3	29.4 △ 29.4
金属	40.0	35.0	▼ 5.0	31.6 ▼ 3.4
機械	3.2	10.0	△ 6.8	4.8 ▼ 5.2
その他の製造	27.9	19.4	▼ 8.5	16.7 ▼ 2.7
観光関連	27.3	0.0	▼ 27.3	20.0 △ 20.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

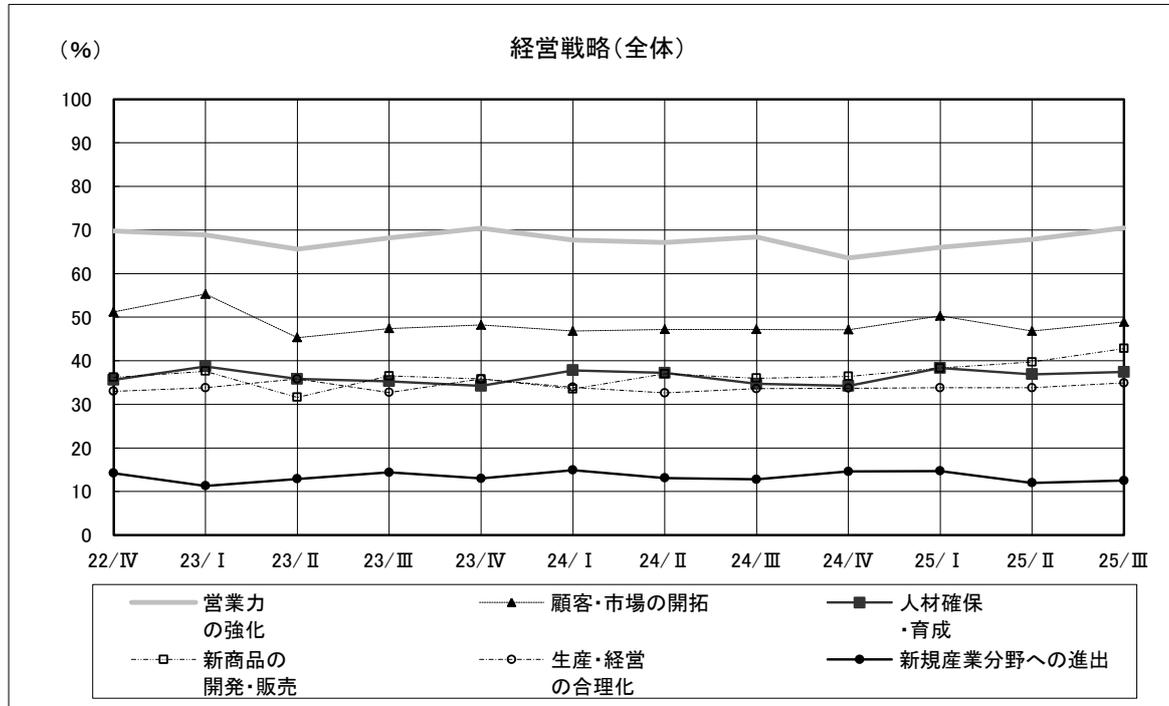


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

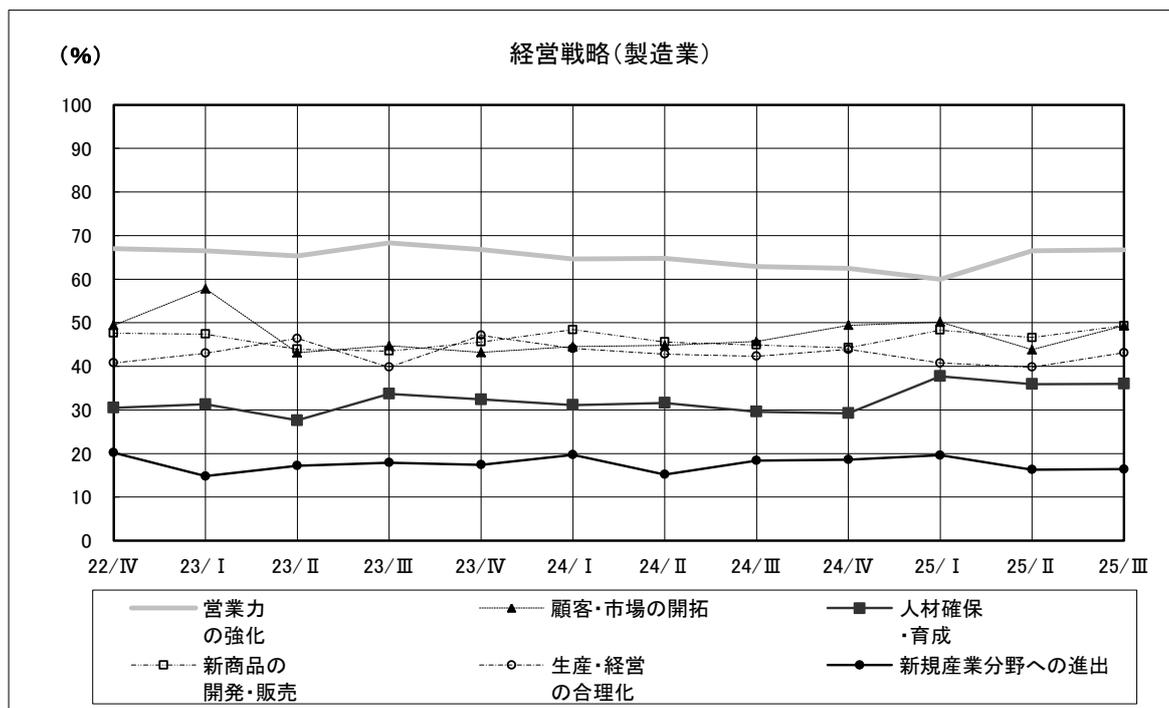


図 24. 当面の経営戦略・西陣

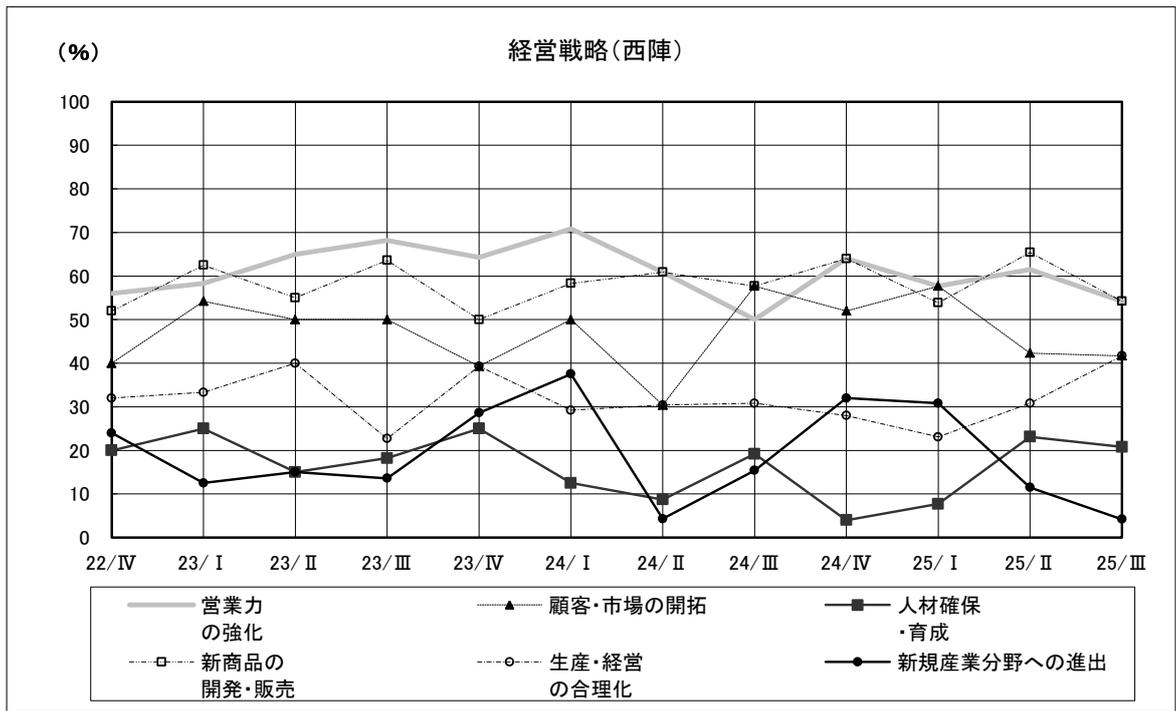


図 25. 当面の経営戦略・染色

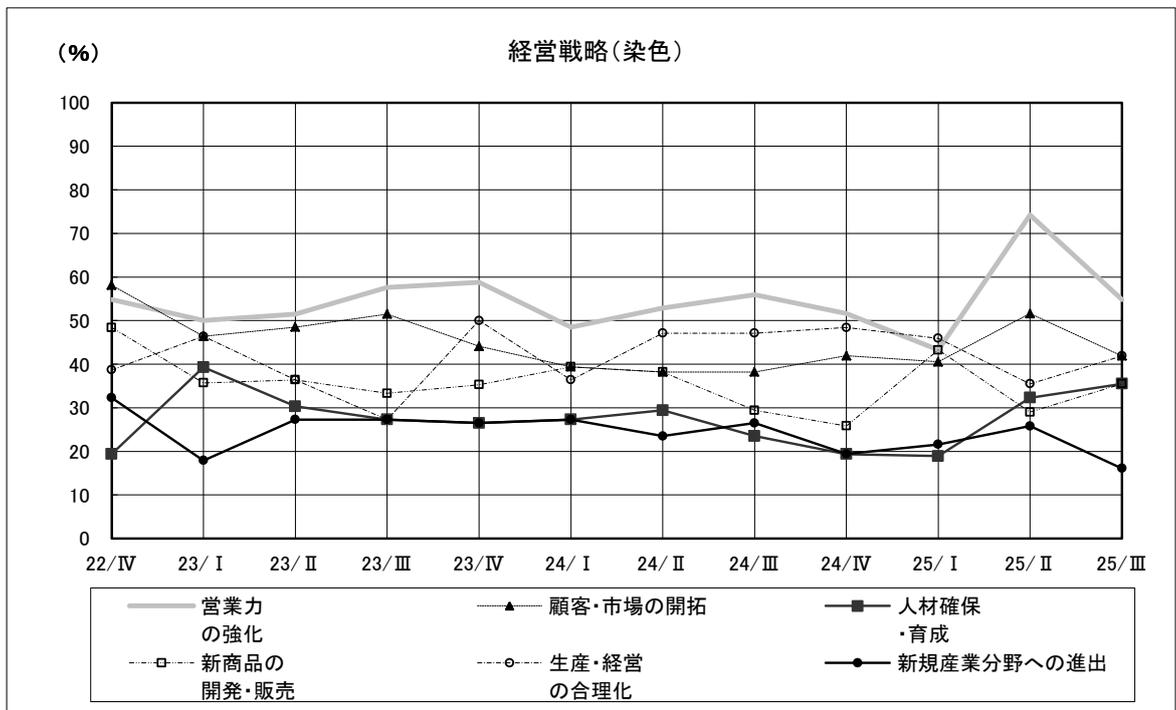


図 26. 当面の経営戦略・印刷

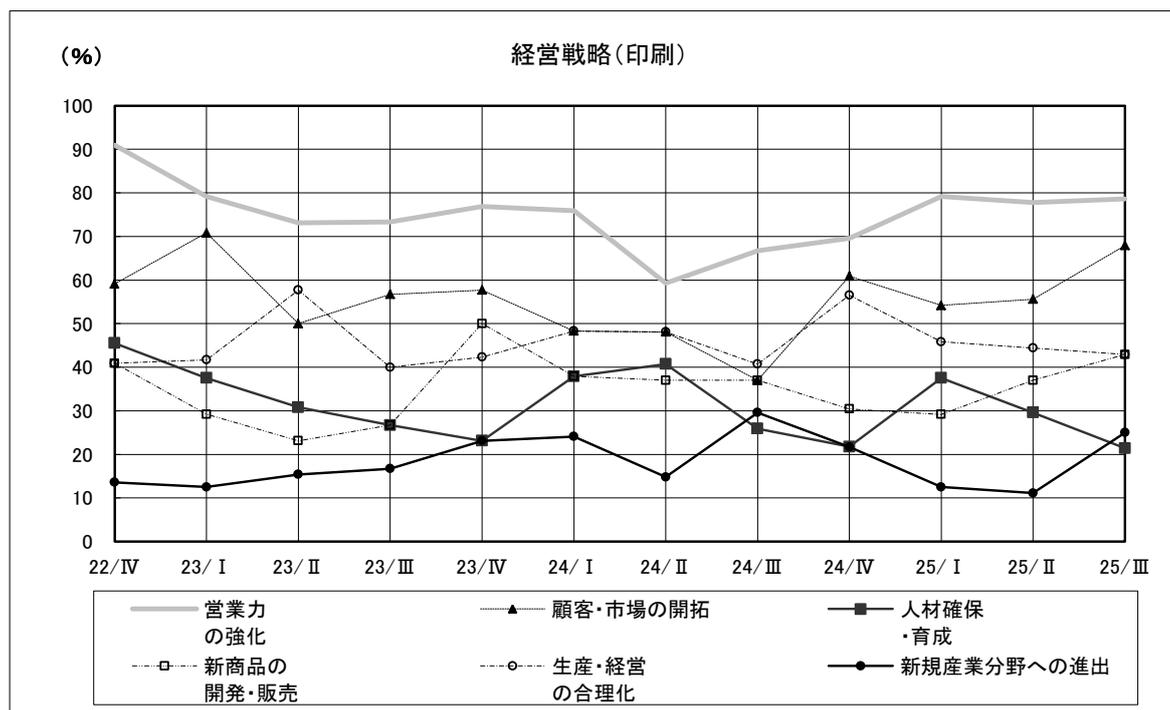


図 27. 当面の経営戦略・窯業

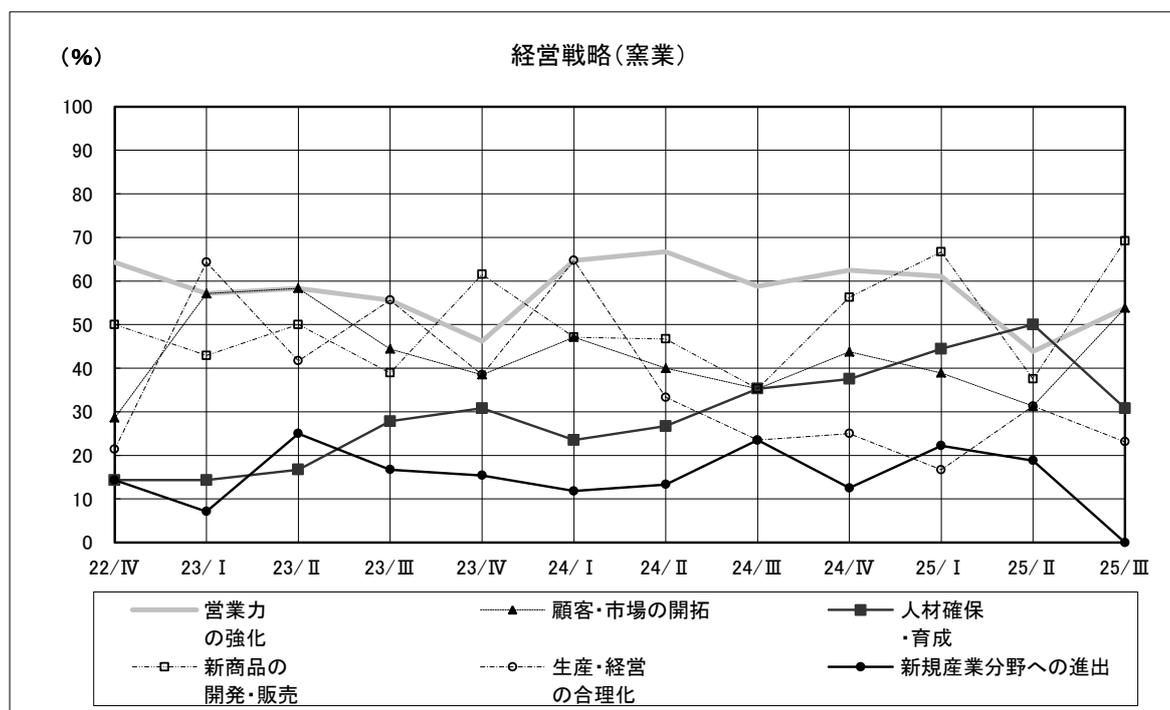


図 28. 当面の経営戦略・化学

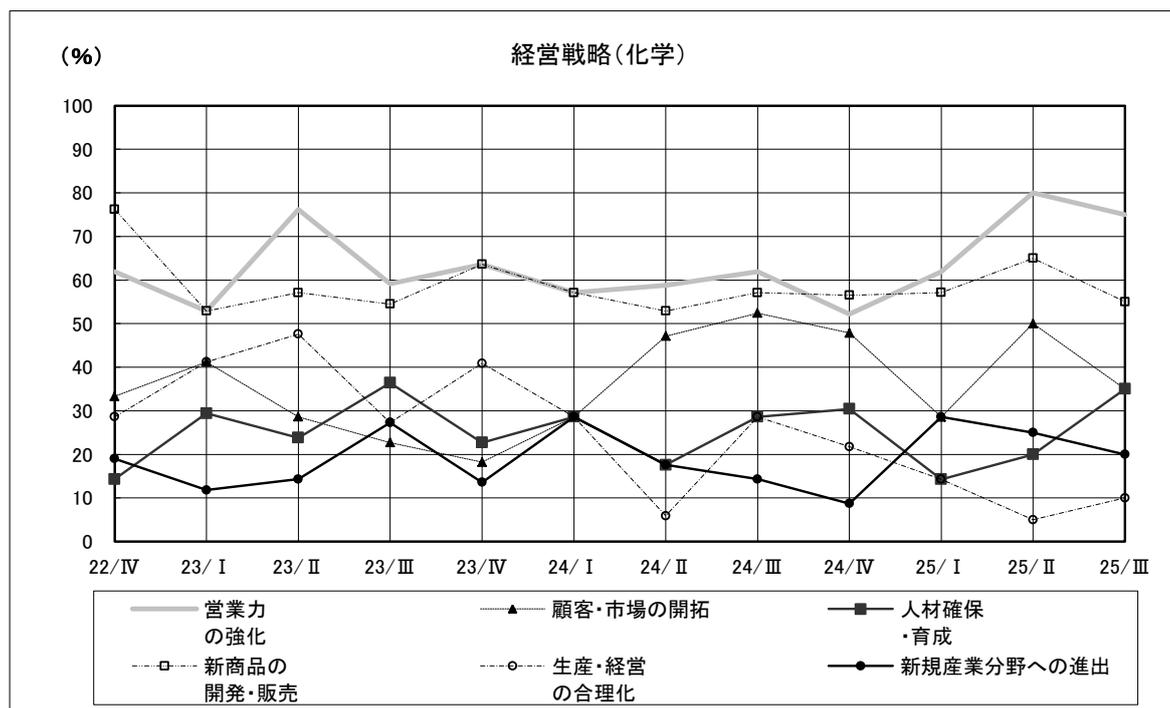


図 29. 当面の経営戦略・金属

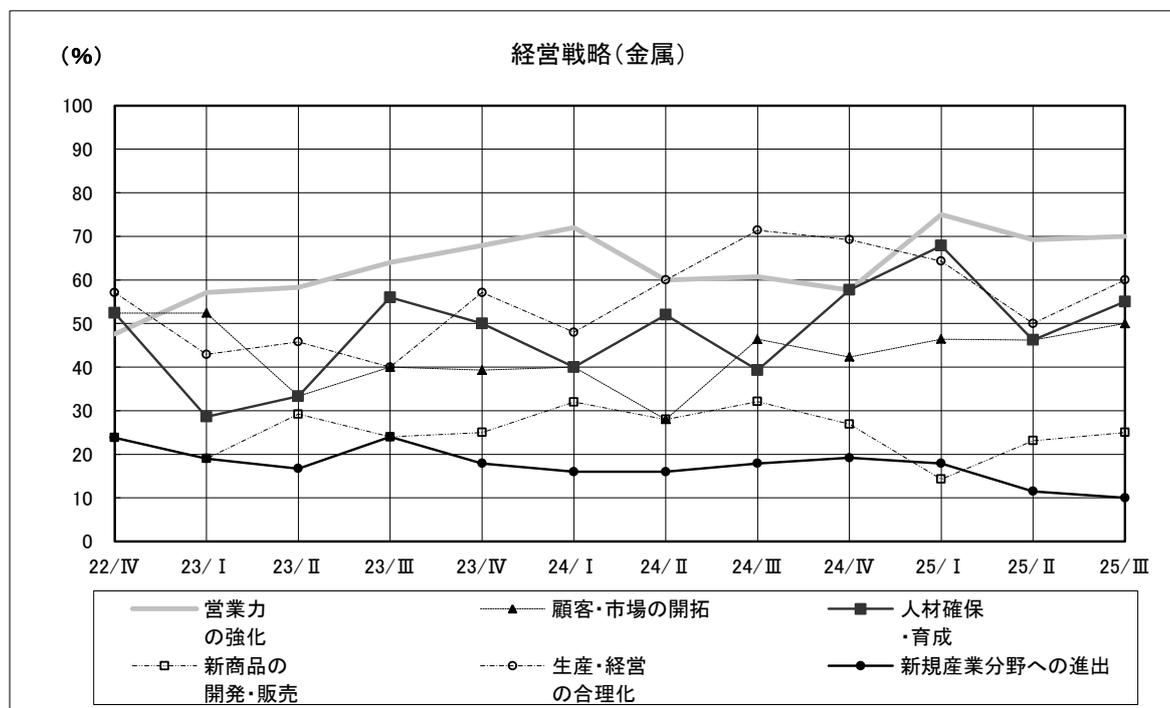


図 30. 当面の経営戦略・機械

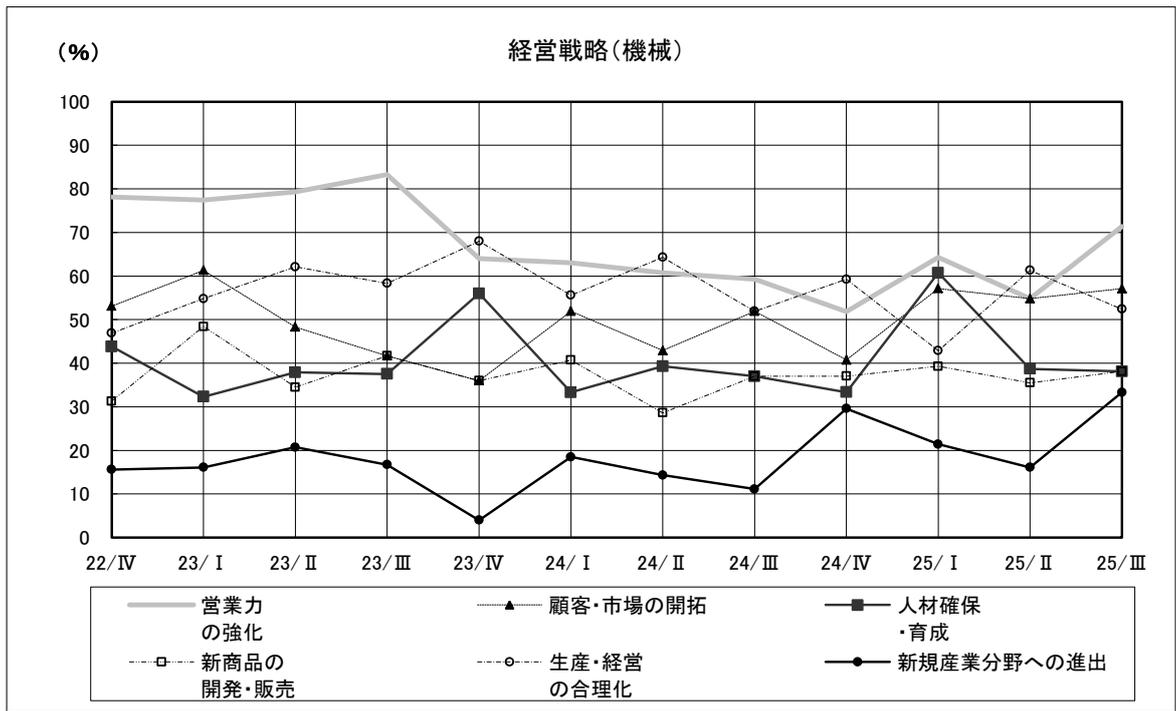


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

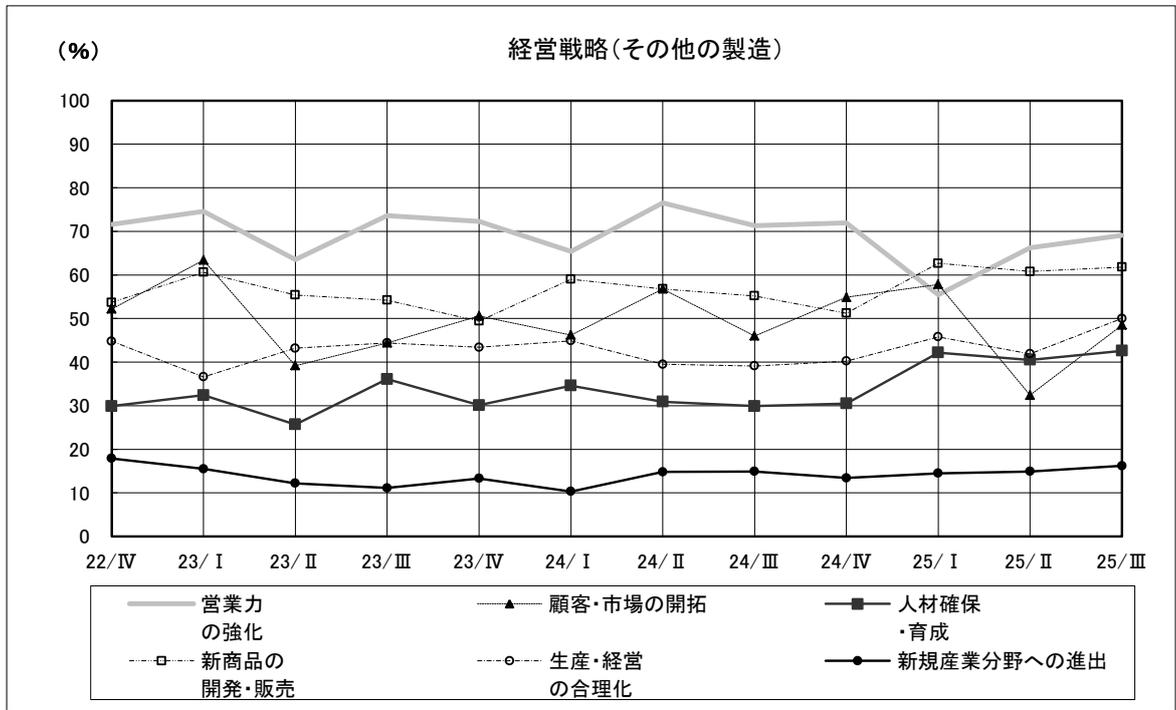


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

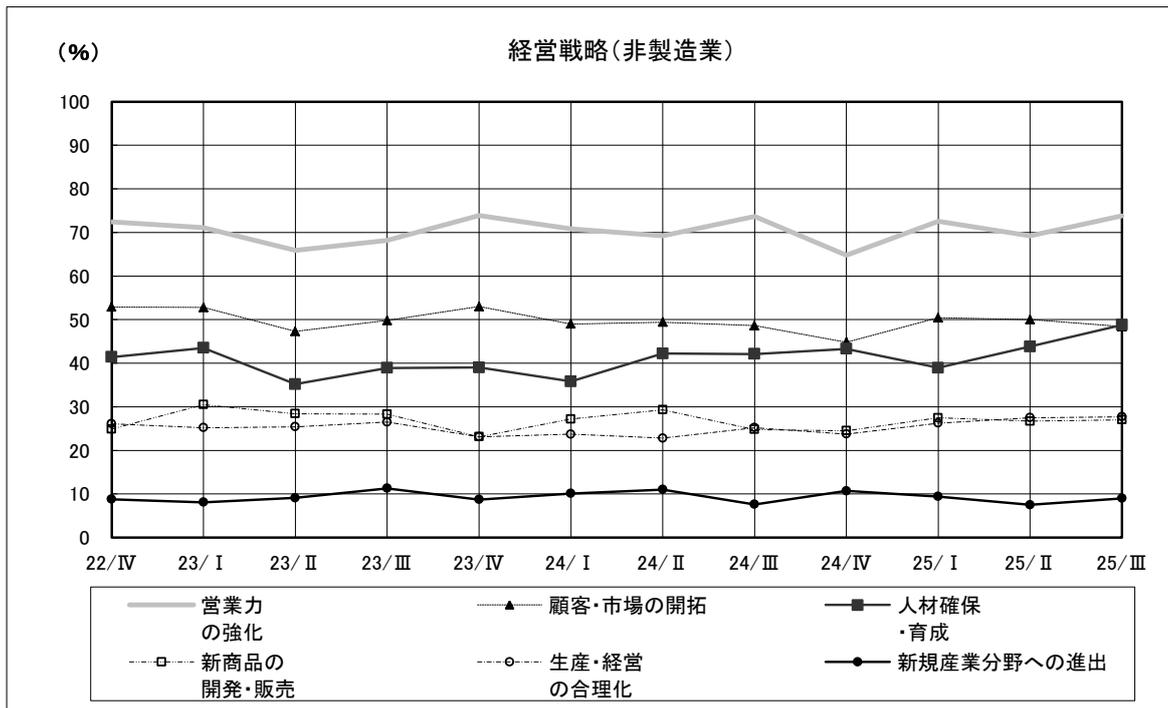


図 33. 当面の経営戦略・卸売

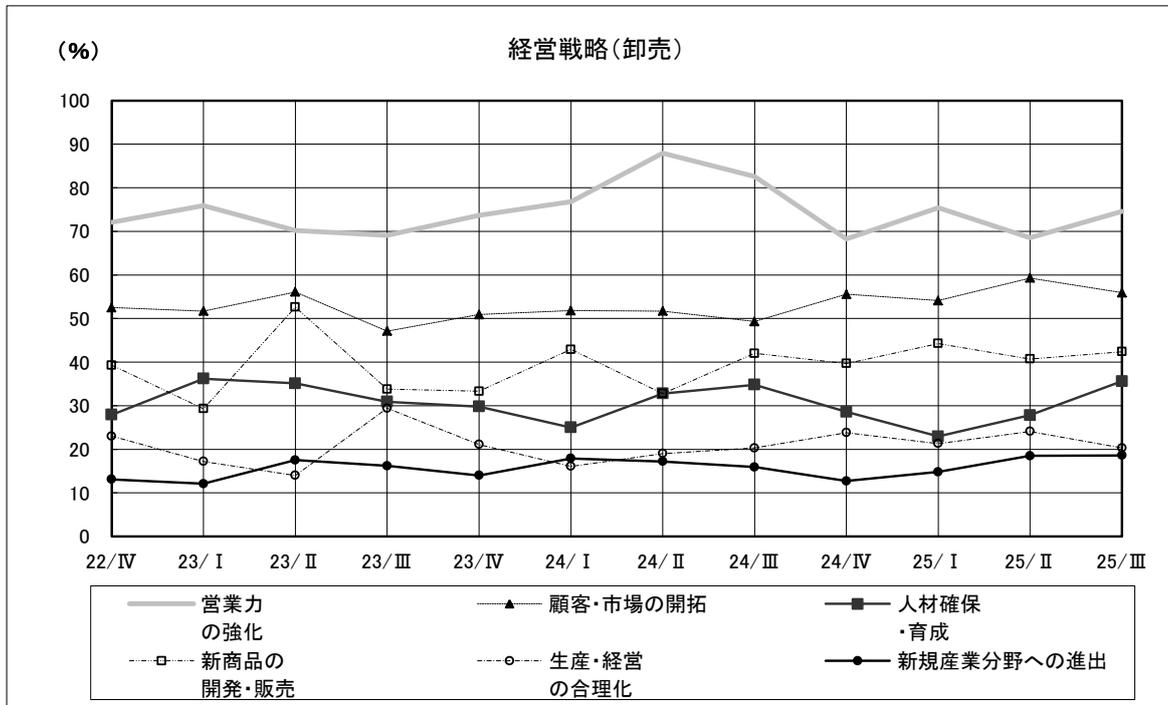


図 34. 当面の経営戦略・小売

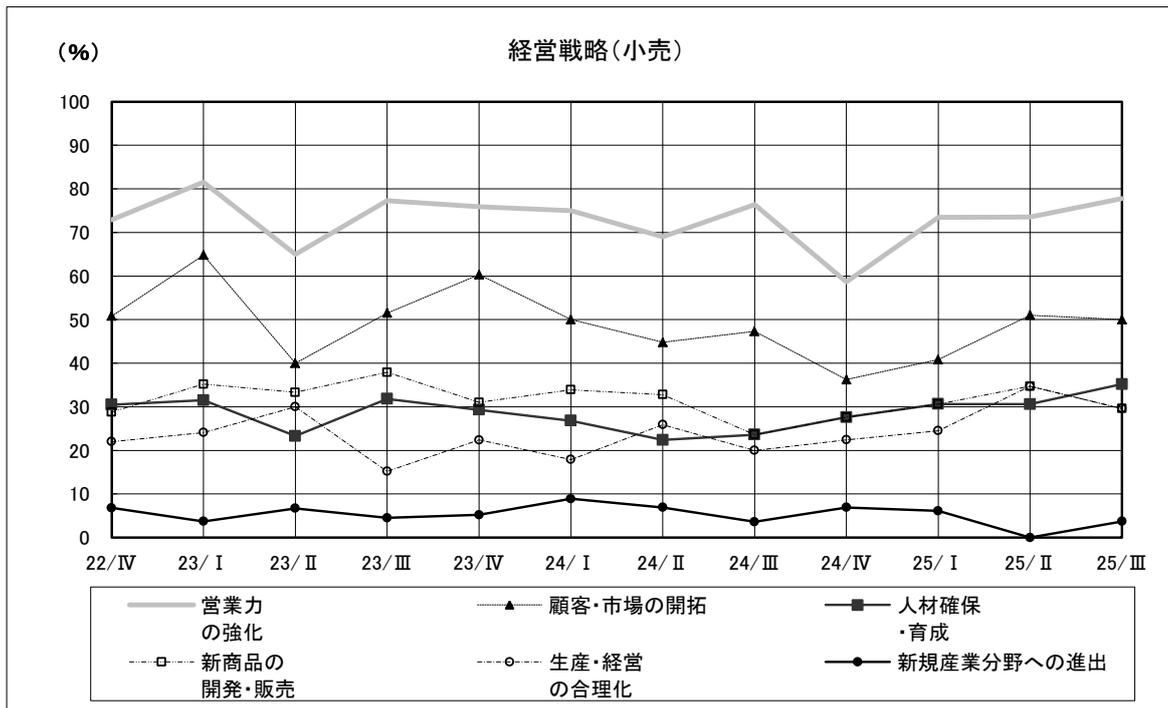


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

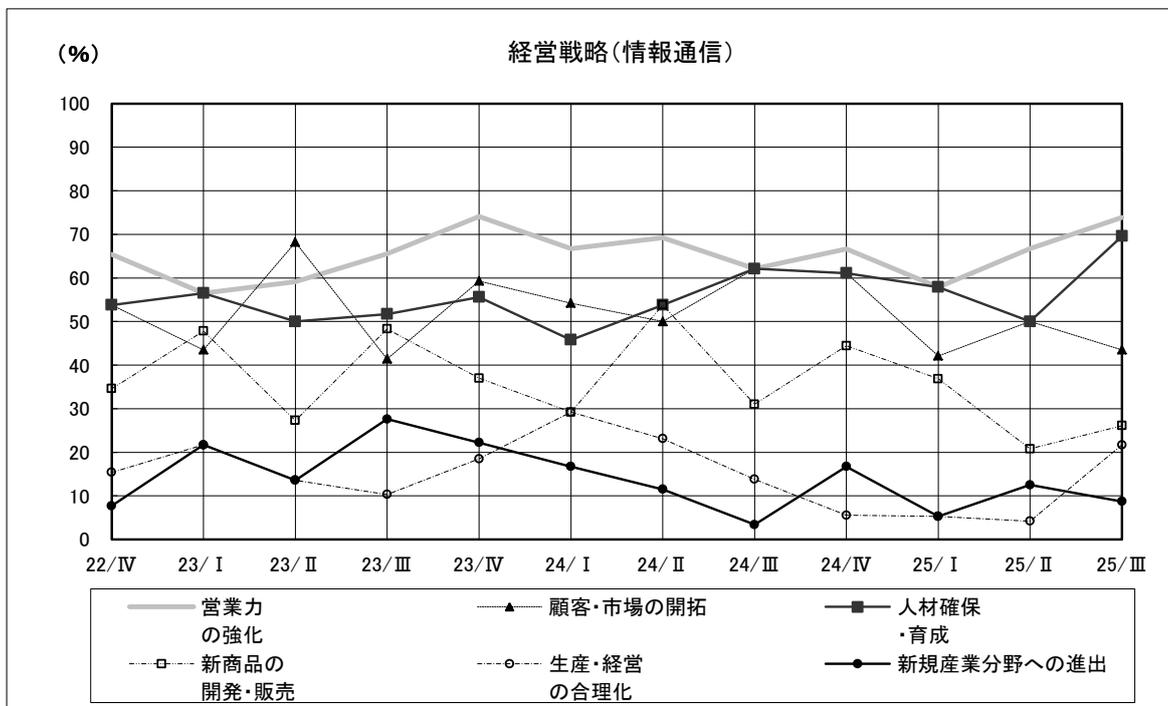


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

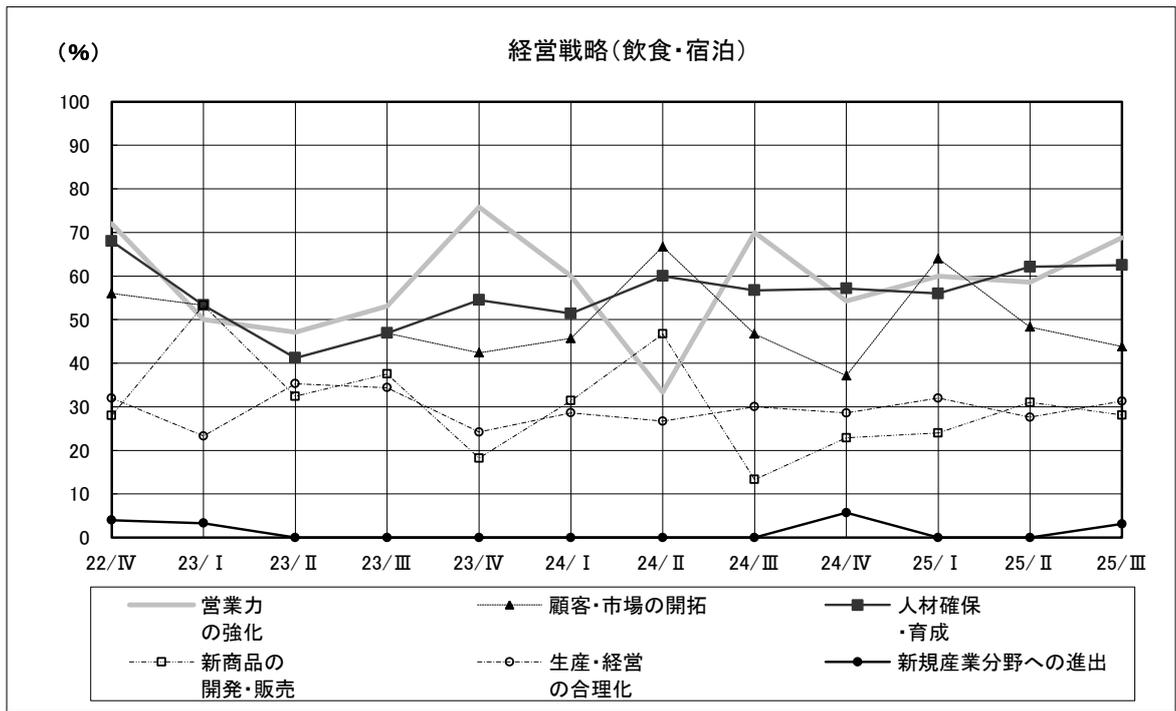


図 37. 当面の経営戦略・サービス

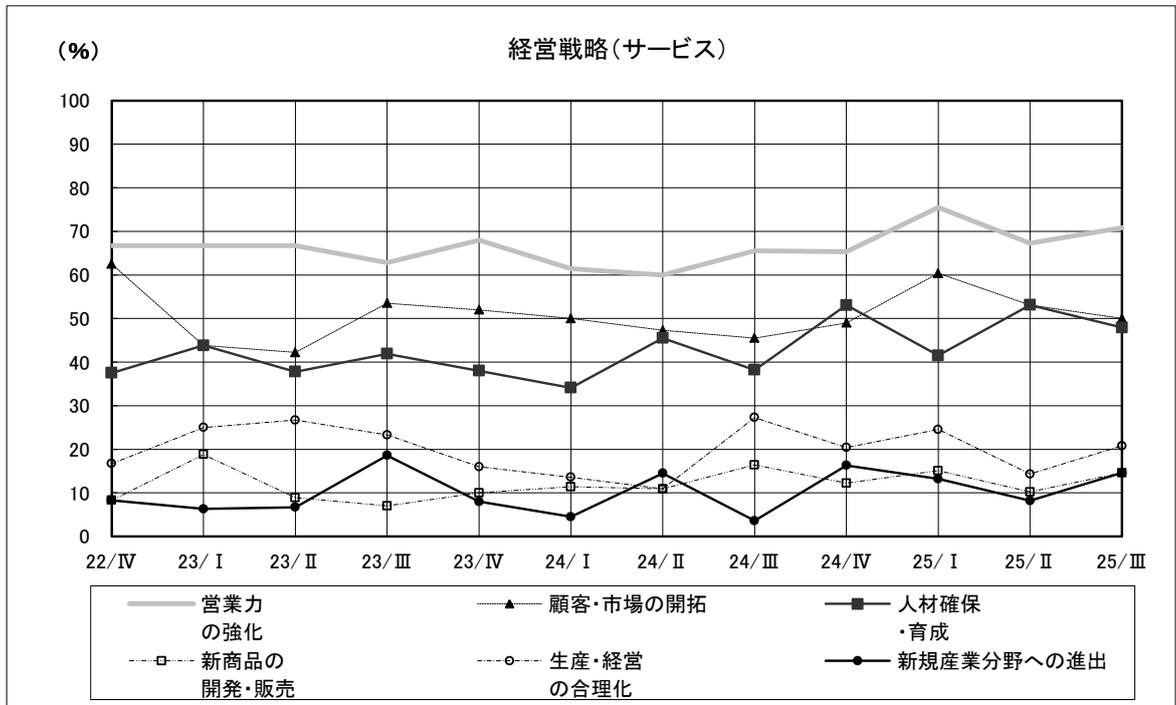


図 38. 当面の経営戦略・建設

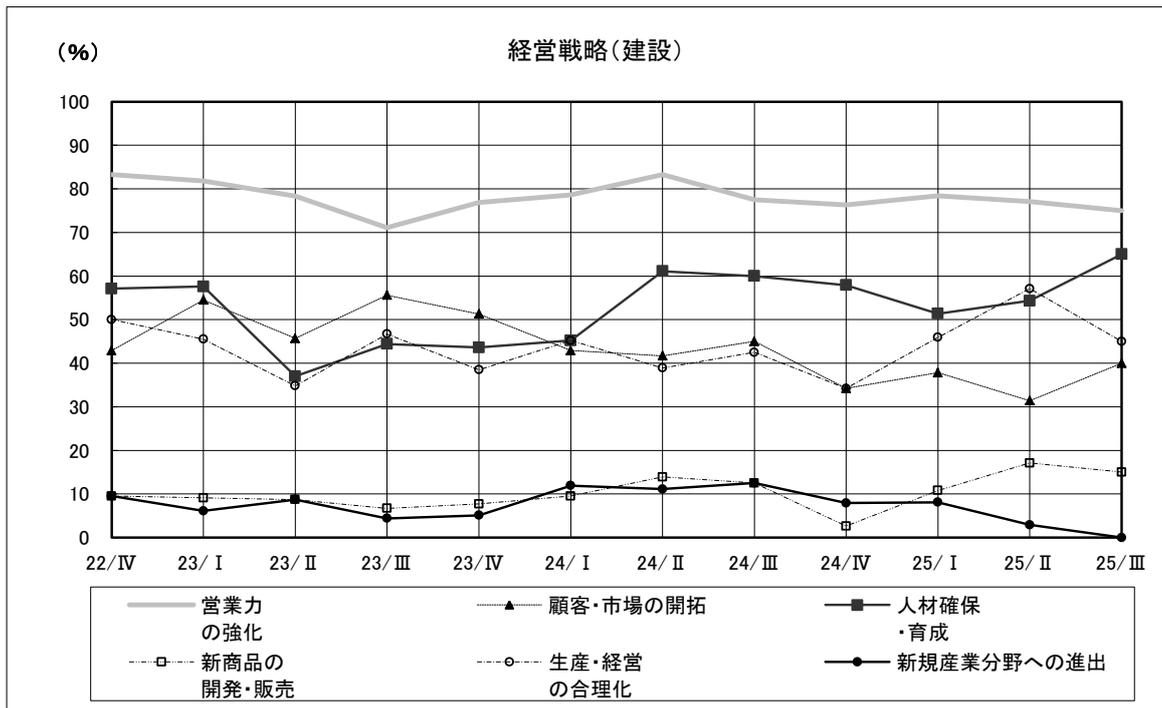


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	339 70.5%	168 34.9%	206 42.8%	60 12.5%	235 48.9%	180 37.4%	31 6.4%	50 10.4%	7 1.5%	481 100.0%	3
製造業	150 66.7%	97 43.1%	81 36.0%	37 16.4%	111 49.3%	111 49.3%	29 12.9%	22 9.8%	1 0.4%	225 100.0%	2
西陣	13 54.2%	10 41.7%	5 20.8%	1 4.2%	10 41.7%	13 54.2%	0 0.0%	3 12.5%	1 4.2%	24 100.0%	0
染色	17 54.8%	13 41.9%	11 35.5%	5 16.1%	13 41.9%	11 35.5%	2 6.5%	3 9.7%	0 0.0%	31 100.0%	1
印刷	22 78.6%	12 42.9%	6 21.4%	7 25.0%	19 67.9%	12 42.9%	2 7.1%	5 17.9%	0 0.0%	28 100.0%	0
窯業	7 53.8%	3 23.1%	4 30.8%	0 0.0%	7 53.8%	9 69.2%	3 23.1%	2 15.4%	0 0.0%	13 100.0%	1
化学	15 75.0%	2 10.0%	7 35.0%	4 20.0%	7 35.0%	11 55.0%	8 40.0%	2 10.0%	0 0.0%	20 100.0%	0
金属	14 70.0%	12 60.0%	11 55.0%	2 10.0%	10 50.0%	5 25.0%	1 5.0%	4 20.0%	0 0.0%	20 100.0%	0
機械	15 71.4%	11 52.4%	8 38.1%	7 33.3%	12 57.1%	8 38.1%	4 19.0%	1 4.8%	0 0.0%	21 100.0%	0
その他の製造	47 69.1%	34 50.0%	29 42.6%	11 16.2%	33 48.5%	42 61.8%	9 13.2%	2 2.9%	0 0.0%	68 100.0%	0
非製造業	189 73.8%	71 27.7%	125 48.8%	23 9.0%	124 48.4%	69 27.0%	2 0.8%	28 10.9%	6 2.3%	256 100.0%	1
卸売	44 74.6%	12 20.3%	21 35.6%	11 18.6%	33 55.9%	25 42.4%	0 0.0%	3 5.1%	2 3.4%	59 100.0%	0
小売	42 77.8%	16 29.6%	19 35.2%	2 3.7%	27 50.0%	16 29.6%	0 0.0%	6 11.1%	1 1.9%	54 100.0%	0
情報通信	17 73.9%	5 21.7%	16 69.6%	2 8.7%	10 43.5%	6 26.1%	1 4.3%	4 17.4%	0 0.0%	23 100.0%	0
飲食・宿泊	22 68.8%	10 31.3%	20 62.5%	1 3.1%	14 43.8%	9 28.1%	0 0.0%	3 9.4%	2 6.3%	32 100.0%	0
サービス	34 70.8%	10 20.8%	23 47.9%	7 14.6%	24 50.0%	7 14.6%	0 0.0%	4 8.3%	1 2.1%	48 100.0%	0
建設	30 75.0%	18 45.0%	26 65.0%	0 0.0%	16 40.0%	6 15.0%	1 2.5%	8 20.0%	0 0.0%	40 100.0%	1
観光関連	27 67.5%	12 30.0%	18 45.0%	1 2.5%	17 42.5%	23 57.5%	0 0.0%	2 5.0%	1 2.5%	40 100.0%	0

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位7項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

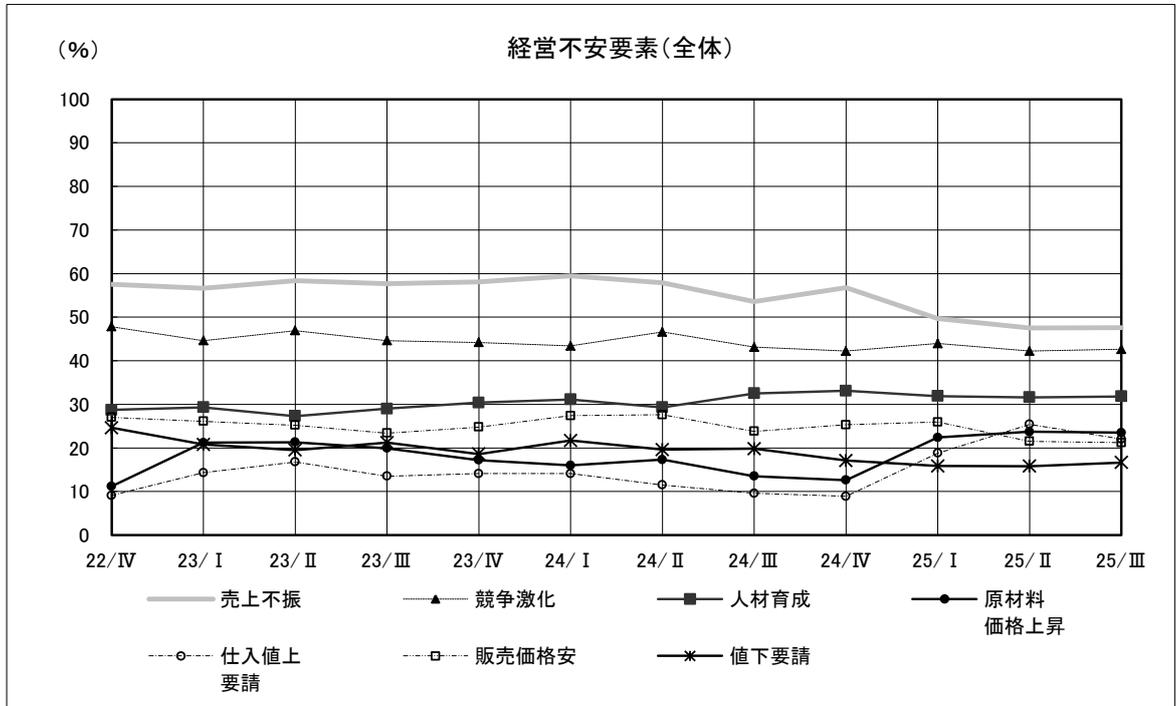


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

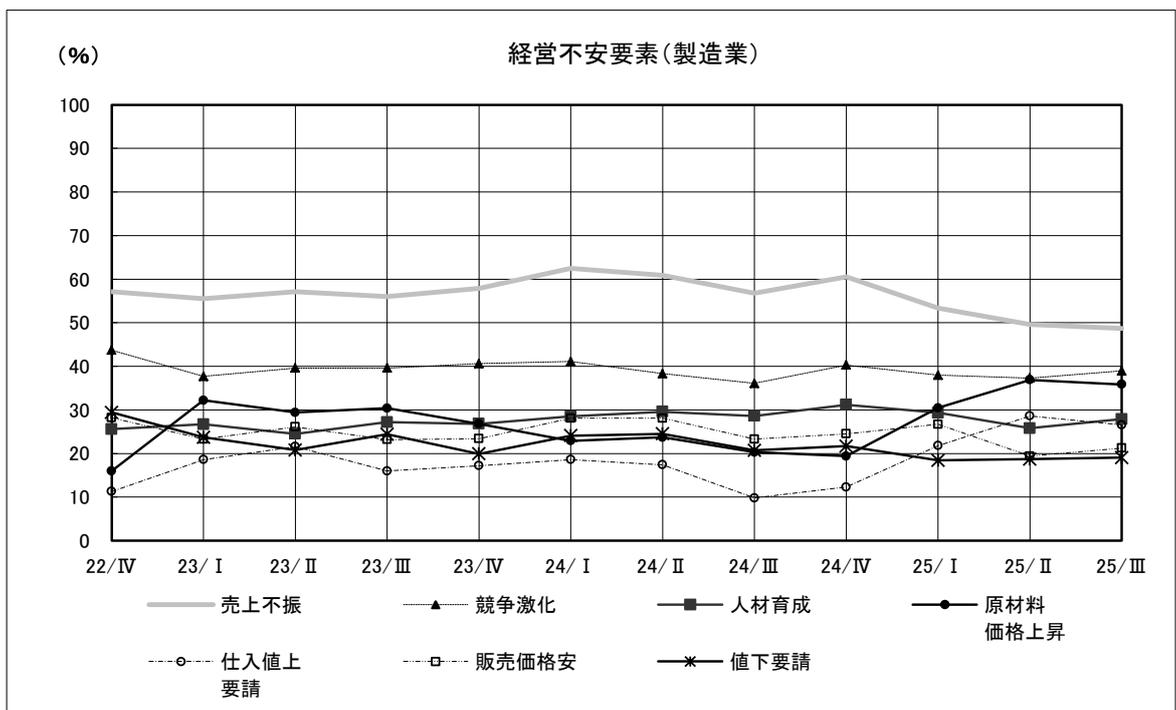


図 41. 経営上の不安要素・西陣

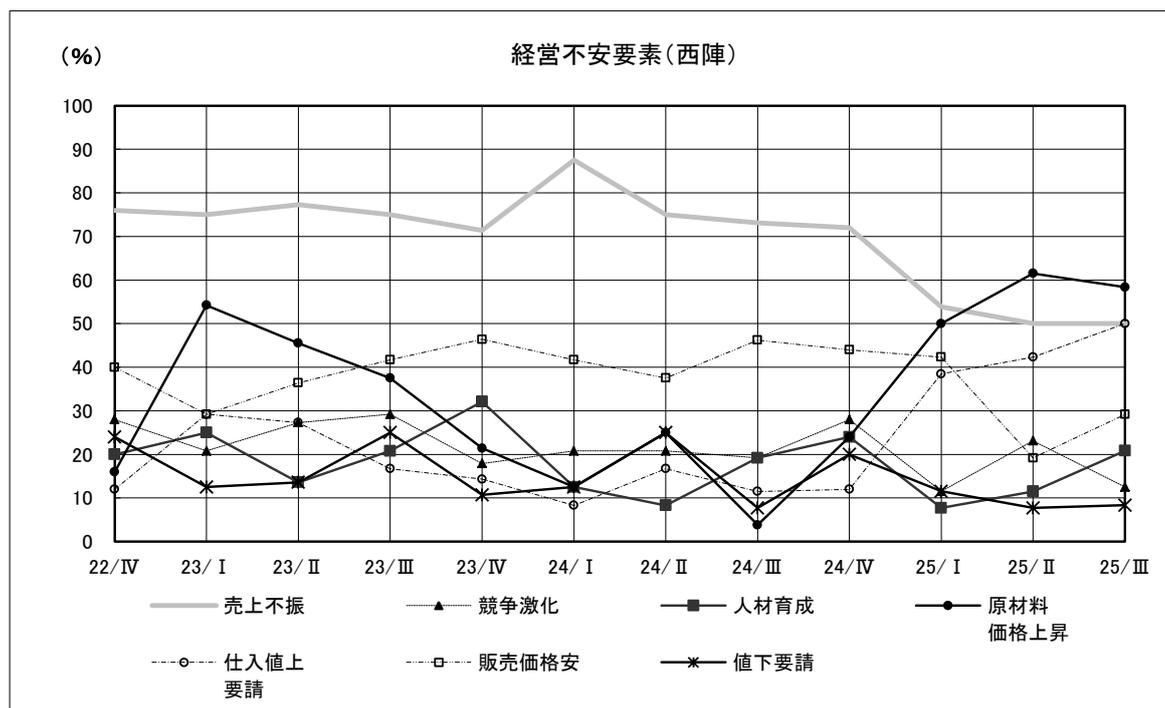


図 42. 経営上の不安要素・染色

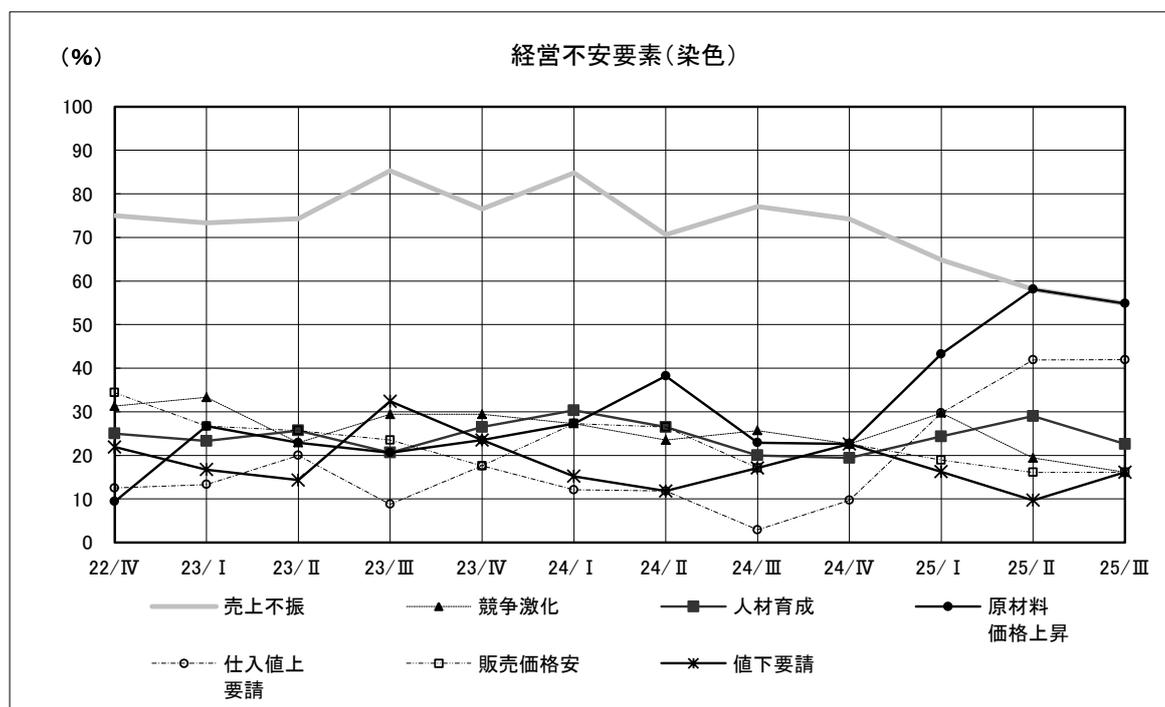


図 43. 経営上の不安要素・印刷

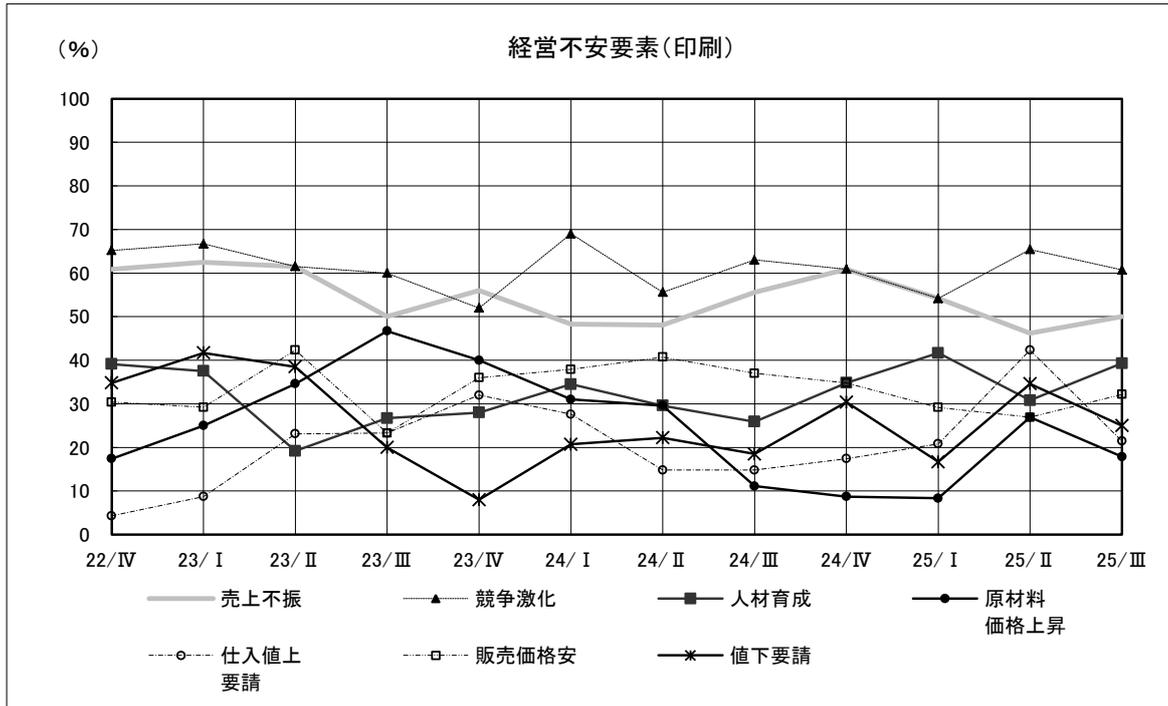


図 44. 経営上の不安要素・窯業

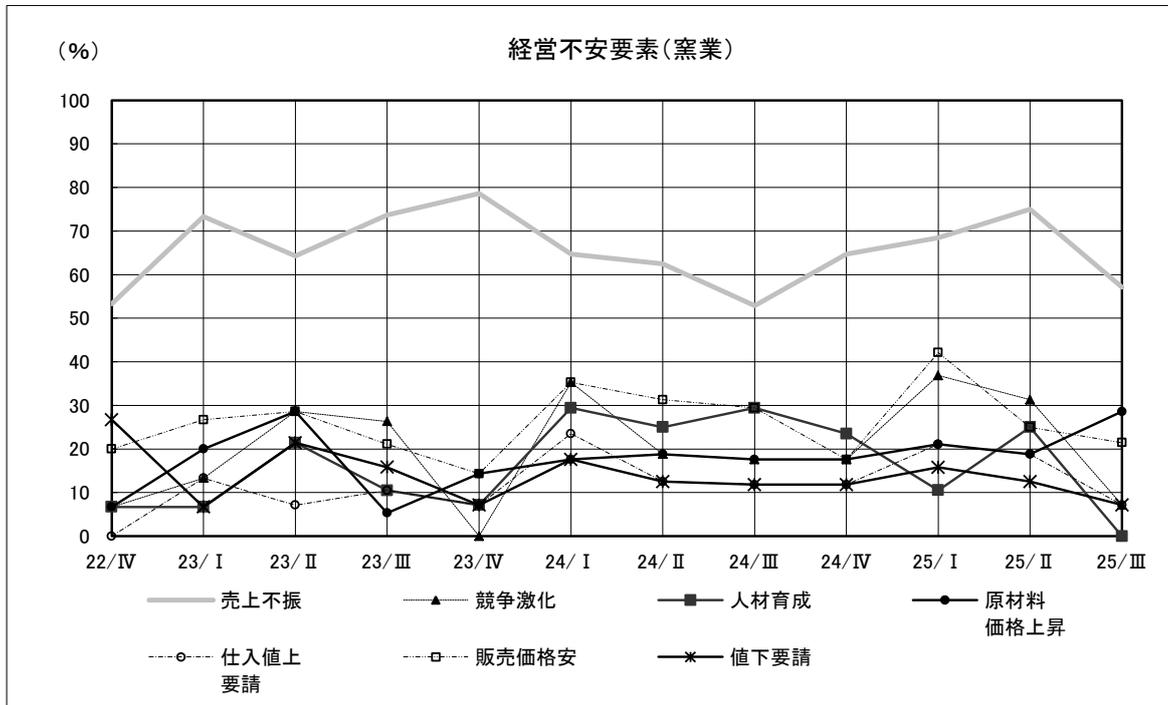


図 45. 経営上の不安要素・化学

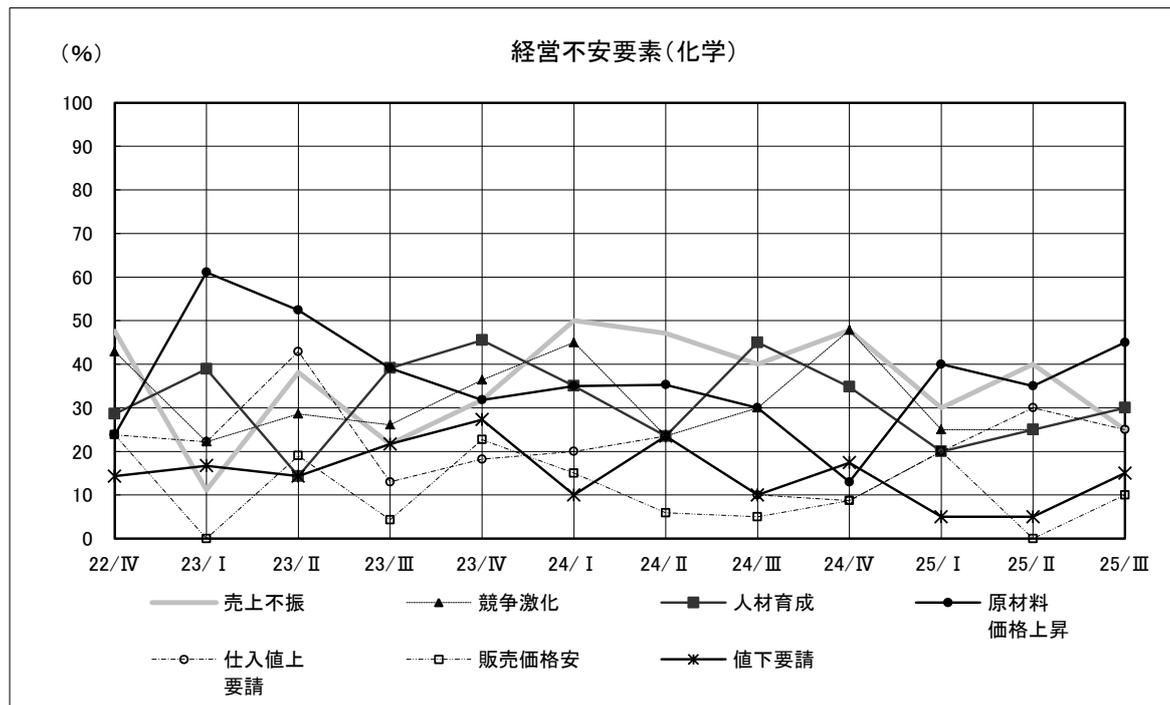


図 46. 経営上の不安要素・金属

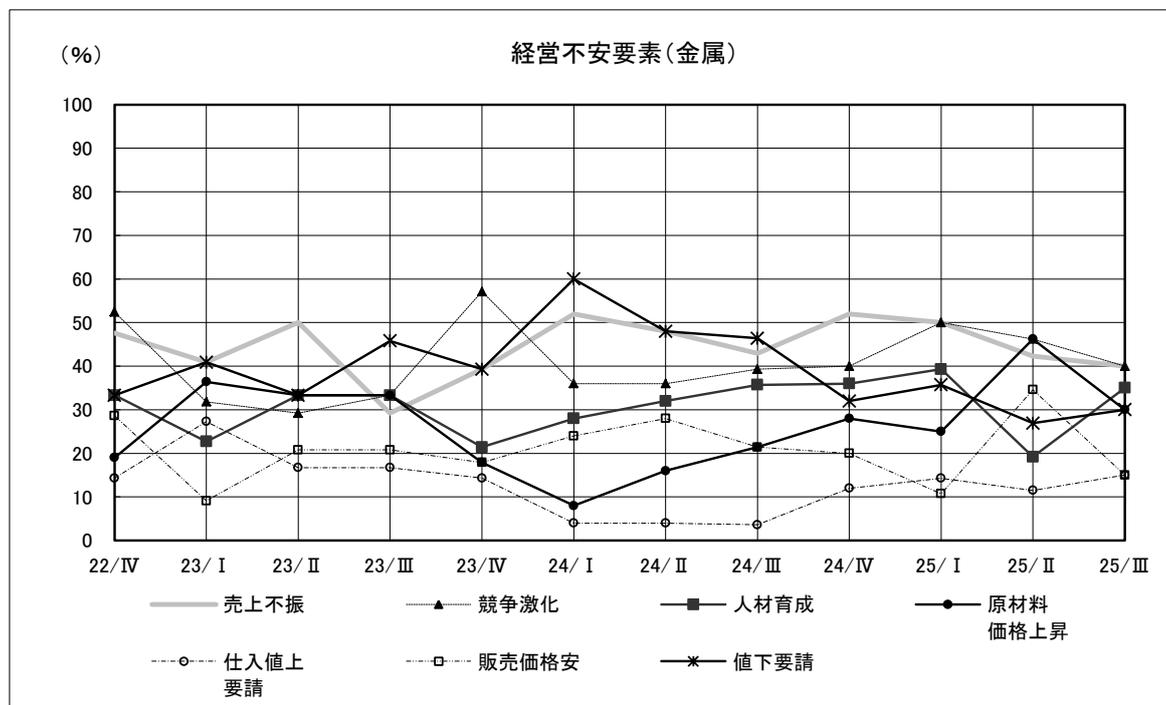


図 47. 経営上の不安要素・機械

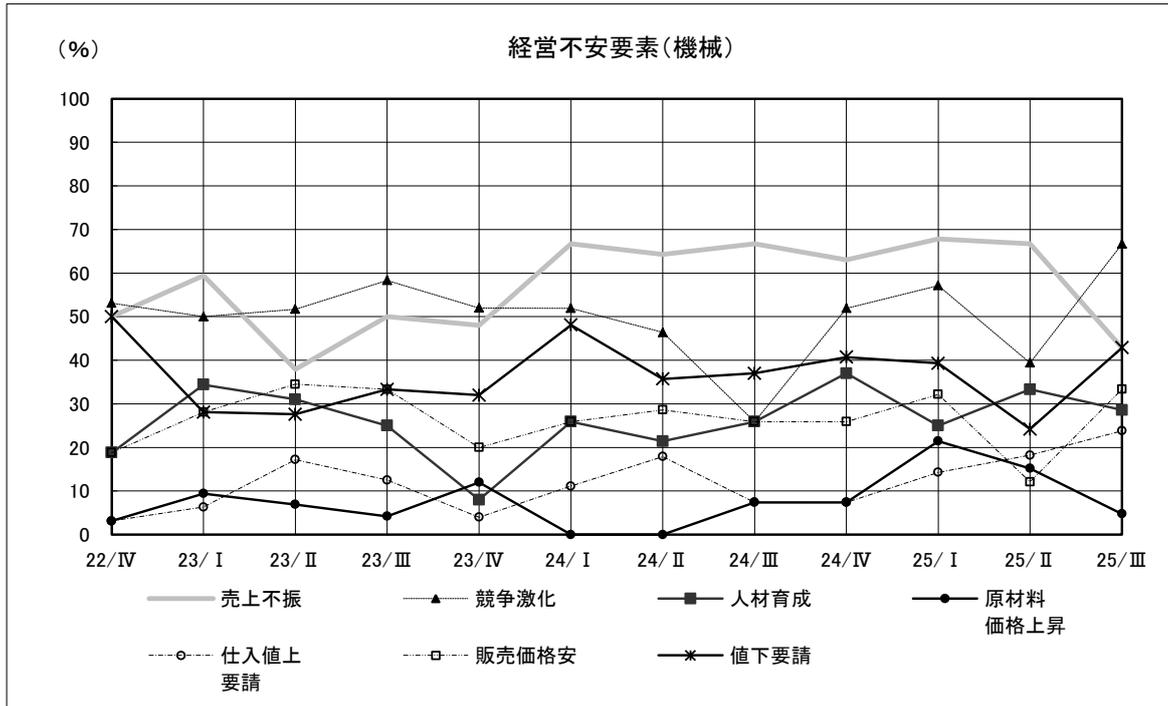


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

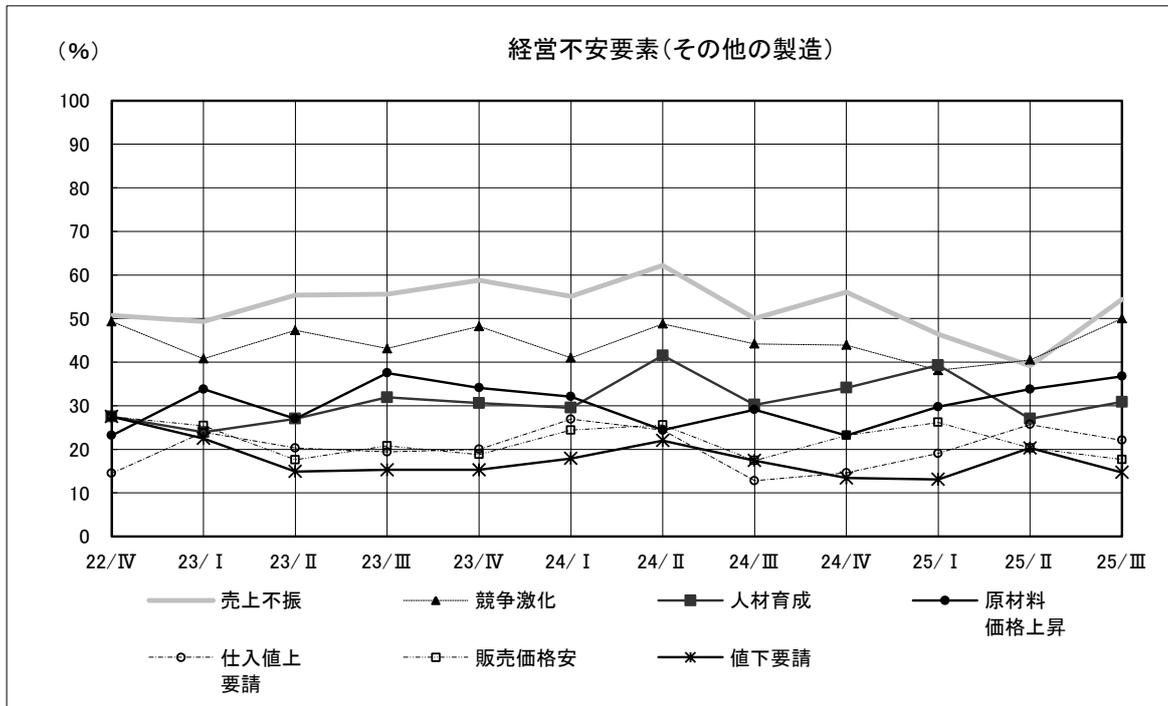


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

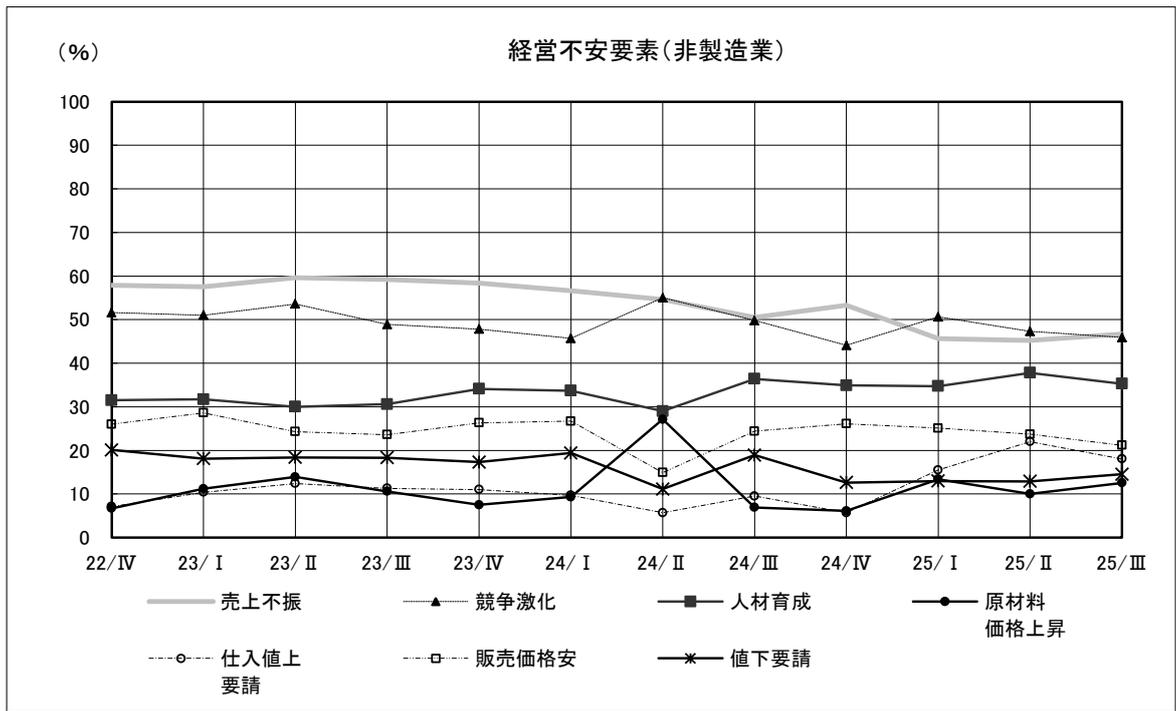


図 50. 経営上の不安要素・卸売

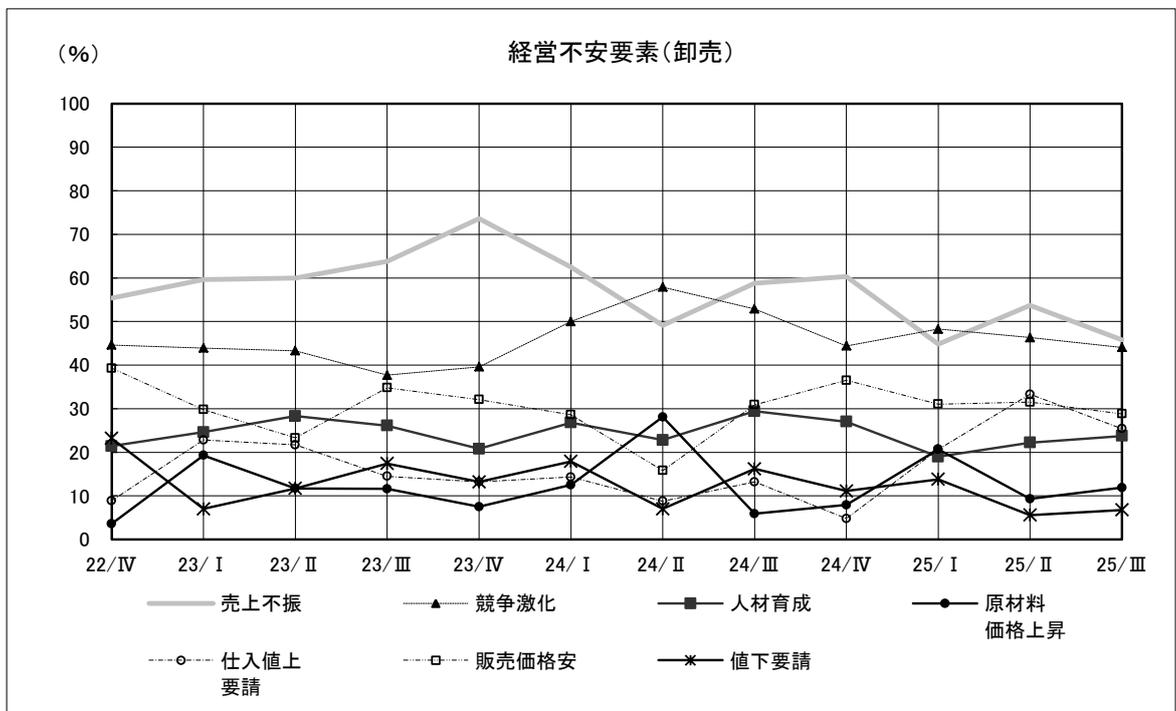


図 51. 経営上の不安要素・小売

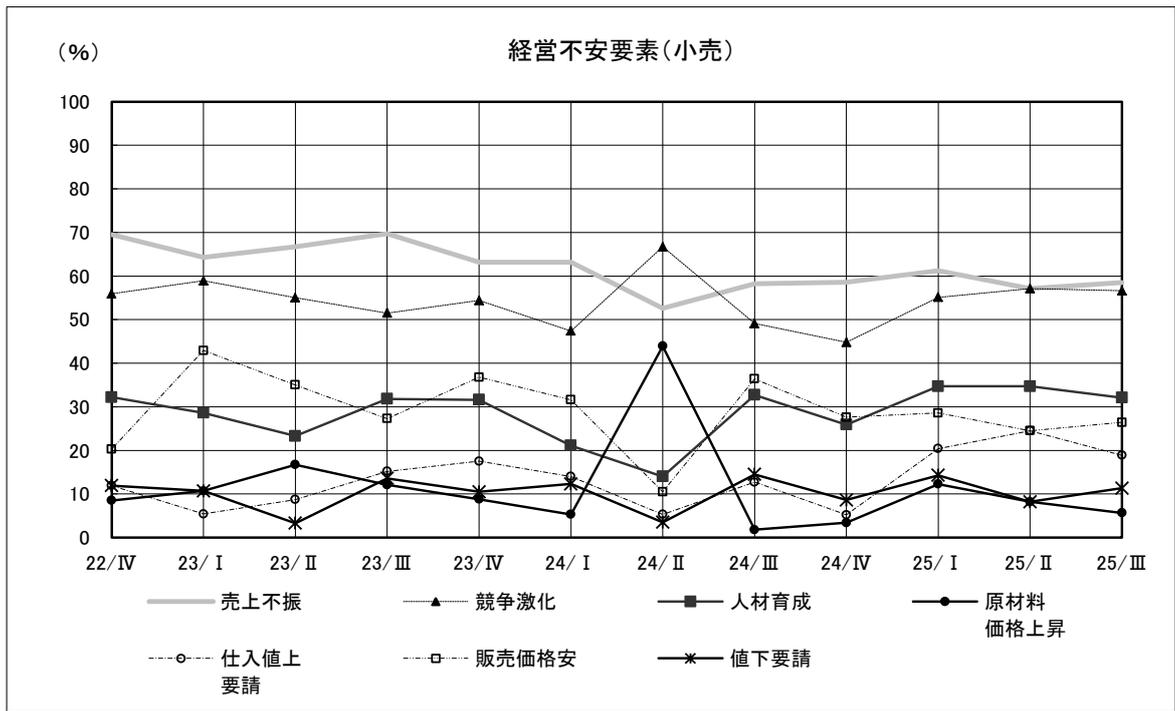


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

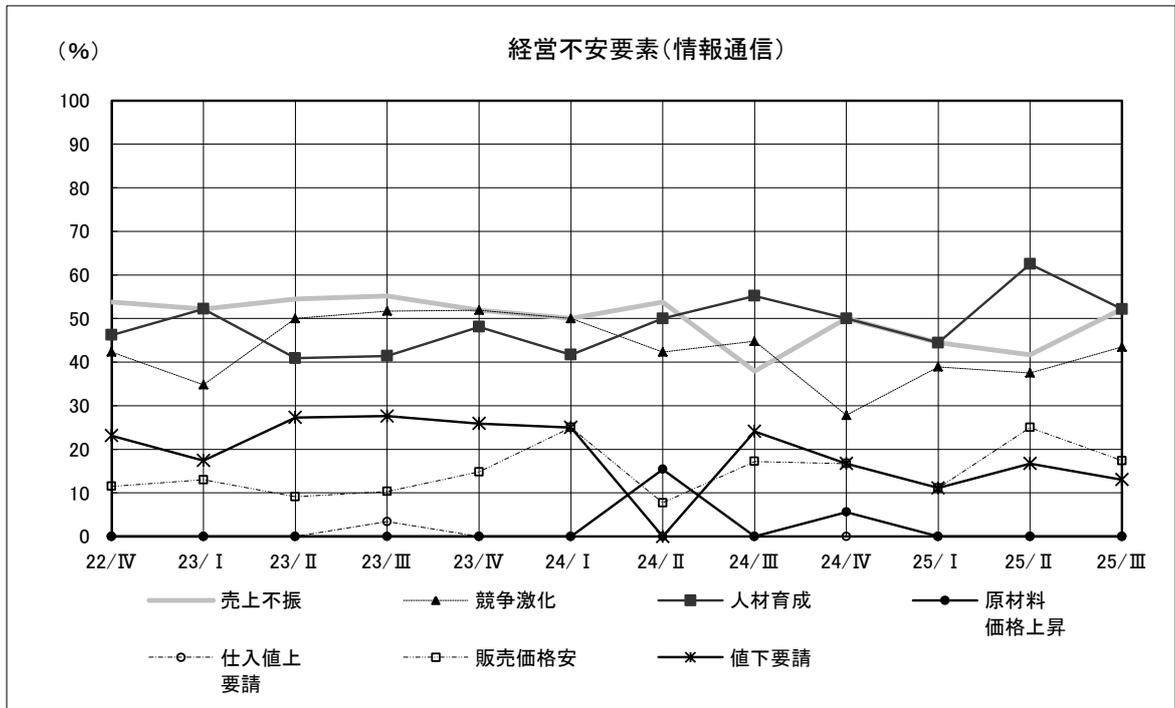


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

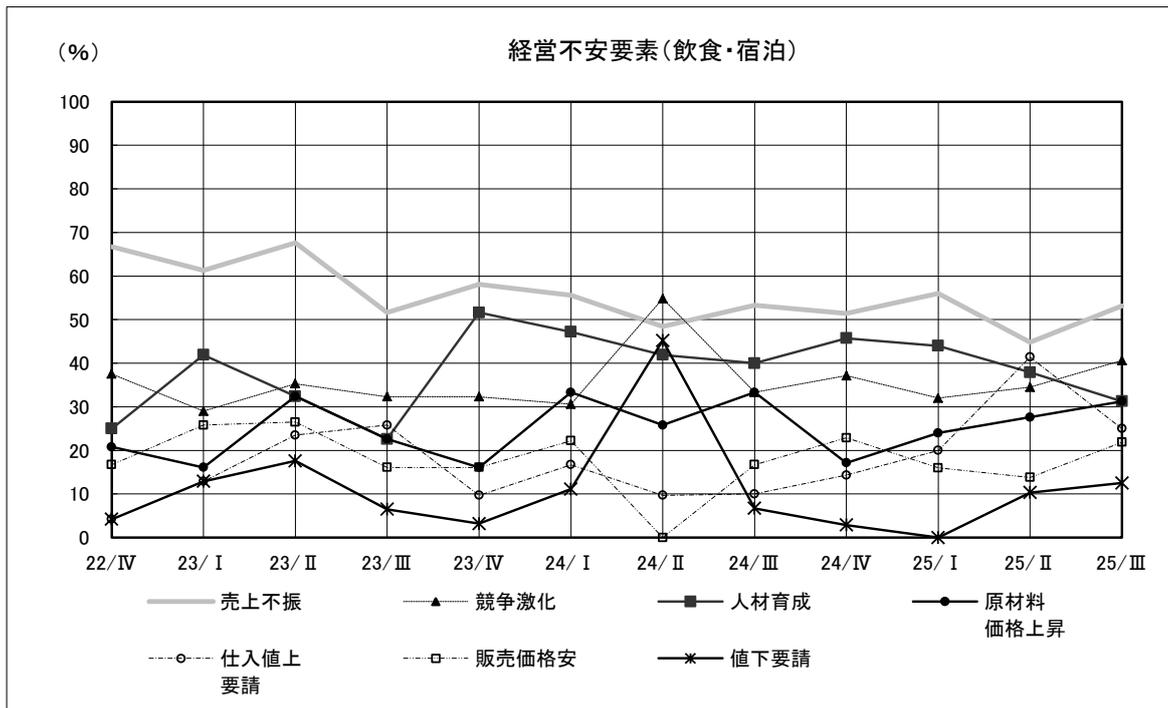


図 54. 経営上の不安要素・サービス

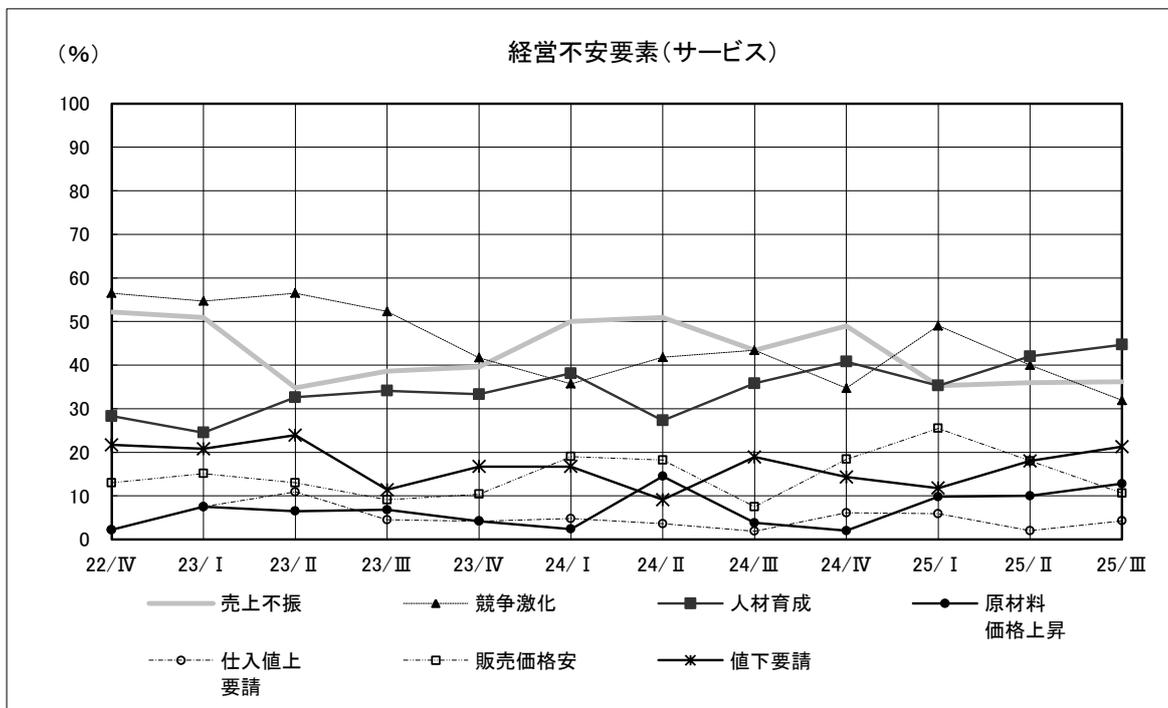


図 55. 経営上の不安要素・建設

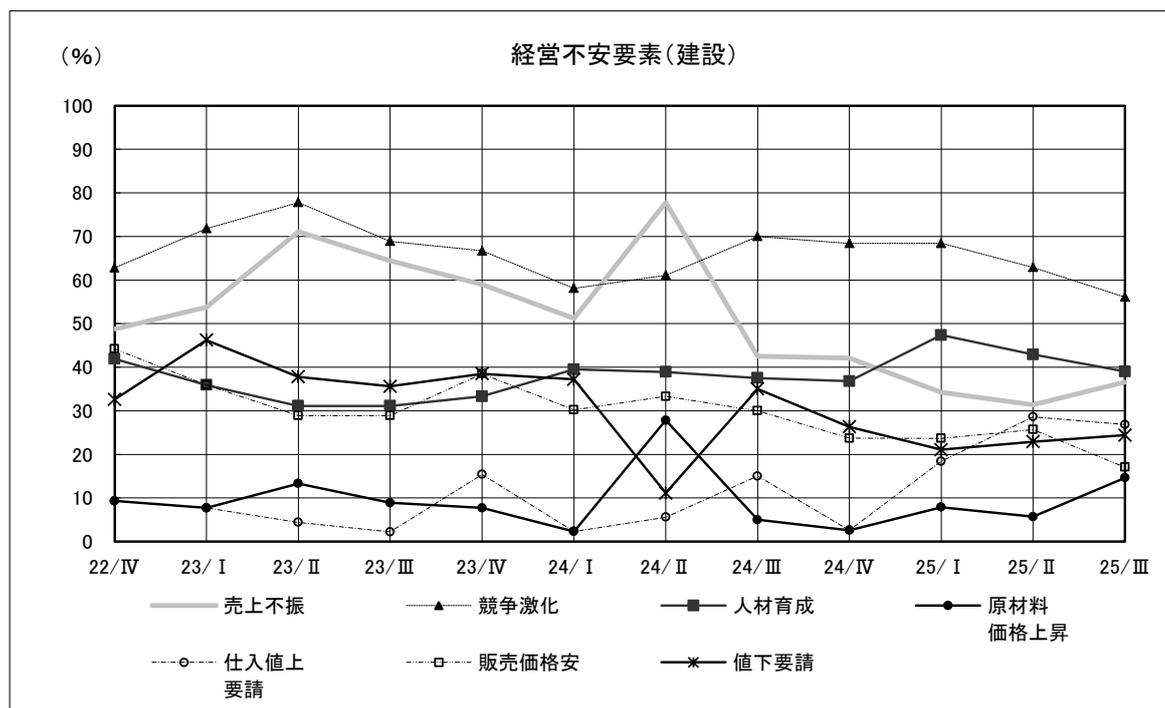


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	205 42.6%	229 47.6%	153 31.8%	80 16.6%	106 22.0%	113 23.5%	22 4.6%	102 21.2%
製造業	88 38.9%	110 48.7%	63 27.9%	43 19.0%	60 26.5%	81 35.8%	8 3.5%	48 21.2%
西陣	3 12.5%	12 50.0%	5 20.8%	2 8.3%	12 50.0%	14 58.3%	0 0.0%	7 29.2%
染色	5 16.1%	17 54.8%	7 22.6%	5 16.1%	13 41.9%	17 54.8%	1 3.2%	5 16.1%
印刷	17 60.7%	14 50.0%	11 39.3%	7 25.0%	6 21.4%	5 17.9%	1 3.6%	9 32.1%
窯業	1 7.1%	8 57.1%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	4 28.6%	1 7.1%	3 21.4%
化学	6 30.0%	5 25.0%	6 30.0%	3 15.0%	5 25.0%	9 45.0%	2 10.0%	2 10.0%
金属	8 40.0%	8 40.0%	7 35.0%	6 30.0%	3 15.0%	6 30.0%	0 0.0%	3 15.0%
機械	14 66.7%	9 42.9%	6 28.6%	9 42.9%	5 23.8%	1 4.8%	1 4.8%	7 33.3%
その他の製造	34 50.0%	37 54.4%	21 30.9%	10 14.7%	15 22.1%	25 36.8%	2 2.9%	12 17.6%
非製造業	117 45.9%	119 46.7%	90 35.3%	37 14.5%	46 18.0%	32 12.5%	14 5.5%	54 21.2%
卸売	26 44.1%	27 45.8%	14 23.7%	4 6.8%	15 25.4%	7 11.9%	1 1.7%	17 28.8%
小売	30 56.6%	31 58.5%	17 32.1%	6 11.3%	10 18.9%	3 5.7%	2 3.8%	14 26.4%
情報通信	10 43.5%	12 52.2%	12 52.2%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	4 17.4%
飲食・宿泊	13 40.6%	17 53.1%	10 31.3%	4 12.5%	8 25.0%	10 31.3%	2 6.3%	7 21.9%
サービス	15 31.9%	17 36.2%	21 44.7%	10 21.3%	2 4.3%	6 12.8%	4 8.5%	5 10.6%
建設	23 56.1%	15 36.6%	16 39.0%	10 24.4%	11 26.8%	6 14.6%	4 9.8%	7 17.1%
観光関連	14 35.0%	20 50.0%	12 30.0%	2 5.0%	11 27.5%	11 27.5%	2 5.0%	5 12.5%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	円安	その他	有効回答	無回答
全業種	45 9.4%	53 11.0%	55 11.4%	58 12.1%	30 6.2%	23 4.8%	481 100.0%	3
製造業	24 10.6%	27 11.9%	12 5.3%	23 10.2%	16 7.1%	11 4.9%	226 100.0%	1
西陣	2 8.3%	3 12.5%	1 4.2%	2 8.3%	6 25.0%	1 4.2%	24 100.0%	0
染色	0 0.0%	2 6.5%	1 3.2%	0 0.0%	2 6.5%	0 0.0%	31 100.0%	1
印刷	2 7.1%	5 17.9%	1 3.6%	3 10.7%	1 3.6%	4 14.3%	28 100.0%	0
窯業	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	14 100.0%	0
化学	3 15.0%	2 10.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%	20 100.0%	0
金属	4 20.0%	3 15.0%	0 0.0%	3 15.0%	1 5.0%	1 5.0%	20 100.0%	0
機械	8 38.1%	3 14.3%	1 4.8%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	21 100.0%	0
その他の製造	5 7.4%	8 11.8%	6 8.8%	6 8.8%	5 7.4%	4 5.9%	68 100.0%	0
非製造業	21 8.2%	26 10.2%	43 16.9%	35 13.7%	14 5.5%	12 4.7%	255 100.0%	2
卸売	4 6.8%	3 5.1%	8 13.6%	6 10.2%	3 5.1%	4 6.8%	59 100.0%	0
小売	1 1.9%	6 11.3%	3 5.7%	6 11.3%	5 9.4%	2 3.8%	53 100.0%	1
情報通信	2 8.7%	2 8.7%	7 30.4%	4 17.4%	0 0.0%	1 4.3%	23 100.0%	0
飲食・宿泊	1 3.1%	9 28.1%	8 25.0%	6 18.8%	3 9.4%	2 6.3%	32 100.0%	0
サービス	5 10.6%	5 10.6%	10 21.3%	7 14.9%	2 4.3%	3 6.4%	47 100.0%	1
建設	8 19.5%	1 2.4%	7 17.1%	6 14.6%	1 2.4%	0 0.0%	41 100.0%	0
観光関連	2 5.0%	9 22.5%	8 20.0%	9 22.5%	1 2.5%	3 7.5%	40 100.0%	0

参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	13	(2.7)
明治	12	(2.5)
大正	10	(2.1)
昭和19年以前	21	(4.3)
20 ～ 39 年	200	(41.3)
40 ～ 49 年	81	(16.7)
昭和50年以降	84	(17.4)
平成	60	(12.4)
無回答	0	(0.0)
不明	3	(0.6)
合計	484	(100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	479	(99.0)
個人	5	(1.0)
無回答	0	(0.0)
合計	484	(100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	227	(46.9)	非製造業	257	(53.1)
西陣	24	(5.0)	卸売	59	(12.2)
染色	32	(6.6)	小売	54	(11.2)
印刷	28	(5.8)	情報通信	23	(4.8)
窯業	14	(2.9)	飲食・宿泊	32	(6.6)
化学	20	(4.1)	サービス	48	(9.9)
金属	20	(4.1)	建設	41	(8.5)
機械	21	(4.3)	不明	0	(0.0)
その他の製造	68	(14.0)	合計	484	(100.0)

※観光関連（観光関連の売上が25%以上）

40 (8.3)

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～ 100 万円	0	(0.0)	3001 ～ 5000	80	(16.7)
101 ～ 200	0	(0.0)	5001～1億円	40	(8.4)
201 ～ 500	33	(6.9)	1億円超	9	(1.9)
501 ～ 1000	172	(35.9)	無回答	0	(0.0)
1001 ～ 3000	145	(30.3)	合計	479	(100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0 ～ 4 人	72	(14.9)	50 ～ 99 人	58	(12.0)
5 ～ 9 人	74	(15.3)	100 人以上	47	(9.7)
10 人～ 19 人	100	(20.7)	無回答	0	(0.0)
20 人～ 29 人	61	(12.6)	合計	484	(100.0)
30 ～ 49 人	72	(14.9)			

第108回京都市中小企業経営動向実態調査

締切日 平成25年9月20日(金)

貴社の概要を御記入ください。

(該当する箇所には、○印をお付けください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名						
経営形態	法人・個人	資本金		万円	電話	—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成) 年			従業者数	人	
※業種	製造業： A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造					
	非製造業： I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店・宿泊・Mサービス・N建設					
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。					
主な製品、商品、サービス						
御記入者	部課：	役職：	氏名：			

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。

項目	期間	平成25年7月～9月の実績 (前年の同期と比較して)			平成25年10月～12月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない		する	しない	

(2) 該当するものに○印をお付けされた理由を御記入ください。

--

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化 | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- | | | |
|----------|-----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上り要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 円安 | 14 その他() | |

(裏面も御記入ください。)

(5) 貴社における保有設備の更新意向についてお尋ねします。

A 現在保有されている主な設備の保有期間についてお尋ねします。保有期間毎に、台数を御記入ください。

また、耐用年数を超えて使用している設備がありましたら、その台数を御記入ください。

※ 設備とは、工場での生産設備や店舗での販売設備等とし、建物や自動車、消耗品は含みません。

設備の保有期間					
3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上
()台	()台	()台	()台	()台	()台
うち、耐用年数を超えて使用している設備 ()台					

B 質問Aで回答された設備について、3年以内に更新の予定はありますか。また、その理由はどのようなものですか。該当するものを下記から選び、○印をお付けください。(複数回答可)

1 更新の予定はない					
2 更新の予定がある	⇒	(更新の理由)			
		1 老朽化で更新せざるを得ない	2 需要拡大に伴い能力を増強		
		3 省エネ品を導入しコストを削減	4 発注元からの要求に対応		
		5 その他()			

C 保有期間が10年を超えて使用している設備を保有されている方にお尋ねします。過去10年以上更新していない場合は、その理由として 該当するものを下記から選び、○印をお付けください。(複数回答可)

1 事業活動・生産活動に支障がない	2 資金面に課題がある	3 需要の増加が見通せない			
4 その他()					

D 質問Cで、「2 資金面に課題がある」「3 需要の増加が見通せない」「4 その他」と回答された方にお尋ねします。過去10年以上更新していない設備を保有している影響(設備投資を進めていない影響)について、該当するものを下記から選び、○印をお付けください。(複数回答可)

1 老朽化による故障回数の増加	2 消費エネルギー(電力、ガス等)増加				
3 生産能力の不足(複数台での生産対応等)	4 設備補修部品等が入手困難				
5 新規事業への参入が困難	6 その他()				

(6) 貴社における新規事業への参入の検討状況についてお尋ねします。

E 新規事業への参入の予定はありますか。該当するものを選び、○印をお付けください。

また、参入を検討している場合は、検討している事業内容について御記入ください。

1 新規事業への参入は検討していない					
2 新規事業への参入を検討している	(その内容:)				

F 質問Eで、「2 参入を検討している」と回答された方にお尋ねします。新規事業への参入に取り組む理由は何ですか。該当するものを下記から選び、○印をお付けください。(複数回答可)

1 成長、利益が見込める	2 主力事業の技術力、専門力が活かせる				
3 主力事業分野の成長が見込めない	4 社内における人材・設備の有効活用				
5 取引先拡大	6 その他()				

G 新規事業への参入に当たり、設備投資を計画していますか。該当するものを下記から選び、○印をお付けください。

1 設備投資の計画はない					
2 設備投資を検討している	} ⇒ (設備投資を計画・検討している場所)				
3 設備投資の具体的な計画がある		1 京都市内	2 その他国内	3 海外(国名:)	

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。
京都市 産業観光局 (TEL:222-3325 FAX:222-3331)